

保健事業の実施計画書

# 第2期 データヘルス計画書

計画策定日：平成30年2月6日  
最終更新日：令和04年2月4日

関東ITソフトウェア健康保険組合



KANTO IT SOFTWARE HEALTH INSURANCE SOCIETY

# 目次

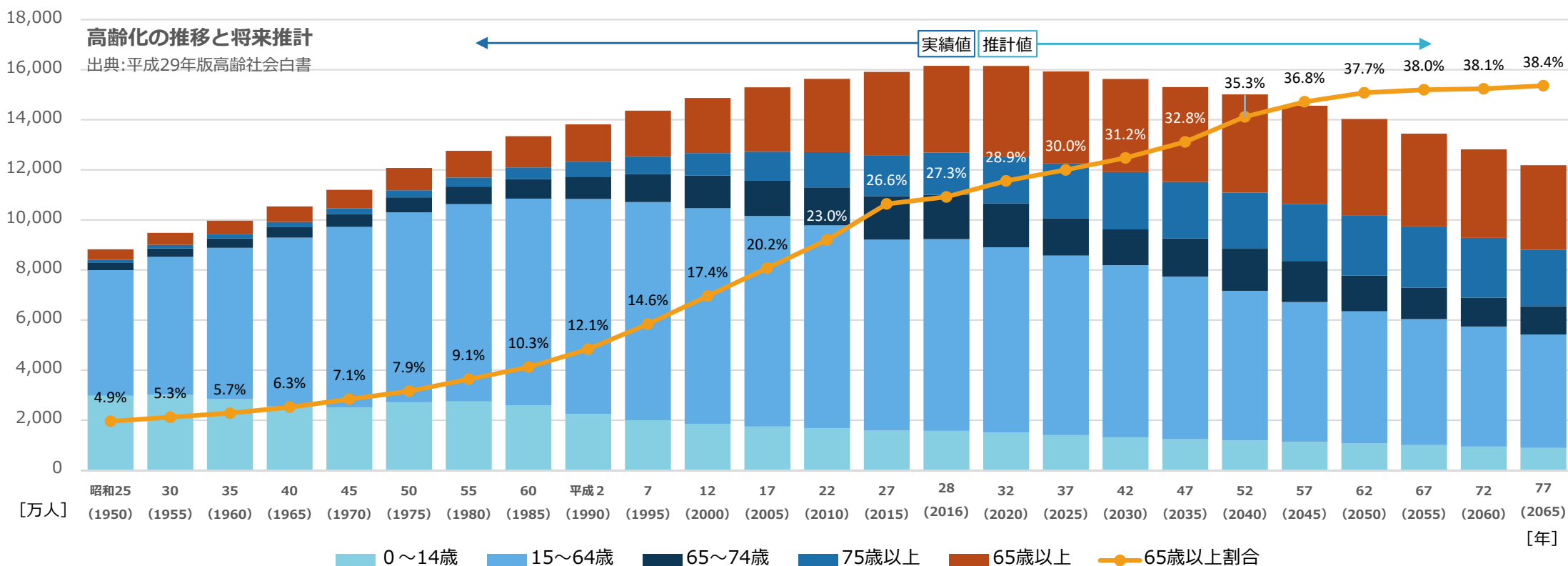
<b>STEP 1</b>	<b>現状を把握する</b>	<b>4</b>	付録1	医療費の三要素分析	43
<b>1-1</b>	<b>基本情報</b>	<b>5</b>	付録2	疾病19分類	44
1-1-1	基本情報	6	付録3	電子化率の推移	45
1-1-2	保健事業の実施状況	7	<b>1-4</b>	<b>健康分布</b>	<b>46</b>
<b>1-2</b>	<b>特定健診・保健指導</b>	<b>13</b>	1-4-1	健康分布図－40歳以上でみた肥満によるリスク分布－	47
1-2-1	実施状況等－令和元・2年度－	14	1-4-2	健康分布図－全年齢でみた肥満によるリスク分布－	48
1-2-2	実施状況等－令和元・2年度－	15	1-4-3	健康分布図－問診票分析（食習慣）－	49
1-2-3	実施状況の比較－令和元年度の実施率等－	16	1-4-4	健康分布図－問診票分析（その他）－	50
1-2-4	実施状況の比較－令和元年度の服薬状況－	17	1-4-5	健康分布図（被保険者）－BMI・腹囲－	51
<b>1-3</b>	<b>医療費</b>	<b>18</b>	1-4-6	健康分布図（被保険者）－糖尿病指標－	52
1-3-1	年齢階層別医療費 男性本人家族計	19	1-4-7	健康分布図（被保険者）－血圧－	53
1-3-2	年齢階層別医療費 女性本人家族計	20	1-4-8	健康分布図（被保険者）－HDLコレステロールとLDLコレステロール－	54
1-3-3	年齢階層別医療費 男性本人	21	1-4-9	健康分布図（被保険者）－AST（GOT）とALT（GPT）－	55
1-3-4	年齢階層別医療費 女性本人	22	1-4-10	健康分布図（被保険者）－ $\gamma$ -GP（ $\gamma$ -GPT）と中性脂肪－	56
1-3-5	年齢階層別医療費 男性家族	23	1-4-11	健康分布図（被保険者）－喫煙率－	57
1-3-6	年齢階層別医療費 女性家族	24	付録4	健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値等	58
1-3-7	診療区分別医療費の三要素①	25	付録5	特定保健指導の階層化フロー	59
1-3-8	診療区分別医療費の三要素②	26	付録6	健診検査項目の概要	60
1-3-9	疾病19分類別 医科入院三要素 男性本人	27	<b>1-5</b>	<b>後発医薬品</b>	<b>61</b>
1-3-10	疾病19分類別 医科入院外三要素 男性本人	28	1-5-1	後発医薬品の使用状況 本人家族	62
1-3-11	生活習慣病 医科入院三要素 男性本人	29	1-5-2	後発医薬品の使用状況 本人	63
1-3-12	生活習慣病 医科入院外三要素 男性本人	30	1-5-3	後発医薬品の使用状況 家族	64
1-3-13	疾病19分類別 医科入院三要素 女性本人	31	1-5-4	後発医薬品の使用割合の比較 －令和3年3月調剤分－	65
1-3-14	疾病19分類別 医科入院外三要素 女性本人	32	1-5-5	後発医薬品の薬剤費割合の比較 －令和3年3月調剤分－	66
1-3-15	生活習慣病 医科入院三要素 女性本人	33	<b>STEP 2</b>	<b>健康課題を抽出する</b>	<b>67</b>
1-3-16	生活習慣病 医科入院外三要素 女性本人	34	<b>2</b>	<b>健康課題抽出</b>	<b>68</b>
1-3-17	疾病19分類別 医科入院三要素 男性家族	35	<b>STEP 3</b>	<b>課題に対応した事業を選定し目標・評価指標を設定する</b>	<b>69</b>
1-3-18	疾病19分類別 医科入院外三要素 男性家族	36	<b>3-1</b>	<b>実施計画</b>	<b>70</b>
1-3-19	生活習慣病 医科入院三要素 男性家族	37	3-1-1	保健事業の実施計画	71
1-3-20	生活習慣病 医科入院外三要素 男性家族	38	<b>3-2</b>	<b>目標</b>	<b>81</b>
1-3-21	疾病19分類別 医科入院三要素 女性家族	39	3-2-1	保健事業の目標	82
1-3-22	疾病19分類別 医科入院外三要素 女性家族	40			
1-3-23	生活習慣病 医科入院三要素 女性家族	41			
1-3-24	生活習慣病 医科入院外三要素 女性家族	42			

## 保健事業－第2期データヘルス－の実施計画の策定にあたり

高齢者人口は、「団塊の世代」が65歳以上となった2015年（平成27年）に3,387万人となり、「団塊の世代」が75歳以上となる2025年には3,677万人に達すると見込まれています。その後も高齢者人口は増加傾向が続き、2042年に3,935万人でピークを迎え、その後は減少に転じると推計されています。これまでは高齢化の進展の速さが深刻な問題でしたが、2015年（平成27年）以降は高齢化率が高まることでより大きな問題となってきます。

平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」において「すべての健保組合に対し、レセプト等のデータ分析にもとづくデータヘルス計画の作成・公表、事業実施、評価等の取組」が義務付けられたことに伴い、平成26年3月、厚生労働省は保健事業の実施指針（厚生労働大臣告示）を改正しました。そして平成27年度より3ヶ年の第1期計画がスタートし、新たに平成30年度より6カ年の第2期計画を策定したところです。

少子高齢社会が急速に進展し労働力人口の減少が見込まれる我が国では、人口構成の変化や生活習慣の変容などに伴う疾病構造に対応した取り組みが、より一層求められます。他方、健康保険組合の財政は益々厳しくなることから、保険者機能の発揮が最大限に期待される保健事業に対し、限られた財源を高効率で投下し、最大限のアウトカムを得られるよう、これからの保健事業、健康づくりの在り方について検討するとともに、本計画を毎年見直しつつ健康管理事業の取り組みを実践いたします。



# STEP 1

## 現状を把握する

### POINT

- はじめに加入者の属性、事業所の概要、健保組合がこれまで実施してきた取組を棚卸しします。何ができていて何ができていないかを整理したうえで、これまでの事業を活用する視点が大切になります。
- 健保組合の健康課題を明確にするため医療データと健診データで現状を把握し、基本分析では可能な限り、他の医療保険者や健保組合と自健保組合を比較して特徴を明確にします。

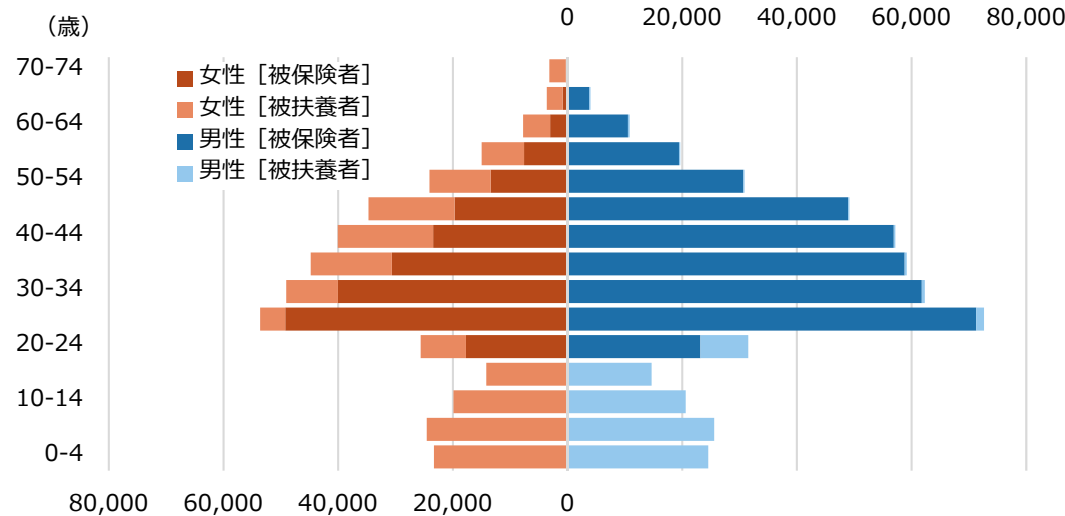
## STEP 1-1

## 基本情報

- 1-1-2から1-1-6 保健事業の実施状況は、令和3年度の実施状況（見込み）です。
- 1-1-2から1-1-6 保健事業の実施状況の対象者の「資格」及び「年齢」などの条件は、事業ごと更に条件設定がされているものがあります。

組合コード	28370		
組合名称	関東ITソフトウェア健康保険組合		
形態	総合		
被保険者数（令和4年度予算）	593,000人 男性 65.3% 平均年齢 38.5歳 女性 34.7% 平均年齢 35.8歳		
加入者数（令和4年度予算）	867,909人		
適用事業所数（令和3年12月末現在）	7,215社		
対象となる拠点数	-		
保険料率（令和4年度予算）※調整を含む。	85/1000		
	全 体	被保険者	被扶養者
■ 特定健康診査実施率（令和2年度）	72.5%	83.5%	34.8%
■ 特定保健指導実施率（令和2年度）	22.3%	22.6%	14.8%

(人)



令和4年3月末見込み		健康保険組合事業主側の医療専門職	
		常 勤	非常勤
健保組合	顧問医	1人	0人
	保健師等	2人	0人
事業主	産業医	-人	-人
	保健師等	-人	-人

保健事業費	令和4年度予算額	被保険者一人当金額
■ 特定健康審査事業費	209,071千円	353円
■ 特定保健指導事業費	359,056千円	605円
■ 保健指導宣伝費	196,609千円	332円
■ 疾病予防費	12,234,486千円	20,632円
■ 体育奨励費	889,045千円	1,499円
■ 直営保養所費	1,848,292千円	3,117円
■ 契約保養所費	900,000千円	1,518円
■ 保健会館費	1,881,028千円	3,172円
■ その他	656,240千円	1,107円
合 計	a 19,173,827千円	32,334円
令和3年度予算 経常支出合計	b 282,398,338千円	a/b= 6.79%

- ・大規模な健保組合であるが適用事業所（窓口）数が多く、1社当りの被保険者数は平均で79.8人（令和3年12月末現在）と、個々の事業所規模は決して大きくはない。
- ・被保険者の特定健診実施率を高値で維持している。
- ・20歳・30歳代が被保険者全体の59.9%を占め、若い被保険者構成となっている。
- ・被扶養者数は、令和3年12月末現在で291,517人（扶養率0.51）であり低い扶養割合となっている。
- ・前期高齢者である加入者数は、令和3年12月末現在で11,257人（加入率1.29%）と極めて低い構成となっている。

健保組合の取り組み														
予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			評価	
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況		成功・推進要因		課題及び阻害要因
特定健康診査事業	1	特定健診(被保険者)	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】事業主が行う定期健診と共同実施	被保険者	全て	男女	40~74	全員	0	受診者数 212,000名 受診率 90.7%	・健診機関を設置し受診機会の増	・健保補助の健診を利用していない事業所の結果データを受領できていない	4	
	1	特定健診(被扶養者、任継)	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】自己負担無しの巡回健診を取り入れ受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40~74	全員	156,632	受診者数 26,000名 受診率 38.3%	・契約健診機関を設置し受診機会の増 ・過去2年間に受診履歴のない妻に受診案内送付	・対象者の健診に対する理解不足 ・受診機会の不足	3	
特定保健指導事業	3	特定保健指導	【目的】生活習慣病リスク者への早期介入 【概要】特定保健指導の実施。保健指導支援室設置や遠隔保健指導を取り入れ、受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40~74	基準 該当者	282,532	動機付	対象者数 22,000名 利用者数 7,000名 完了者数 6,600名	・直営健診センターによる当日実施 ・遠隔保健指導の導入 ・保健指導支援室による電話案内、事業所訪問	・対象者の保健指導に対する理解不足 ・事業所との連携不能(勤務時間中の離席に対する対応など)	3
										積極的	対象者数 33,000名 利用者数 8,800名 完了者数 4,900名			
										実施率	20.9% (暫定値)			
保健指導宣伝	4	機関誌発行	【目的】情報発信、健康意識の向上 【概要】健保の運営、収支、健診案内、健康情報などについて年2回発行	被保険者	全て	男女	16~74	全員	73,744	社員に事業所経由の配布ホームページにも同時掲載	・健保が実施する保健事業の周知及び参加率の向上に寄与	-	5	
	7	ITSコラボヘルス	【目的】情報共有型から課題解決型のコラボヘルスへの転換 【概要】健康課題と保健事業との紐付けを明確にすることに加えてそれをクリアすれば目標を達成できるような評価指標、定量的なアウトプット指標・アウトカム指標の設定を進める	被保険者	一部の事業所	-	-	-	4,157	・ITSコラボヘルス 03年8月、11月、04年3月開催	・職場の健康づくりに意識が高い事業所を対象に実施 ・健康経営優良法人認定に係る情報の提供 ・外部事業者の有効利用	・健康づくりの企業風土への定着に向けた実践的な取組及び事業所間で共有できる好事例の不足	5	

注1) 事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注2) 評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

健保組合の取り組み													
予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者				事業費(千円)	振り返り			評価	
				資格	対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況	成功・推進要因		課題及び阻害要因
保健指導宣伝	7	健康経営サポート事業	【目的】事業所が実践する健康経営の推進 【概要】健康経営と相関性の高い研修及び保健事業の費用補助	被保険者	一部の事業所	-	-	-	4,907	健康研修プログラム補助事業 18社 (1,277名) 利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>宣言実施事業所へメール/HPを通じた周知広報</li> <li>ITSコラボヘルス、健康企業宣言説明会での制度案内</li> <li>健康経営優良法人(中小規模法人)認定制度の進展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所や担当者への周知不足</li> </ul>	3
	7	健康企業宣言	【目的】健康企業宣言の実施とサポート 【概要】健康企業宣言の推進と健康優良企業認定に向けたサポート	被保険者	一部の事業所	-	-	-	0	令和3年5月にWEB配信にて開催 参加者社数 73社	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康企業宣言及び健康経営優良法人認定制度に関する最新の動向を共有</li> </ul>	-	5
	7	My Health Web の管理、運用	【目的】企業の健康経営と個人の健康管理のモチベーションの維持 【概要】ICTを活用した個人への情報提供やヘルスケアポイント等を活用したインセンティブ事業を推進する	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	42,597	登録者数 47,233名	<ul style="list-style-type: none"> <li>全事業所へのメール配信/機関紙/HPを通じた周知広報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所や被保険者への周知広報不足</li> </ul>	5
	7	禁煙啓蒙事業	【目的】喫煙者の啓蒙 【概要】加入者に対し禁煙につながる啓蒙活動を行い、喫煙に伴う禁煙リスクを低減	-	事業所	-	-	-	1,544	配布数 6,881社	<ul style="list-style-type: none"> <li>機関誌送付の際に事業所へポスターを配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所との連携不足</li> <li>対象者のリスクに対する理解不足</li> </ul>	5
	7	メンタルヘルス対策	【目的】事業所のメンタルヘルス対策のサポート 【概要】事業主、管理職や担当者向けの対象別セミナーの開催	-	一部の事業所	-	-	-	1,293	参加者数 176名	<ul style="list-style-type: none"> <li>主に中小規模事業所を対象として案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所ごとの問題点への対応不能</li> <li>参加者のメンタルヘルス対策に対する知識レベルの相違</li> </ul>	3
	7	後発医薬品の使用促進	【目的】後発医薬品の使用割合の向上 【概要】後発医薬品差額通知及びジェネリック希望シール配布の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	308	後発医薬品差額通知年12回実施 差額通知件数 283,560件	<ul style="list-style-type: none"> <li>機関紙/HPを通じた周知広報、ジェネリックお願いシール申込フォームの設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所や被保険者への周知広報不足</li> </ul>	5

注1) 事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他

注2) 評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上



健保組合の取り組み													
予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
疾病予防	1	健康診査(基本健診・人間ドック等)	【目的】受診率向上 【概要】定期健診と同時実施、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	8,359,264	受診者数 512,500名	・若年層のドック受診機会の拡充 ・健診車での実施契約拡充	-	4
	1	巡回婦人健診	【目的】女性の配偶者の受診率向上 【概要】婦人科検査と同時に実施し、費用の全額を補助	被扶養者	全て	女性	16 ~74	全員	267,305	受診者数 17,000名	・全額健保負担 ・過去2年間に受診履歴のない妻に受診案内送付	・対象者の健診に対する理解不足 ・健診日が特定されることによる、受診機会の不足	4
	1	婦人科検査	【目的】婦人科疾患の早期発見 【概要】健康診査のオプションとして実施	被保険者 被扶養者	全て	女性	16 ~74	全員	1,283,200	受診者数 122,000名	・健診のOPとすることで受診者の利便性	・検査により受診不可な施設がある	5
	1	脳MR・肺CT検査	【目的】脳血管疾患、肺がん等の早期発見 【概要】脳MR・肺CTによる検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	50 ~74	全員	67,668	受診者数 4,800名	・健保補助により低額での受診が可能 ・一次健診との同時実施が可能	・地方での受診機会の不足 ・リスク対象者への案内不足	3
	1	胃がんリスク検査	【目的】重症化予防 【概要】ピロリ菌感染の有無と胃がんリスク判定の郵送検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	30 ~74	全員	32,508	利用者数 4,000名	・全額健保負担 ・郵送検査での実施	-	1
	1	歯科健診	【目的】口腔疾病予防 【概要】健保会館などの会場や事業所を巡回して行う歯科検診	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	20,034	利用者数 5,000名	・全額健保負担 ・事業所での実施が可能 ・土日の実施が可能(健保会館型)	-	1
	7	インフルエンザ予防接種費用補助	【目的】重症化予防 【概要】全国の指定医療機関で10月から1月までの期間に実施し、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	355,229	利用者数 170,000名	・東振協を利用することで全国多数の施設で補助による接種が可能	-	3

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他

注：評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

健保組合の取り組み													
予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者				事業費(千円)	振り返り			評価	
				資格	対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況	成功・推進要因		課題及び阻害要因
疾病予防	7	生活習慣病予防プログラム	【目的】若年層の生活習慣病リスクの改善 【概要】3ヶ月間の運動プログラムの指導、実施	被保険者	全て	男女	20~39	基準該当者	11,321	案内送付参加者数 6,174通 参加率 228名 3.7%	・対象者の自宅住所へ案内送付 ・全額健保負担	・対象者のリスクに対する理解不足	2
	7	ダイエットプログラム	【目的】BMIの改善と生活習慣病リスクの軽減 【概要】3ヶ月から6ヶ月間のICTを活用したレコーディングダイエット	被保険者 被扶養者	全て	男女	16~74	基準該当者	2,681	参加者数 520名	・全額健保負担 ・webからの自由参加型	・対象者への周知不足 ・対象者のリスクに対する理解不足	2
	4	糖尿病教育介入プログラム(WEBスタディ)	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】遠隔型の糖尿病教育を通じ、行動変容を促し、合併症等の重症化を予防	被保険者 被扶養者	全て	男女	16~74	基準該当者	3,948	集合型の教育介入プログラムは春・秋共に中止し、ICTを活用したWEBスタディを実施。 参加者数 52名	・webからの自由参加 ・全額健保負担 ・参加者との信頼関係の構築	・事業周知徹底の不足 ・対象者のリスクに対する理解不足	5
	2	糖尿病受診勧奨事業(インバウンド含む)	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】HbA1c高値の未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16~74	基準該当者	6,210	(電話勧奨) 案内送付者数 500名 (インバウンド) 案内送付者数 809名	・受診がないと思われる者に電話、または文書で直接アプローチ	・事業周知徹底の不足 ・対象者のリスクに対する理解不足	5
	4	糖尿病性腎症重症化予防プログラム	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】人工透析の導入を未然に防ぐ又は時期を遅らせるため治療に介入	被保険者 被扶養者	全て	男女	16~74	基準該当者	11,000	案内送付者数 500名	・全額健保負担 ・webからの自由参加 ・申込みがない者に電話で直接アプローチ	・事業周知徹底の不足 ・対象者のリスクに対する理解不足 ・事業所との連携不足	5
	2	高血圧受診勧奨事業	【目的】高血圧症重症化予防 【概要】血圧高値の未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16~74	基準該当者	2,063	案内送付者数 2,500名	・受診がないと思われる者に文書で直接アプローチ	・事業周知徹底の不足 ・対象者のリスクに対する理解不足	5
	2	脂質異常症受診勧奨事業	【目的】脂質異常症重症化予防 【概要】脂質異常の未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	39~74	基準該当者	—	案内送付者数 7,299名	・受診がないと思われる者に文書で直接アプローチ	・事業周知徹底の不足 ・対象者のリスクに対する理解不足	5
	6	前期高齢者等保健指導プログラム	【目的】生活習慣病重症化予防 【概要】将来の生活の質を低下させないための保健指導	被保険者 被扶養者	全て	男女	64~74	全員	6,591	参加者数 209名	・レセプトや健診結果をもとに階層化し、リスクの高い者に文書で直接アプローチ	・対象者への周知不足 ・対象者のリスクに対する理解不足	2

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他

注：評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

## 健保組合の取り組み

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
体育奨励	7	野球大会	【目的】健康増進 【概要】トーナメント方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	143	開催中止 ※発生費用は、事前準備による諸経費用	-	-	-
	7	健歩大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区及び関西地区の遊園施設内でのウォーキング奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ~74	全員	183,724	参加者数 57,179名	・加入者の健康増進	-	2
	7	中高齢者体育奨励事業	【目的】健康増進 【概要】ゴルフプレイを通じたウォーキングの奨励	被保険者 被扶養者 (配偶者に限る)	全て	男女	16 ~74	全員	29,151	参加者数 4,500名	・加入者の健康増進	-	2
	7	プール・スケート利用補助	【目的】健康増進 【概要】夏冬期の屋外スポーツの奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	8,038	利用者数 3,000名	・加入者の健康増進	-	1
	7	サッカー教室	【目的】健康増進 【概要】親子で参加するサッカー教室	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ~74	全員	0	開催中止	-	-	-
	7	フットサル大会	【目的】健康増進 【概要】リーグ戦方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	4,824	参加チーム数 101チーム	・事業所間交流の推進 ・加入者の健康増進	-	1
	7	ウォーキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東及び関西地区での日帰りウォーキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	6,728	参加者数 865名	・加入者の健康増進	-	3

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他

注：評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

健保組合の取り組み													
予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者				事業費(千円)	振り返り			評価	
				資格	対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況	成功・推進要因		課題及び阻害要因
体育奨励	7	テニス大会	【目的】健康増進 【概要】予選リーグ後、トーナメント方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	0	開催中止	-	-	-
	7	ハイキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区での日帰りハイキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	76	開催中止 ※発生費用は、事前準備による諸経費用	-	-	-
	7	ボウリング大会	【目的】健康増進 【概要】事業所及び家族での対抗戦	被保険者 被扶養者	全て	男女	6 ~74	全員	6,500	参加チーム数 304チーム	・加入者の健康増進	-	3
		ボウリング教室	【目的】健康増進 【概要】被保険者及び配偶者を対象としたボウリング教室	被保険者 被扶養者 (配偶者に限る)	全て	男女	16 ~74	全員	2,500	開催中止 ※発生費用は、講師料・事前準備による諸経費用	-	-	-
	7	ゴルフ大会	【目的】健康増進 【概要】スコアによる個人対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	5,037	全2回中1回は開催中止 参加者数 133名	・加入者の健康増進	-	2
	7	契約保養施設	【目的】健康増進 【概要】提携契約施設の宿泊利用による心身のリフレッシュや健康増進セミナー等を開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	778,941	利用者数 75,679名	・加入者の健康増進	-	5
	7	スポーツクラブ・スポーツ施設	【目的】健康増進 【概要】スポーツクラブ・スポーツ施設の利用推奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	151,459	利用者数 159,348名	・加入者の健康増進	-	2
直営保養所	7	直営保養所	【目的】健康増進 【概要】直営保養所の宿泊利用による心身のリフレッシュや健康増進セミナー等を開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1,544,034	利用者数 45,688名	・加入者の健康増進	-	3

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：評価) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%以上

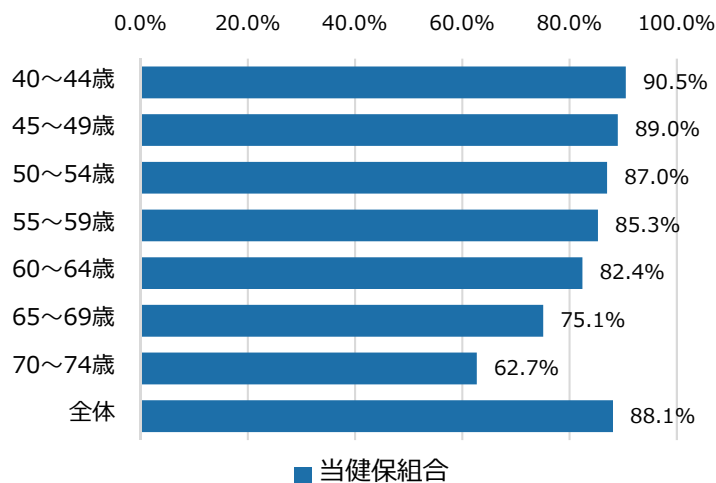
**STEP 1-2**

**特定健診・保健指導**

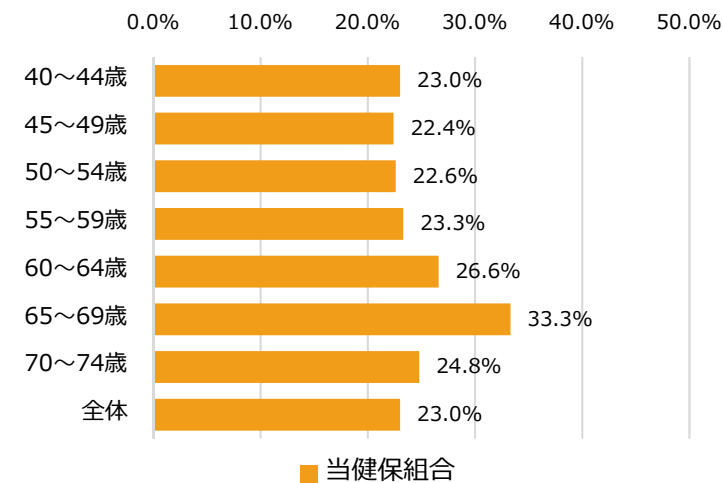
# 1-2-1 特定健康診査・特定保健指導の実施状況等 - 令和元・2年度 -

## 令和元年度

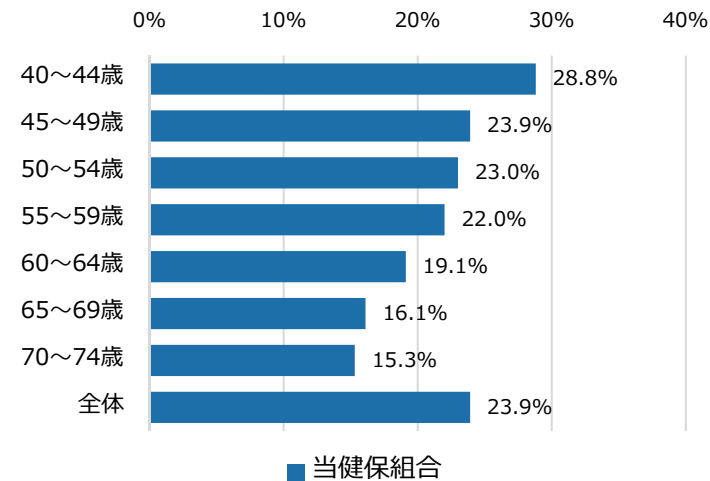
特定健診の受診率【被保険者】



特定保健指導の実施率【被保険者】

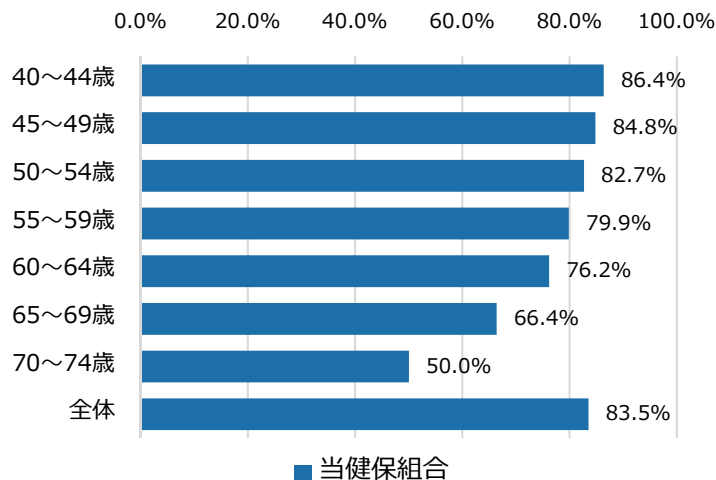


メタボ対象者の減少率【被保険者】

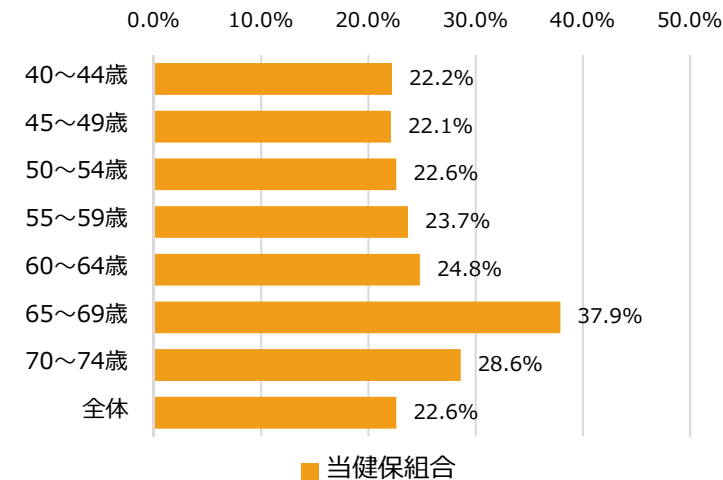


## 令和2年度

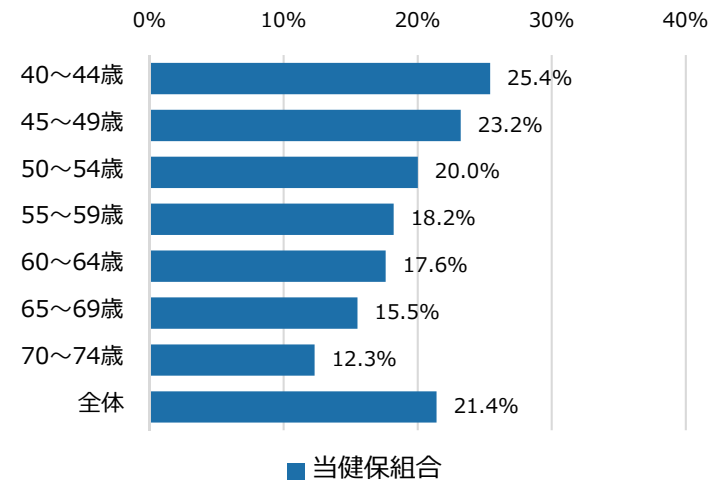
特定健診の受診率【被保険者】



特定保健指導の実施率【被保険者】



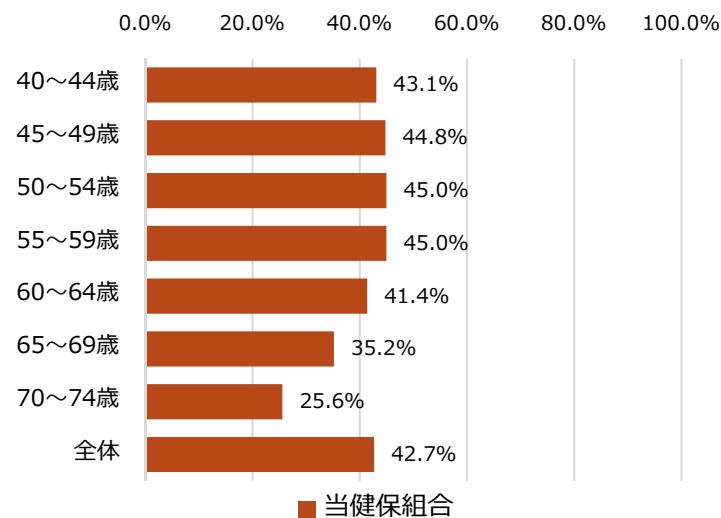
メタボ対象者の減少率【被保険者】



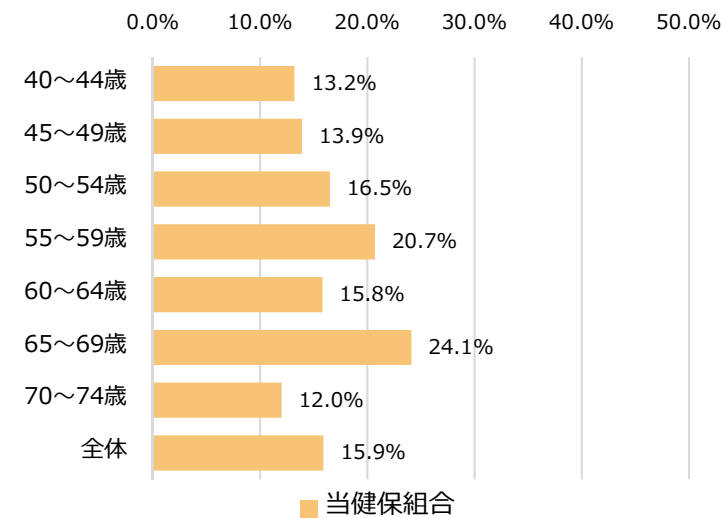
# 1-2-2 特定健康診査・特定保健指導の実施状況等 - 令和元・2年度 -

## 令和元年度

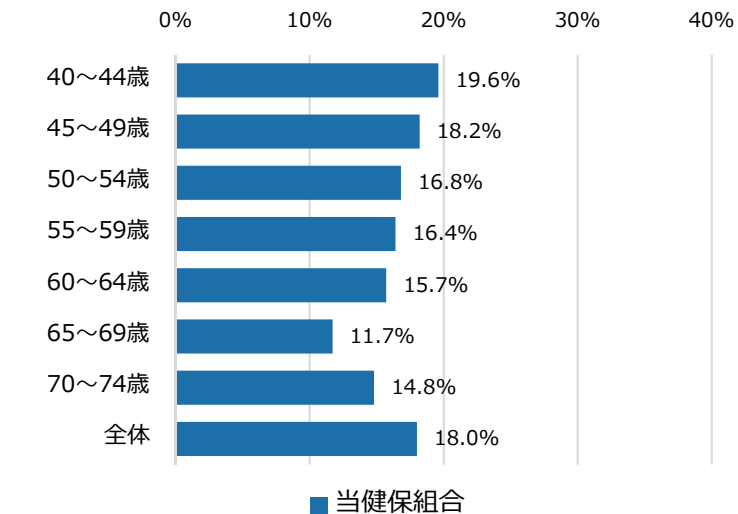
特定健診の受診率【被扶養者】



特定保健指導の実施率【被扶養者】

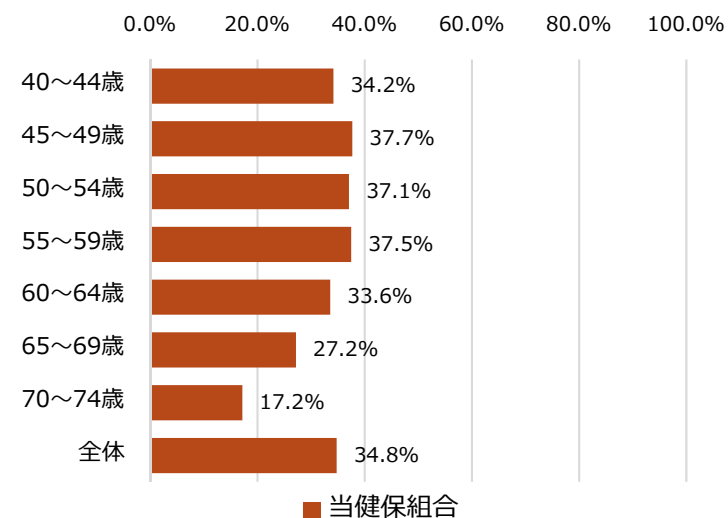


特定保健指導対象者の減少率【被保険者】

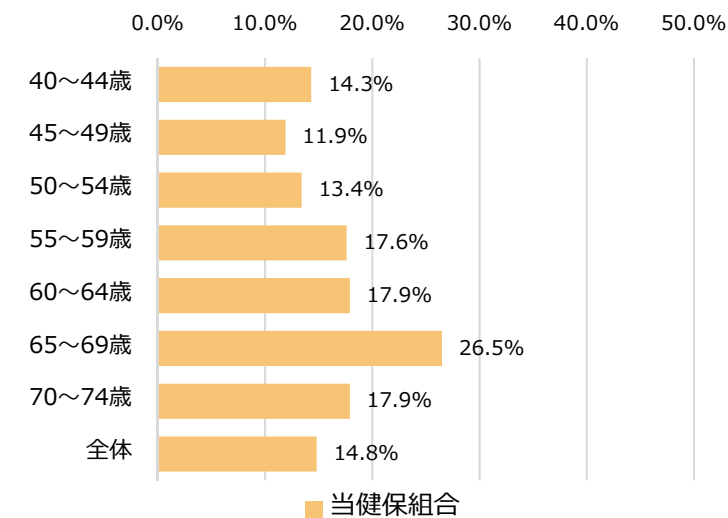


## 令和2年度

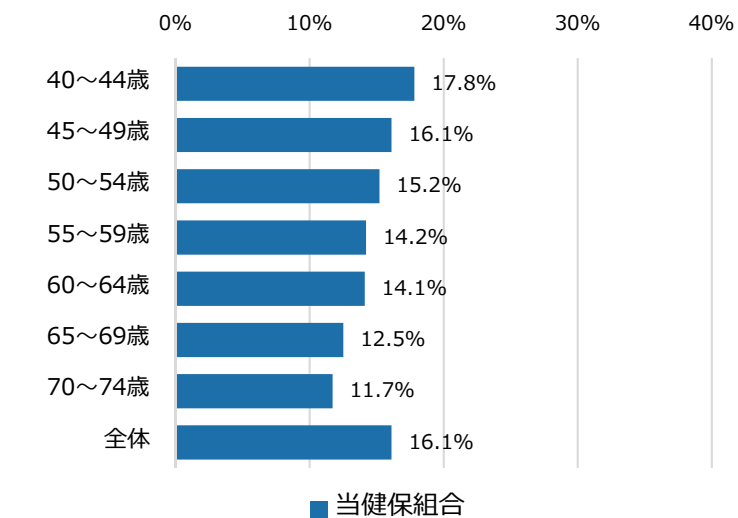
特定健診の受診率【被扶養者】



特定保健指導の実施率【被扶養者】

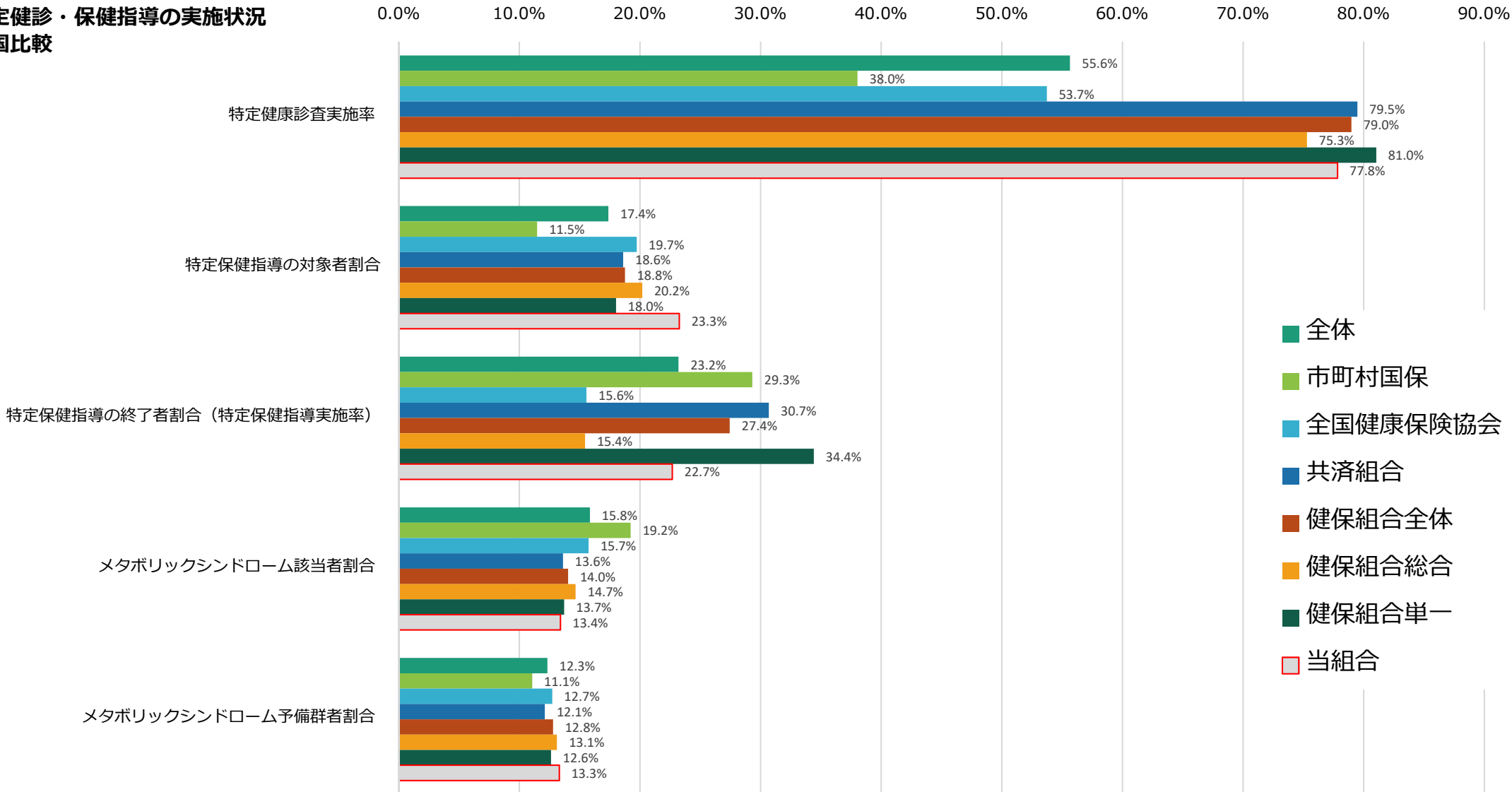


特定保健指導対象者の減少率【被保険者】



# 1-2-3 特定健康診査・特定保健指導の実施状況の比較 – 令和元年度の実施率等 –

## 特定健診・保健指導の実施状況 全国比較



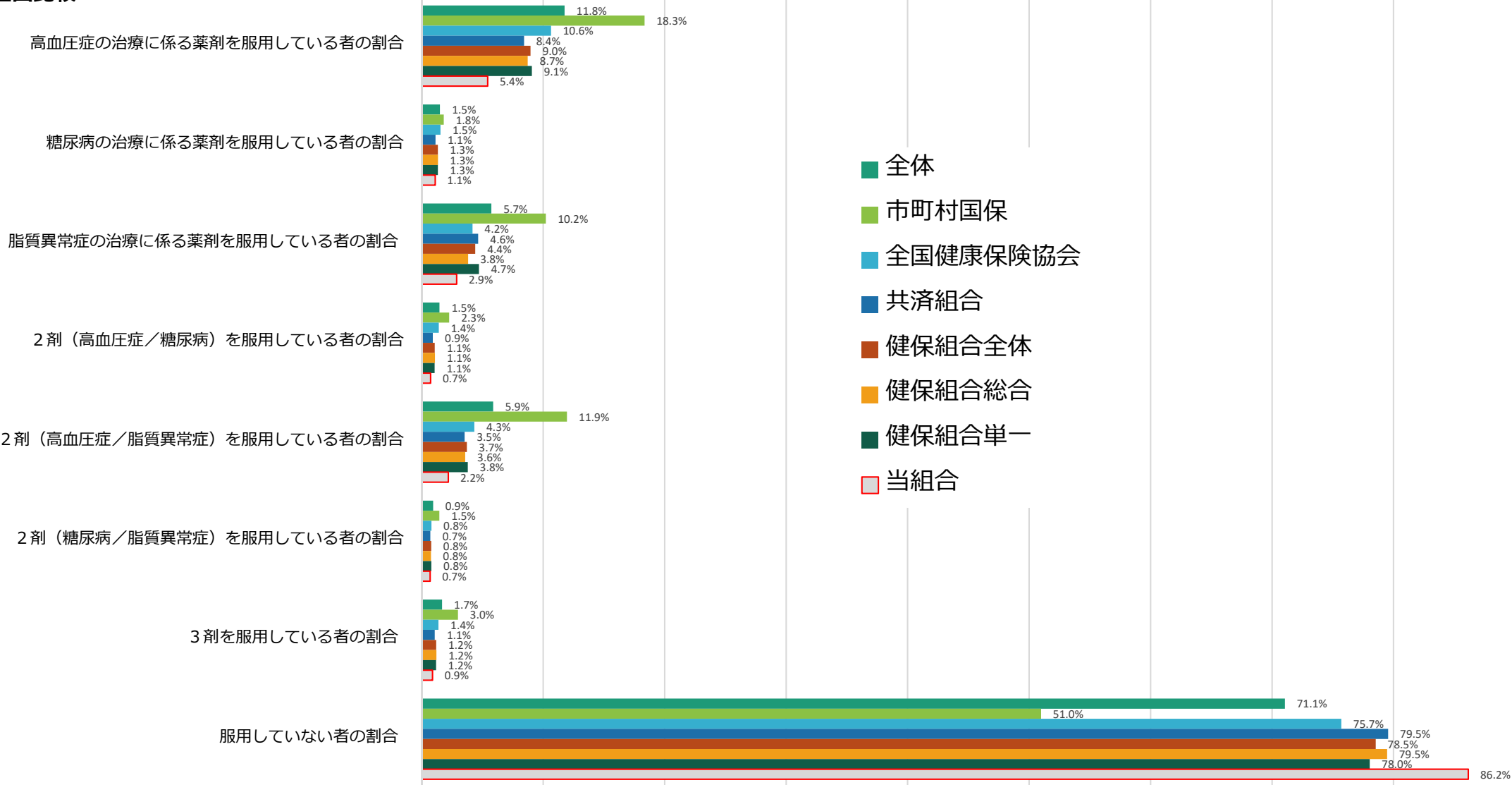
- 特定健診、特定保健指導ともに実施率は高い。
- 特定保健指導の対象者割合が高く、メタボリックシンドロームについては該当者割合は低いが予備群者割合は高い。



# 1-2-4 特定健康診査・特定保健指導の実施状況の比較 – 令和元年度の服薬状況 –

## 特定健診・保健指導の実施状況 全国比較

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0%



■ メタボリックシンドローム予備群の者の割合が全国に比して高いのに、薬剤を服用していない者の割合が非常に高いが、その値は平成30年度より0.6ポイント減少している。

## STEP 1-3

## 医療費

- 分析対象の医療費は、令和2年4月から令和3年3月診療分のレセプトを集計したものの。
- システムによる分析対象レセプトは、電子レセによるものを客体としている。
- 前年度と比較したシートには対象年度を表示
- 医療費の三要素については「付録1」を参照（43頁）
- 疾病19分類については「付録2」を参照（44頁）
- 当組合のレセプト電子化の状況は「付録3」を参照（45頁）

### 【医療費関係三要素の計算定義と説明】

「医療費」 診療報酬点数×10円。平均医療費を計算する場合、円未満端数を四捨五入

「一人当たり医療費」 医療費÷加入者（加入者は算出対象ごとの加入者の総数）で計算。円未満端数を四捨五入。  
また、複数診療月分の一人当たり医療費を計算する場合、分母の加入者数は1ヶ月当り平均加入者数を用いて計算。グラフ・表内で「一人当医療費」と表記

「受診率」 受診率は1,000人当りの件数。レセプト件数÷（加入者数÷1000）で計算。小数点以下第5位四捨五入

「一件当たり日数」 日数÷レセプト件数で計算。小数点以下第3位四捨五入。グラフ・表内で「一件当日数」と表記

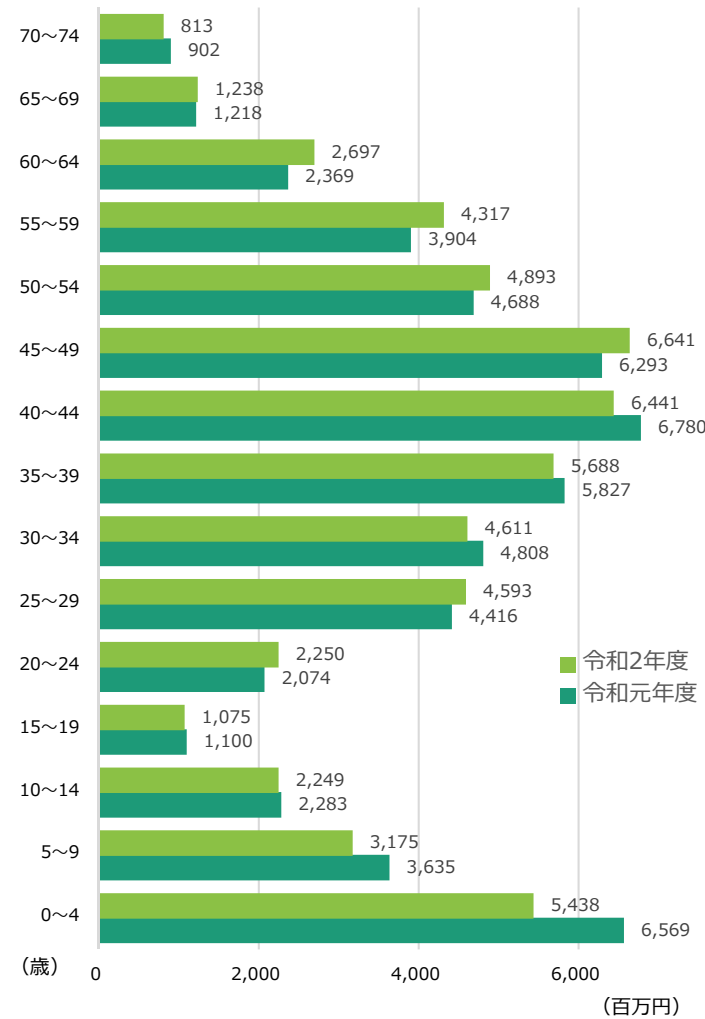
「一日当たり医療費」 医療費÷日数で計算。円未満端数を四捨五入。調剤の場合は、日数に替えて「処方箋回数」で計算。グラフ・表内で「一日当医療費」と表記

### 【分析客体の簡易表示】

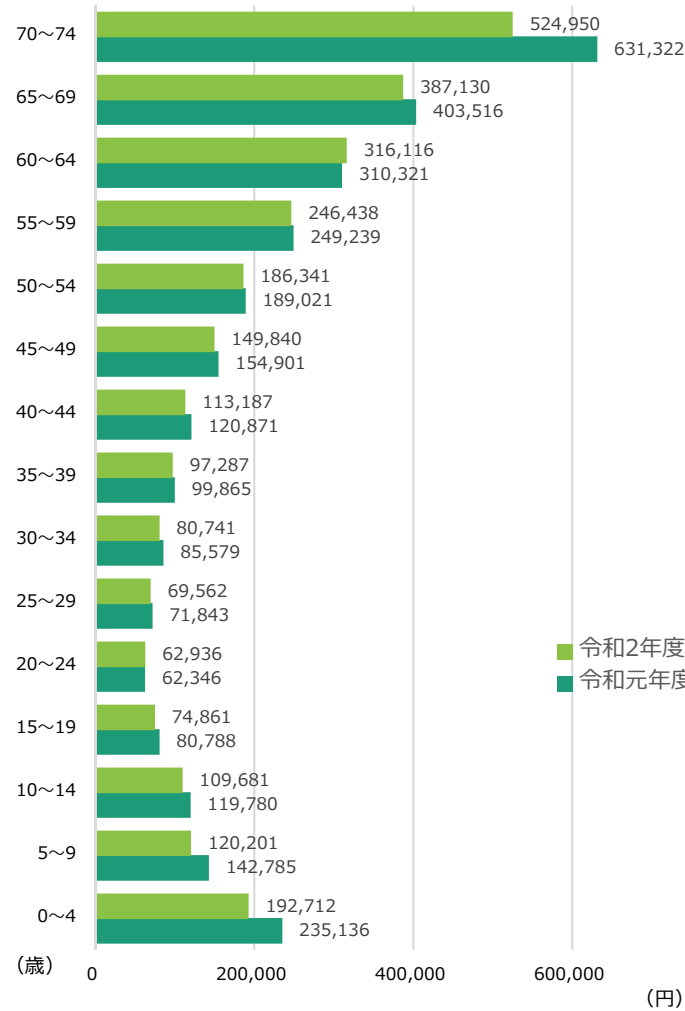
頁右上にラベルは、当該頁の分析対象となっている客体を示しています。

入院外 医科での通院    入院 医科での入院    歯科 歯科での入院通院    調剤 処方箋に基づく調剤  
本人 被保険者本人    家族 被扶養者家族    男性 男性    女性 女性

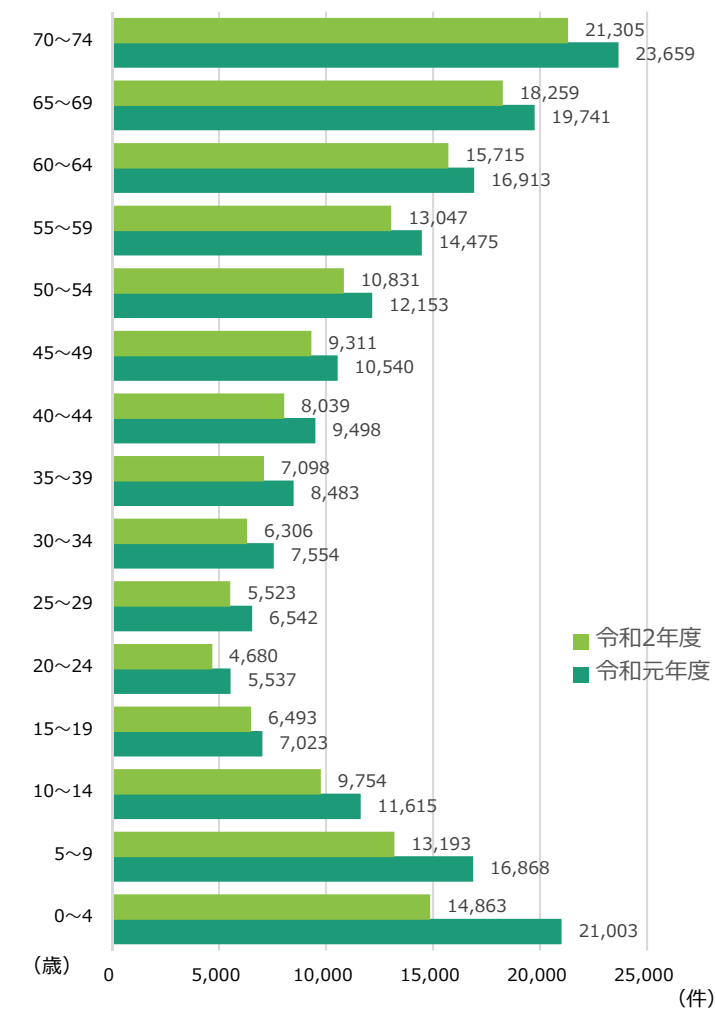
医療費総額 男性



一人当医療費 男性

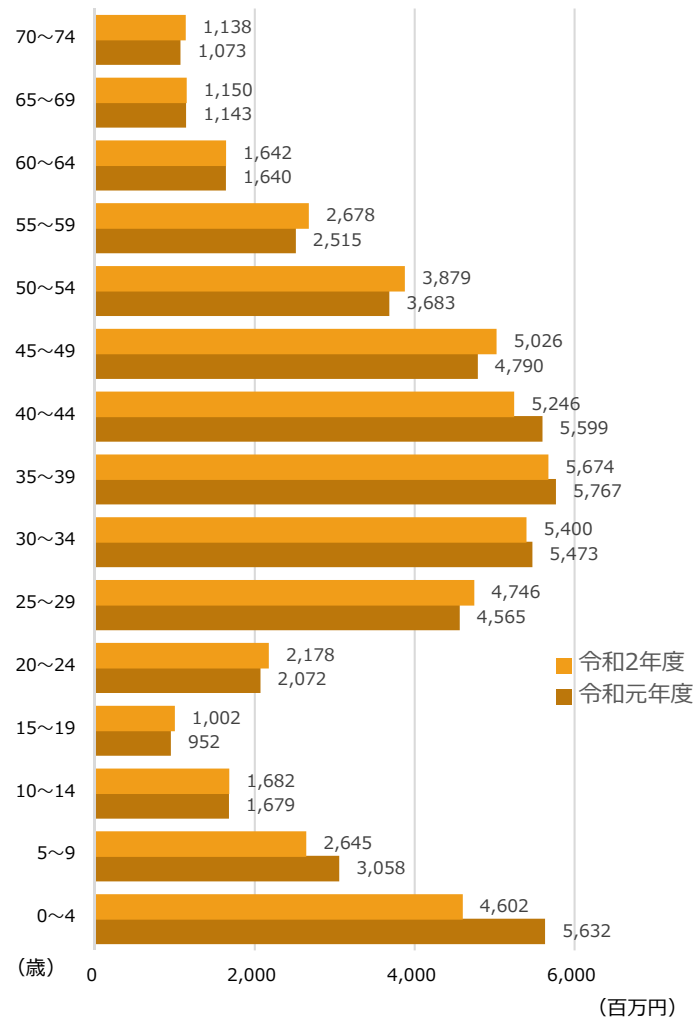


受診率 (1,000人当たり件数) 男性

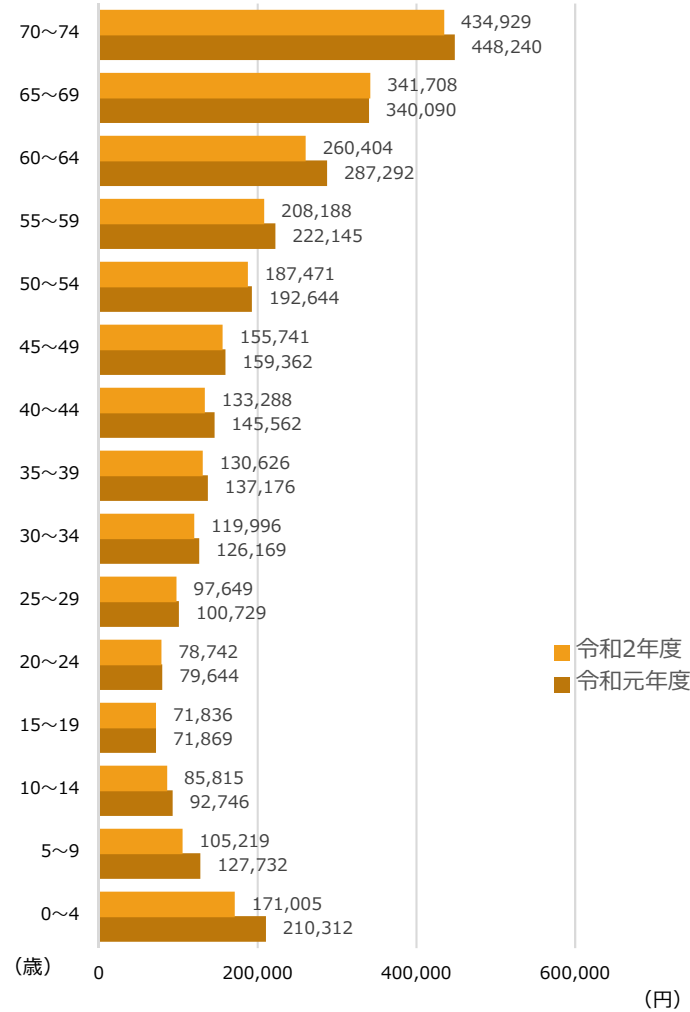


- 乳幼児、未就学児童は、医療費総額、一人当医療費及び受診率ともに高い。
- 高齢者層の医療費総額が占める割合は低いものの、年齢階層の上昇とともに一人当医療費、受診率が大きくなる。
- 20歳未満、30代~40代前半、70代の年齢階層で医療費総額が前年より減少しているのは、新型コロナウイルス感染症流行による医療機関受診控えが影響しているものと推察される。

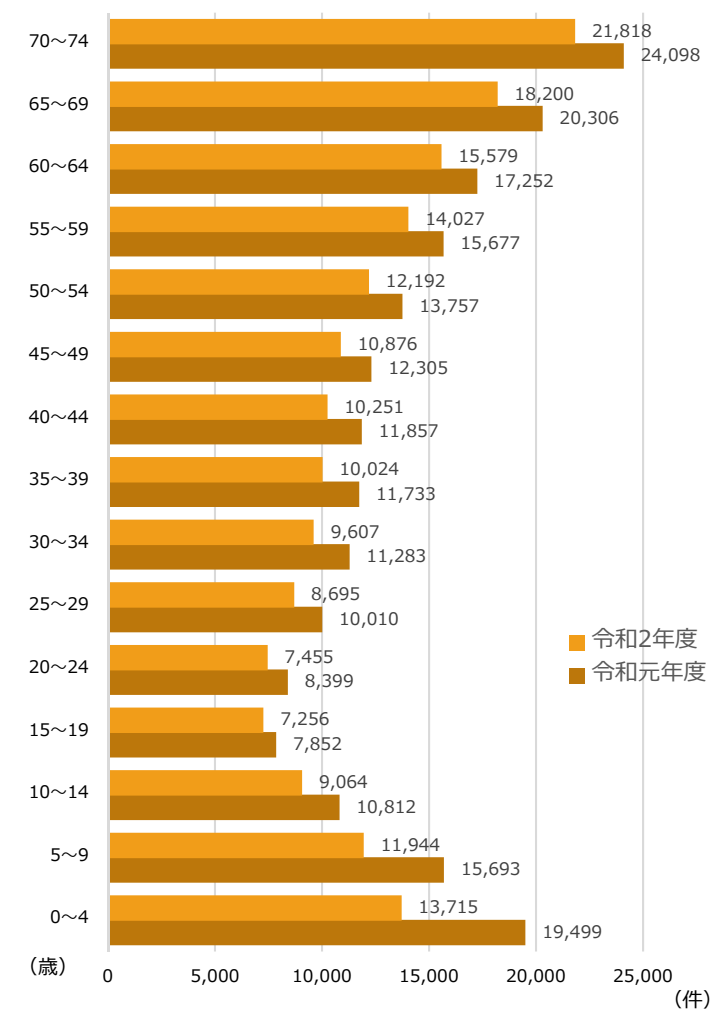
医療費総額 女性



一人当医療費 女性



受診率 (1,000人当たり件数) 女性

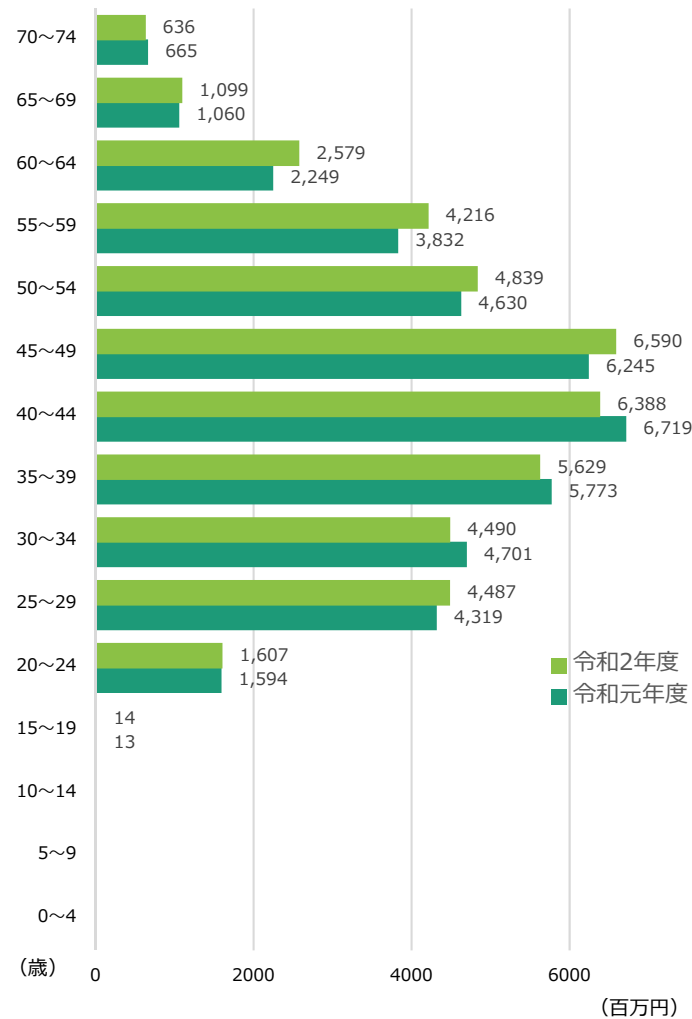


■ 男性と同様に一部年齢階層を除き、医療費総額が前年より減少している。

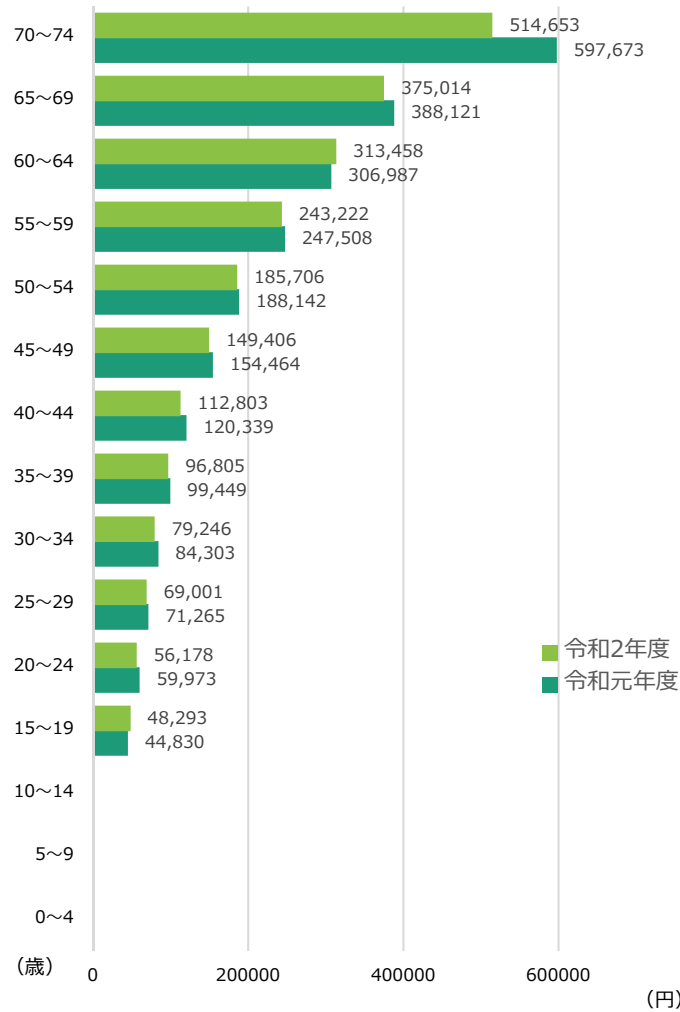
# 1-3-3 年齢階層別医療費 男性本人

入院外	歯科	本人	男性
入院	調剤		

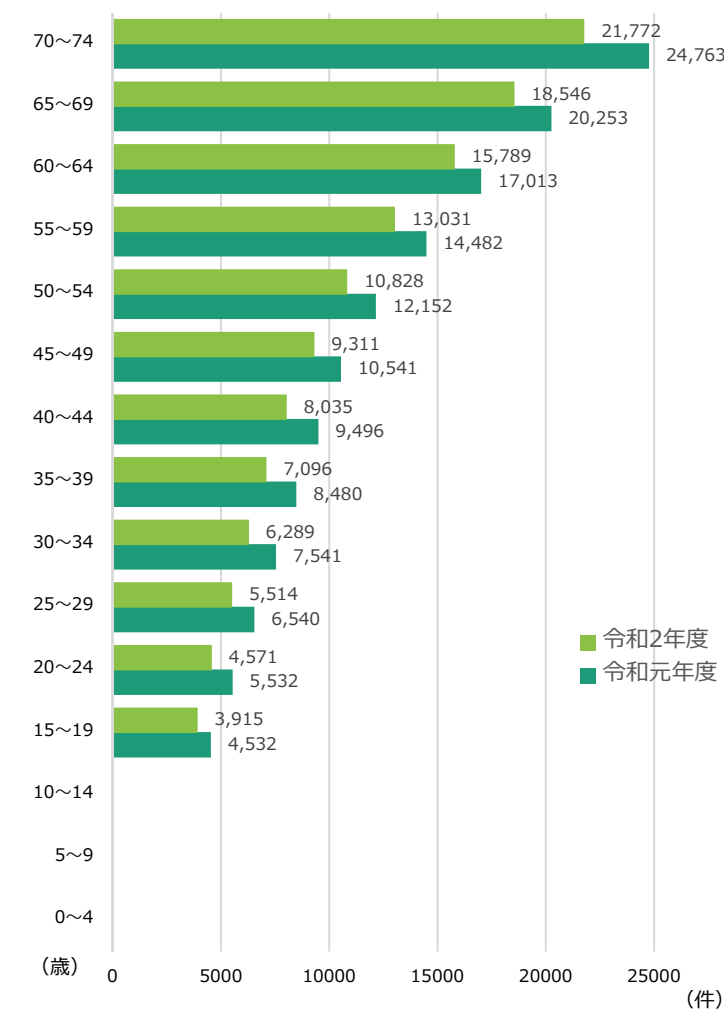
医療費総額 男性



一人当医療費 男性

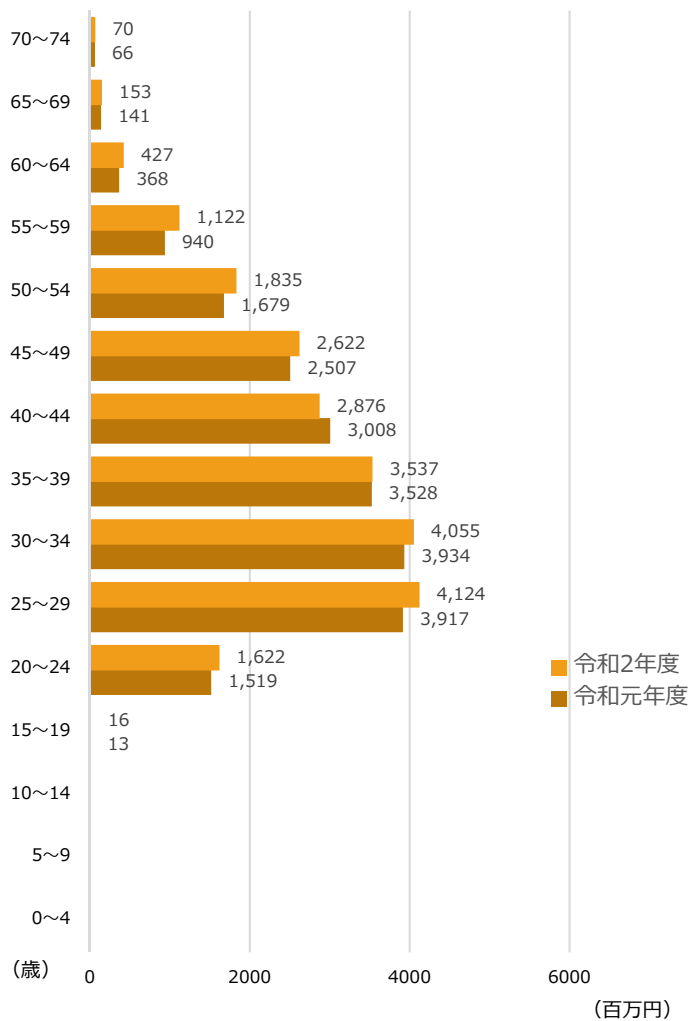


受診率 (1,000人当たり件数) 男性

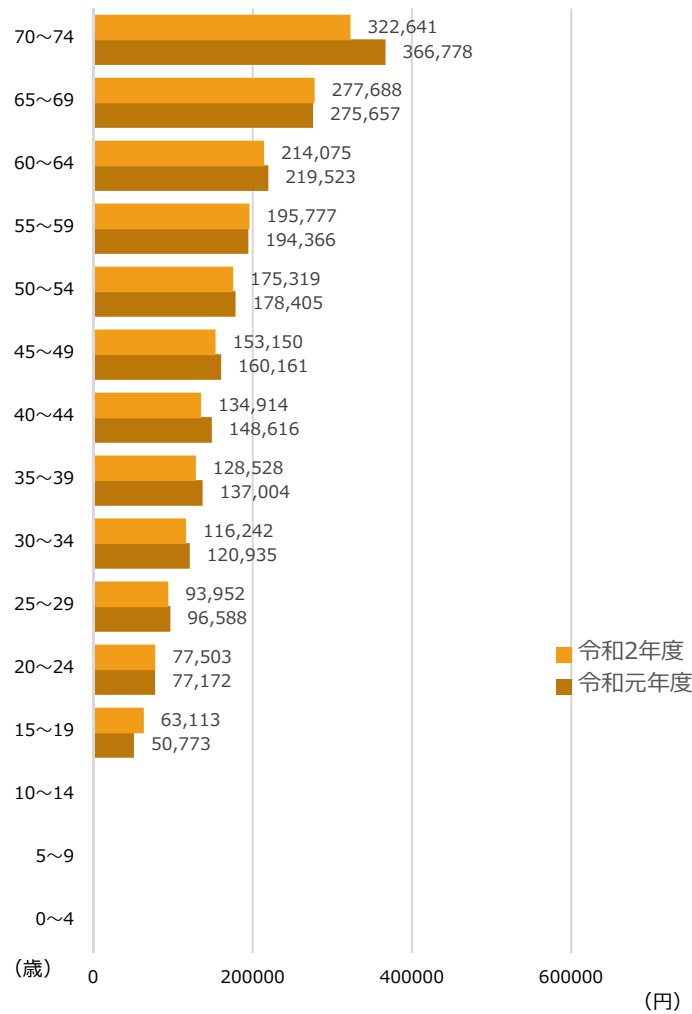


- 30代~40代前半を除く年齢階層で前年よりも医療費総額が伸びている。
- 高齢者層の医療費総額が占める割合は低いものの、年齢階層の上昇に伴い、一人当医療費、受診率が大きくなる。

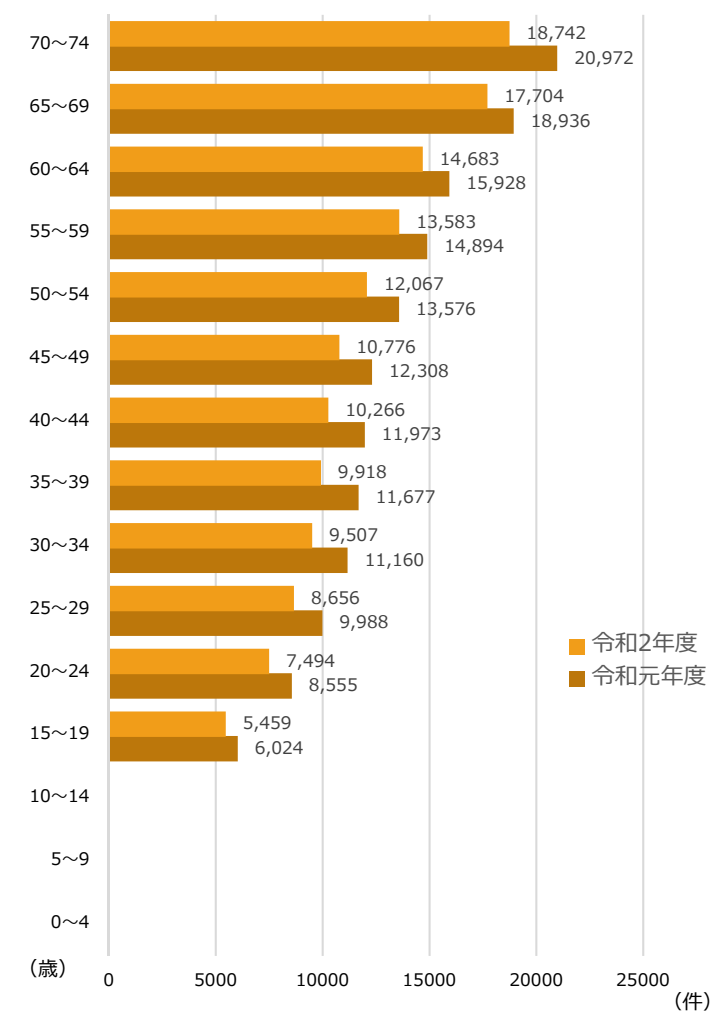
医療費総額 女性



一人当医療費 女性

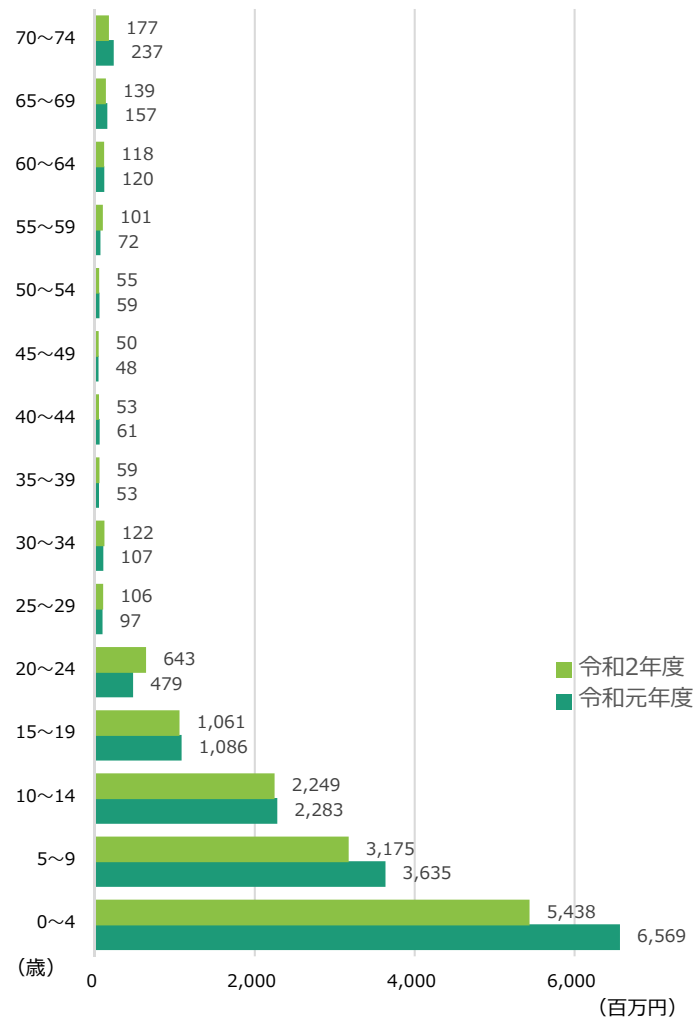


受診率 (1,000人当たり件数) 女性

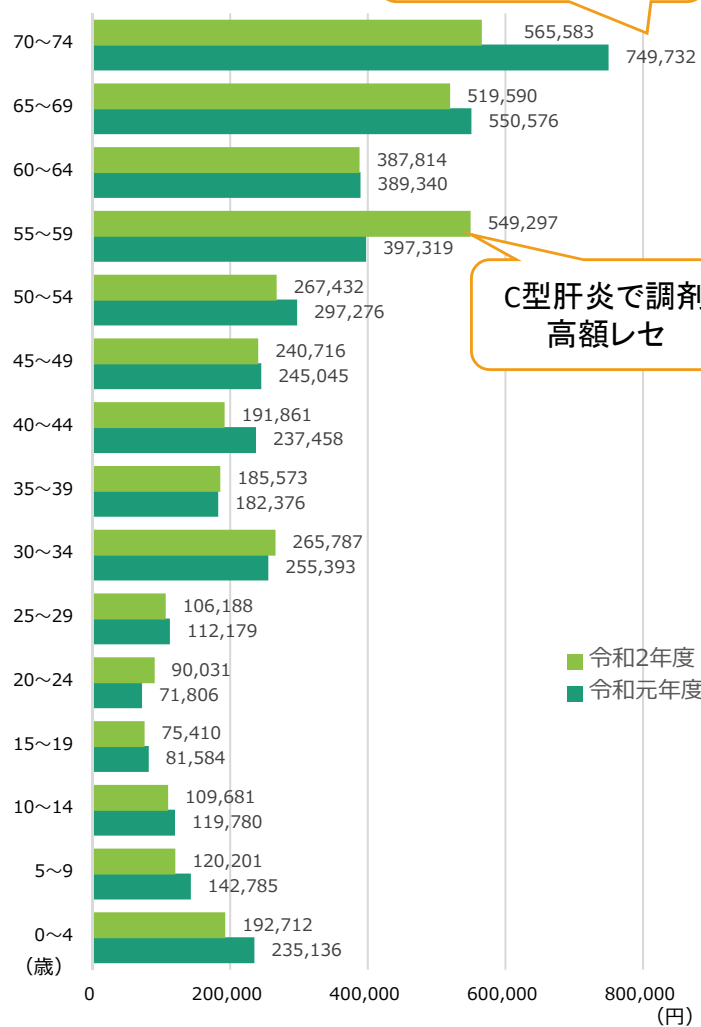


■ 男性よりも受診率が高い傾向だが、すべての年齢階層で前年度より減少した。

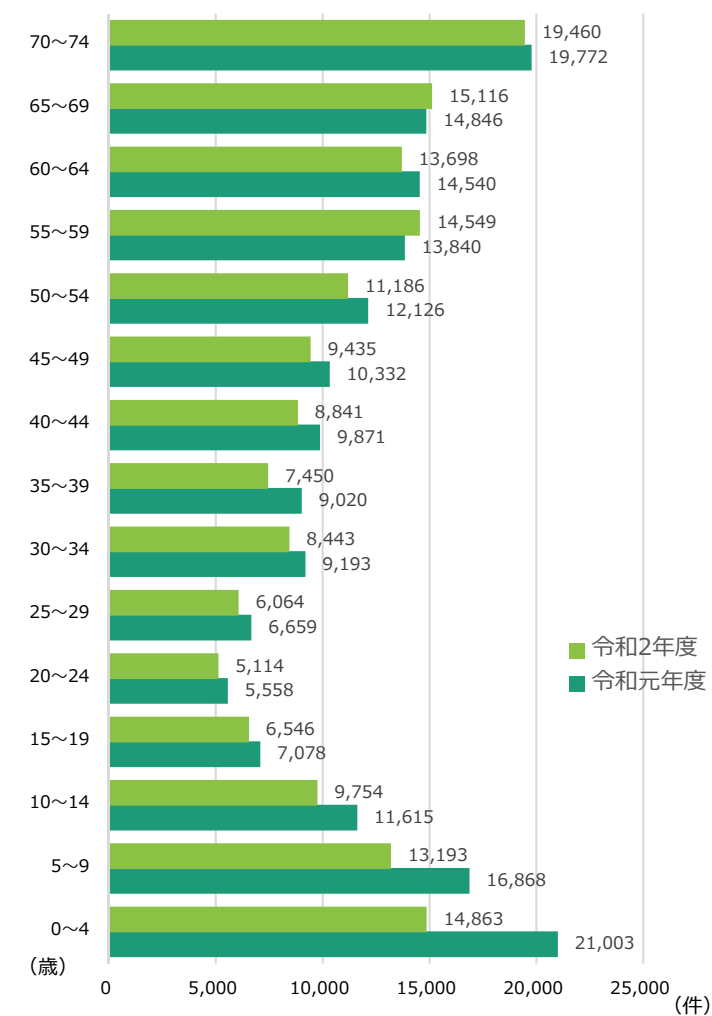
医療費総額 男性



一人当医療費 男性

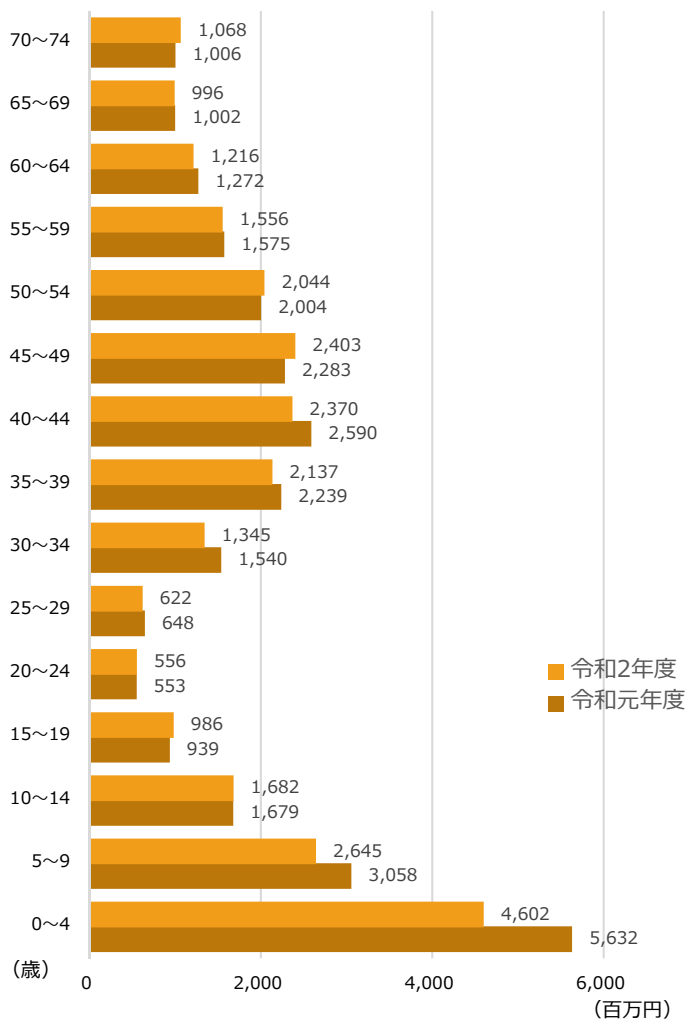


受診率 (1,000人当たり件数) 男性

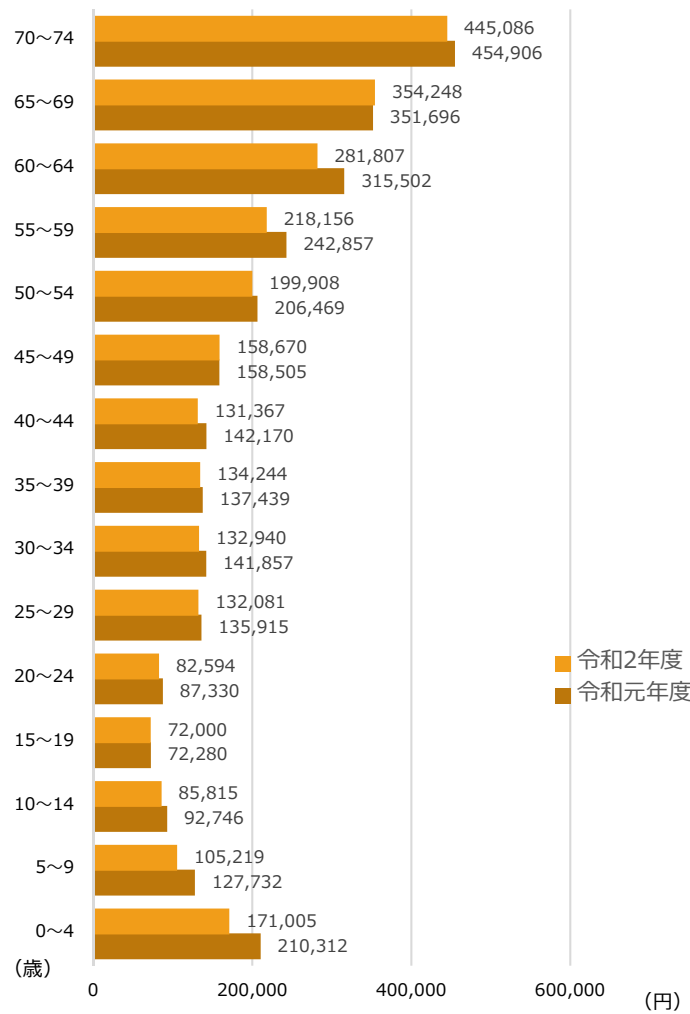


- 20歳以上の統計客体数が少ないことから、一人当医療費及び受診率にばらつきが見られる。
- 乳幼児及び未就学児童の受診率が極めて高く、0~9歳までで医療費総額の63%を占める。
- 全体的に他の階層と比べ一人当医療費が高めの傾向がある。

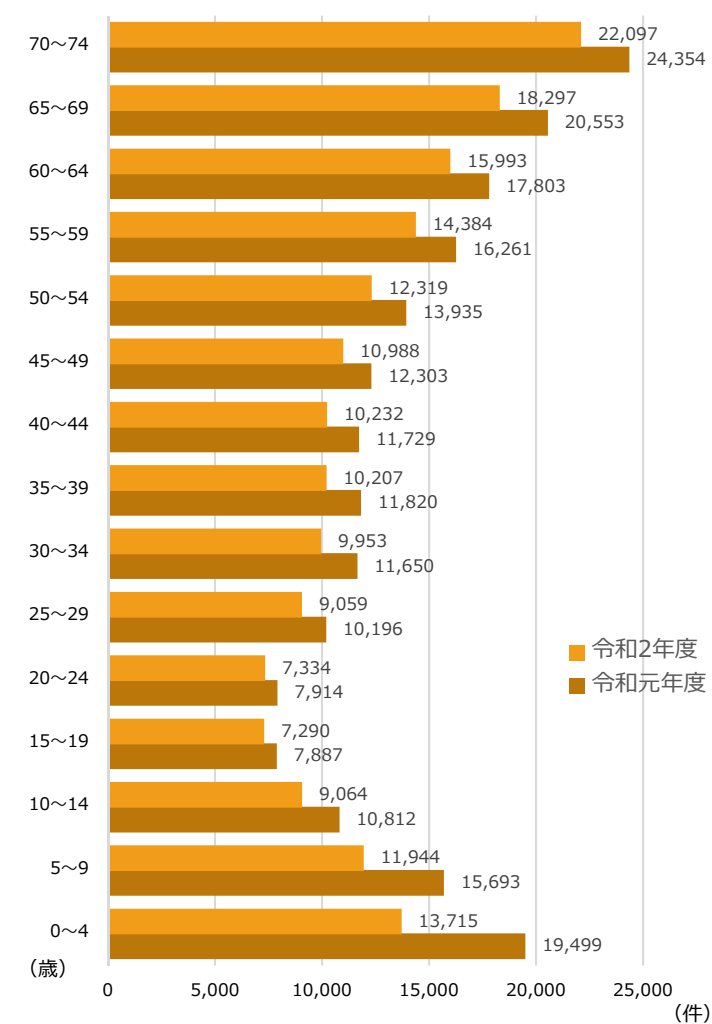
医療費総額 女性



一人当医療費 女性



受診率 (1,000人当たり件数) 女性



- 乳幼児及び未就学児童の受診率が高い傾向にあり、0~9歳までで医療費総額の27%を占める。
- いずれの項目でも前年に比べ減少しているのは、新型コロナウイルス感染症流行による医療機関受診控えが影響していると推察される。



令和元年度 診療区分	本人+家族 [% は対前年度比率]									
	医療費総額 (円)		1人当医療費 (円)		受診率 (1,000人当件数)		1件当日数 (日)		1日当医療費 (円)	
総額	108.4%	106,517,908,040	102.1%	134,167	99.4%	11,203	99.3%	1.37	103.8%	8,741
医科 計	107.9%	68,012,938,690	101.6%	85,667	98.8%	5,710	99.3%	1.43	103.7%	10,525
医科・入院	106.8%	21,951,727,080	100.6%	27,650	98.3%	62	99.7%	7.55	102.5%	59,068
医科・入院外	108.4%	46,061,211,610	102.0%	58,018	98.8%	5,648	99.3%	1.36	104.2%	7,563
歯科・計	108.7%	14,472,931,160	102.4%	18,230	102.6%	1,613	97.5%	1.58	101.9%	7,150
歯科・入院	123.8%	223,166,070	116.6%	281	107.6%	1	99.7%	3.88	108.7%	70,488
歯科・入院外	108.5%	14,249,765,090	102.2%	17,949	102.6%	1,612	98.1%	1.58	101.7%	7,051
調剤	109.9%	24,032,038,190	103.5%	30,270	99.0%	3,881	99.2%	1.20	105.5%	6,496

令和2年度 診療区分	本人+家族 [% は対前年度比率]									
	医療費総額 (円)		1人当医療費 (円)		受診率 (1,000人当件数)		1件当日数 (日)		1日当医療費 (円)	
総額	98.4%	104,817,759,730	93.8%	125,839	83.9%	9,395	100.0%	1.37	112.0%	9,789
医科 計	96.9%	65,928,448,560	92.4%	79,150	82.6%	4,717	99.3%	1.42	112.1%	11,802
医科・入院	100.2%	21,997,908,280	95.5%	26,410	87.8%	54	101.9%	7.69	106.8%	63,073
医科・入院外	95.4%	43,930,540,280	90.9%	52,741	82.6%	4,663	99.3%	1.35	110.9%	8,388
歯科・計	105.9%	15,331,632,740	101.0%	18,406	93.8%	1,512	101.9%	1.61	105.9%	7,569
歯科・入院	95.6%	213,443,840	91.1%	256	88.3%	1	97.7%	3.79	105.7%	74,474
歯科・入院外	106.1%	15,118,188,900	101.1%	18,150	93.8%	1,511	101.9%	1.61	106.0%	7,474
調剤	98.0%	23,557,678,430	93.4%	28,282	81.6%	3,166	97.5%	1.17	117.1%	7,609

- 医療費総額は前年度に比べ1.6%減少した。
- 全体的に伸び率は前年度に比べ減少しているが、新型コロナウイルス感染症流行による医療機関受診控えの影響と思われる。

# 1-3-8 診療区分別医療費の三要素 ② - 令和元・2年度 -

入院外	歯科	本人	男性
入院	調剤	家族	女性

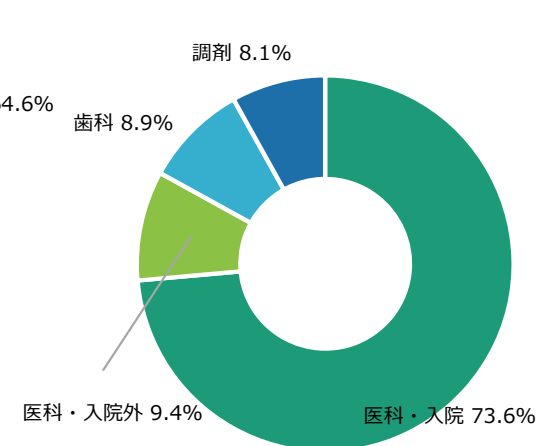
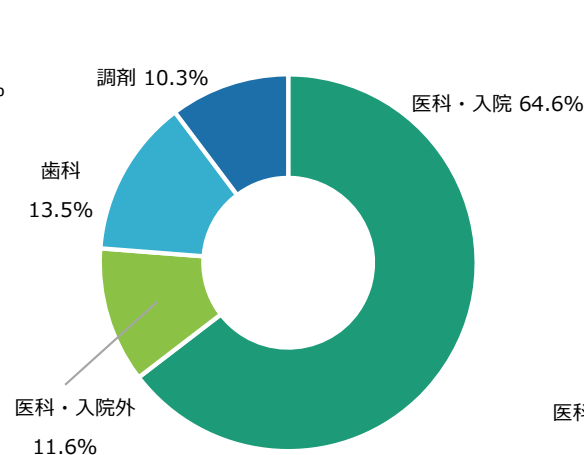
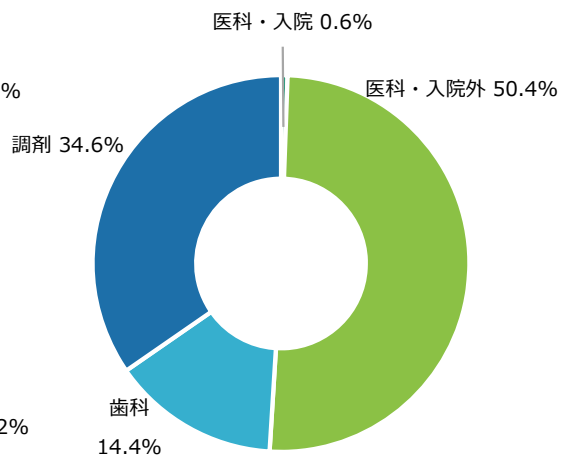
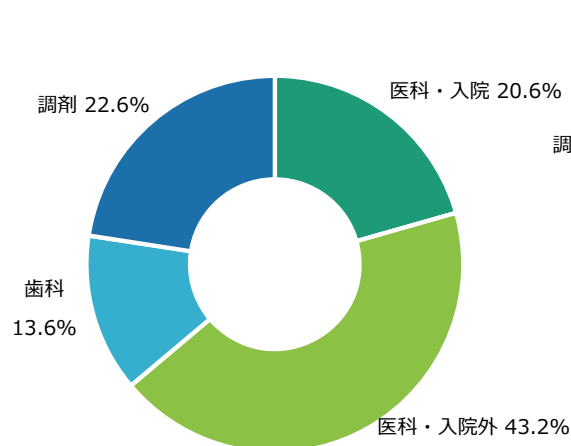
## 令和元年度

医療費総額の診療区分割合

受診率の診療区分割合

一件当たり日数の診療区分割合

一日当医療費の診療区分割合



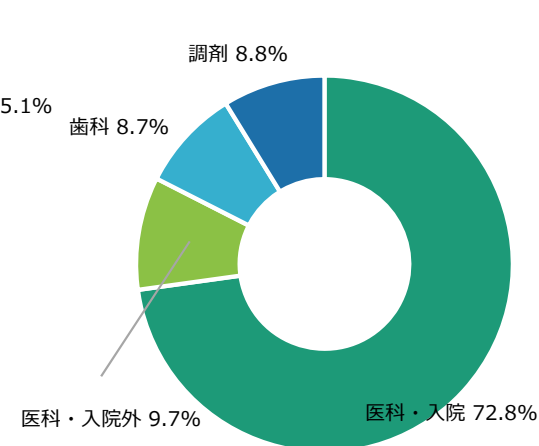
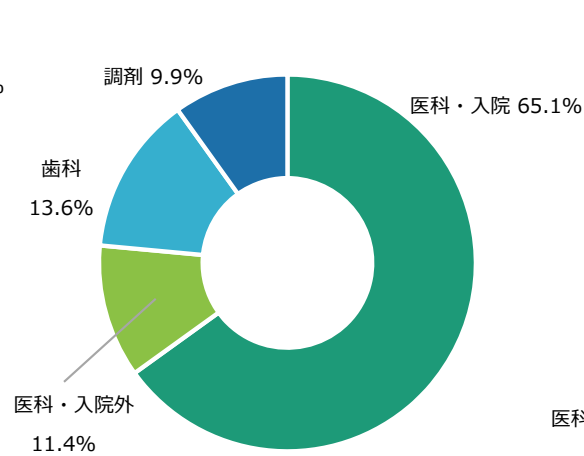
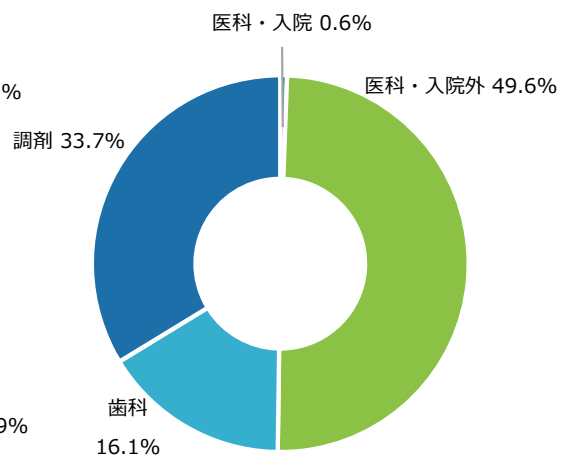
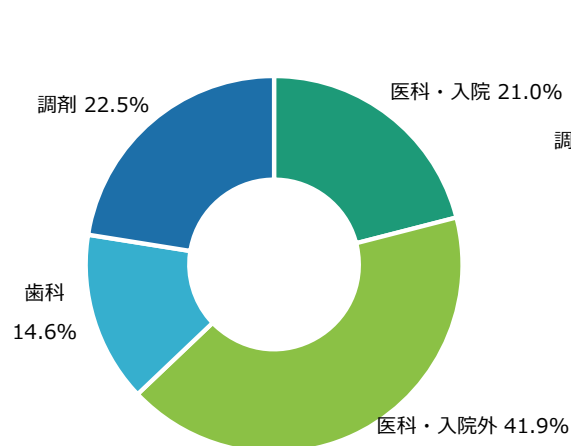
## 令和2年度

医療費総額の診療区分割合

受診率の診療区分割合

一件当たり日数の診療区分割合

一日当医療費の診療区分割合



■ 実績として各診療区分の割合は大きく変化していない。

# 1-3-9 疾病19分類別 医科入院三要素 男性本人

疾病19分類	本人/男性 [入院]								
	医療費総額 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	件数	日数	受診者数
01:感染症・寄生虫症	173,466,830	2.23%	475	0.9719	9.14	53,457	355	3,245	292
02:新生物	1,429,156,660	18.34%	3,913	5.1415	9.04	84,212	1,878	16,971	1,264
03:血液・造血管・免疫障害	151,088,430	1.94%	414	0.3340	14.73	84,078	122	1,797	98
04:内分泌・栄養・代謝疾患	173,872,000	2.23%	476	1.2594	8.49	44,514	460	3,906	396
05:精神・行動障害	92,694,480	1.19%	254	0.6379	16.73	23,774	233	3,899	129
06:神経系疾患	251,922,330	3.23%	690	2.2203	5.02	61,821	811	4,075	679
07:眼・付属器疾患	172,119,590	2.21%	471	1.0157	5.11	90,733	371	1,897	299
08:耳・乳様突起疾患	49,606,640	0.64%	136	0.2820	5.75	83,795	103	592	94
09:循環器系疾患	2,138,535,780	27.45%	5,855	6.0203	11.06	87,933	2,199	24,320	1,377
10:呼吸器系疾患	577,082,200	7.41%	1,580	2.7542	7.46	76,852	1,006	7,509	858
11:消化器系疾患	987,383,000	12.67%	2,703	7.0852	6.18	61,754	2,588	15,989	2,111
12:皮膚・皮下組織疾患	61,240,410	0.79%	168	0.4134	8.72	46,535	151	1,316	127
13:筋骨格系・結合組織疾患	386,901,400	4.97%	1,059	1.5003	9.33	75,685	548	5,112	435
14:腎尿路生殖器系疾患	252,640,710	3.24%	692	1.6399	6.50	64,896	599	3,893	483
15:妊娠・分娩・産じょく	0	0.00%	0	0.0000	-	-	0	0	0
16:周産期発生病態	0	0.00%	0	0.0000	-	-	0	0	0
17:先天奇形変形・染色体異常	42,356,960	0.54%	116	0.1122	10.24	100,850	41	420	38
18:他に分類されないもの	84,855,120	1.09%	232	0.3751	8.87	69,840	137	1,215	121
19:損傷・中毒・外因性	558,760,330	7.17%	1,530	2.5461	8.87	67,761	930	8,246	734

- 医療費総額は循環器系疾患(高血圧系疾患、心疾患、脳血管疾患等)、新生物の順で上位を占める。
- 医療費や日数では循環器疾患が上位だが、受診率や件数では消化器系疾患が上位となった。
- 1件当日数は精神系疾患によるものが長くなっている。

# 1-3-10 疾病19分類別 医科入院外三要素 男性本人

入院外	本人	男性
-----	----	----

疾病19分類	本人/男性 [入院外]								
	医療費総額 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	件数	日数	受診者数
01:感染症・寄生虫症	976,870,960	5.46%	2,674	176.0607	1.44	10,518	64,309	92,875	37,029
02:新生物	1,881,626,600	10.51%	5,151	106.8838	1.51	31,930	39,041	58,930	24,749
03:血液・造血器・免疫障害	636,451,250	3.55%	1,742	5.7629	1.33	227,629	2,105	2,796	1,430
04:内分泌・栄養・代謝疾患	2,174,509,240	12.14%	5,953	443.2332	1.15	11,675	161,898	186,253	39,925
05:精神・行動障害	1,116,531,550	6.24%	3,057	355.4834	1.48	5,807	129,846	192,262	25,745
06:神経系疾患	967,432,650	5.40%	2,649	217.1951	1.24	9,820	79,334	98,517	19,608
07:眼・付属器疾患	914,785,550	5.11%	2,504	313.5140	1.12	7,162	114,516	127,726	65,337
08:耳・乳様突起疾患	161,844,360	0.90%	443	57.2761	1.33	5,819	20,921	27,812	14,518
09:循環器系疾患	1,205,251,360	6.73%	3,300	298.9328	1.15	9,635	109,190	125,090	29,716
10:呼吸器系疾患	1,370,366,530	7.65%	3,752	484.0336	1.20	6,432	176,801	213,042	82,790
11:消化器系疾患	1,849,109,280	10.33%	5,062	250.4805	1.28	15,789	91,492	117,115	44,848
12:皮膚・皮下組織疾患	1,042,285,540	5.82%	2,853	427.0751	1.21	5,543	155,996	188,027	63,154
13:筋骨格系・結合組織疾患	1,000,238,230	5.59%	2,738	242.3549	1.94	5,839	88,524	171,304	39,062
14:腎尿路生殖器系疾患	1,175,101,190	6.56%	3,217	76.0432	2.13	19,886	27,776	59,091	13,776
15:妊娠・分娩・産じょく	40,990	0.00%	0	0.0110	1.00	10,248	4	4	4
16:周産期発生病態	20,660	0.00%	0	0.0110	1.75	2,951	4	7	4
17:先天奇形変形・染色体異常	31,003,030	0.17%	85	2.2942	1.15	32,127	838	965	519
18:他に分類されないもの	211,071,530	1.18%	578	51.0477	1.25	9,071	18,646	23,269	12,812
19:損傷・中毒・外因性	460,646,580	2.57%	1,261	93.7591	1.93	6,976	34,247	66,037	21,058

■ 通院では、前年まで医療費総額・割合・1人当医療費で上位を占めていた呼吸器系（かぜ等）疾患が大幅に減少し、内分泌・栄養・代謝疾患が上位となった。呼吸器系疾患が大幅に減少したのは、新型コロナウイルス感染症流行による、医療機関受診控えやマスク着用等の感染予防によるものと思われる。

# 1-3-11 生活習慣病 医科入院三要素 男性本人

生活習慣病		本人/男性 [入院]				
		医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病		117,438,520	322	5.1086	10.06	6,257
再掲	インスリン治療	34,519,320	95	0.4490	10.73	19,624
	腎障害	458,100	1	0.1150	8.83	1,235
	網膜症	3,831,190	10	0.1177	10.00	8,910
	神経障害	440,060	1	0.0356	15.00	2,257
脳血管障害		354,239,160	970	1.5742	18.87	32,649
虚血性心疾患		287,189,310	786	1.8945	9.21	45,042
動脈閉塞		169,160	0	0.0055	7.50	11,277
高血圧症		71,790,730	197	5.3249	10.04	3,678
高尿酸血症		5,401,060	15	1.4045	10.46	1,006
高脂血症		17,736,870	49	3.4140	9.63	1,476
肝機能障害		4,028,920	11	0.3888	10.49	2,704
高血圧性腎臓障害		114,090	0	0.0082	13.67	2,783
人工透析		79,367,830	217	0.4243	14.70	34,826

生活習慣病		本人/男性 [入院]				
		医療費総額	1人当医療費	受診率	1件当日数	1日当医療費
【対前年度伸率 %】						
糖尿病		26.05%	20.60%	7.55%	0.00%	11.99%
再掲	インスリン治療	6.25%	2.15%	0.40%	0.19%	0.87%
	腎障害	△50.46%	△66.67%	△27.08%	△40.78%	9.49%
	網膜症	△16.79%	△23.08%	24.42%	22.25%	△47.75%
	神経障害	△29.66%	△50%	△31.01%	63.58%	△40.48%
脳血管障害		39.66%	33.43%	16.59%	2.72%	11.37%
虚血性心疾患		4.80%	0.00%	10.15%	8.99%	△16.68%
動脈閉塞		50.89%	-	△3.51%	△44.44%	171.60%
高血圧症		28.70%	23.13%	1.78%	△2.62%	24.09%
高尿酸血症		15.62%	15.38%	△1.22%	△7.68%	21.06%
高脂血症		38.88%	32.43%	8.76%	12.90%	7.89%
肝機能障害		17.70%	10.00%	△0.99%	14.64%	△0.95%
高血圧性腎臓障害		△15.65%	-	△42.66%	△12.37%	60.50%
人工透析		8.92%	3.83%	△3.9%	12.39%	△3.75%

■ 入院の医療費総額は前年度は虚血性心疾患が上位であったが、脳血管障害に替わった。

# 1-3-12 生活習慣病 医科入院外三要素 男性本人

生活習慣病		本人/男性 [入院外]				
		医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病		1,986,081,360	5,437	464.4150	1.26	9,278
再掲	インスリン治療	534,277,090	1,463	35.1141	1.20	34,781
	腎障害	9,831,710	27	36.7431	1.14	640
	網膜症	44,747,900	123	22.7752	1.24	4,325
	神経障害	4,776,120	13	5.8314	1.16	1,932
脳血管障害		80,321,310	220	24.9845	1.49	5,922
虚血性心疾患		122,659,300	336	74.9509	1.53	2,921
動脈閉塞		132,260	0	0.3231	1.36	827
高血圧症		1,067,961,800	2,924	500.5339	1.15	5,062
高尿酸血症		284,085,590	778	235.3737	1.29	2,562
高脂血症		857,334,240	2,347	550.3277	1.25	3,421
肝機能障害		38,635,710	106	115.2092	1.24	739
高血圧性腎臓障害		605,890	2	1.8179	1.19	767
人工透析		805,629,190	2,206	5.8396	12.49	30,242

生活習慣病		本人/男性 [入院外]				
		医療費総額	1人当医療費	受診率	1件当日数	1日当医療費
【対前年度伸率 %】						
糖尿病		12.61%	7.54%	3.30%	△0.79%	4.60%
再掲	インスリン治療	18.43%	13.15%	9.49%	0.84%	2.88%
	腎障害	48.15%	42.11%	1.40%	△0.87%	40.66%
	網膜症	25.47%	20.59%	4.83%	0.81%	13.28%
	神経障害	7.70%	0.00%	35.71%	△4.92%	△20.2%
脳血管障害		△13.94%	△17.91%	△9.92%	△3.25%	△5.32%
虚血性心疾患		△7.67%	△11.81%	△7.06%	0.66%	△5.74%
動脈閉塞		△1.29%	-	7.34%	2.26%	△13.58%
高血圧症		1.11%	△3.43%	△0.68%	△2.54%	△0.88%
高尿酸血症		0.58%	△3.95%	△0.23%	△0.77%	△3.17%
高脂血症		6.00%	1.21%	2.67%	△0.79%	△0.26%
肝機能障害		2.62%	△1.85%	4.98%	0.00%	△6.57%
高血圧性腎臓障害		13.06%	0.00%	0.82%	△5.56%	13.80%
人工透析		5.28%	0.55%	1.50%	1.22%	△2.16%

■ 医療費総額では糖尿病と高血圧が上位を占めている。また、日数で上位の人工透析についても、CKD（慢性腎臓病）の原因に糖尿病性であるものが多いことから、糖尿病の重症化予防の必要性がわかる。  
 ■ 外来においても入院と同様に人工透析が増加傾向。

# 1-3-13 疾病19分類別 医科入院三要素 女性本人

疾病19分類	本人/女性 [入院]								
	医療費総額 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	件数	日数	受診者数
01:感染症・寄生虫症	68,917,740	1.58%	373	1.1196	7.59	43,841	207	1,572	183
02:新生物	1,343,122,960	30.75%	7,265	10.5363	7.00	98,455	1,948	13,642	1,548
03:血液・造血器・免疫障害	113,663,190	2.60%	615	2.5367	5.77	41,989	469	2,707	420
04:内分泌・栄養・代謝疾患	43,150,070	0.99%	233	1.0223	5.76	39,660	189	1,088	172
05:精神・行動障害	69,173,390	1.58%	374	0.9465	14.65	26,979	175	2,564	100
06:神経系疾患	99,364,520	2.27%	537	1.2765	7.83	53,769	236	1,848	177
07:眼・付属器疾患	49,449,940	1.13%	267	0.6436	5.26	78,994	119	626	99
08:耳・乳様突起疾患	19,102,650	0.44%	103	0.2380	5.89	73,755	44	259	40
09:循環器系疾患	273,116,340	6.25%	1,477	1.9796	10.07	74,116	366	3,685	269
10:呼吸器系疾患	120,765,190	2.76%	653	1.6010	6.56	62,186	296	1,942	269
11:消化器系疾患	340,585,870	7.80%	1,842	7.0747	5.46	47,688	1,308	7,142	1,152
12:皮膚・皮下組織疾患	24,540,290	0.56%	133	0.5517	6.29	38,225	102	642	94
13:筋骨格系・結合組織疾患	153,760,700	3.52%	832	2.0391	7.11	57,352	377	2,681	311
14:腎尿路生殖器系疾患	201,669,530	4.62%	1,091	4.3757	4.12	60,525	809	3,332	749
15:妊娠・分娩・産じょく	1,047,793,090	23.99%	5,667	21.5648	6.22	42,246	3,987	24,802	3,492
16:周産期発生病態	10,579,940	0.24%	57	0.1569	8.03	45,407	29	233	28
17:先天奇形変形・染色体異常	27,567,510	0.63%	149	0.1623	8.13	112,982	30	244	25
18:他に分類されないもの	36,824,630	0.84%	199	1.2657	4.89	32,189	234	1,144	227
19:損傷・中毒・外因性	176,548,510	4.04%	955	2.2500	6.63	64,036	416	2,757	376

- 医療費総額は男性と異なり、新生物、妊娠・分娩・産じょくが上位となっている。この傾向は前年と同様。
- 一件当日数は男性と同様に精神・行動障害が上位となっている。

# 1-3-14 疾病19分類別 医科入院外三要素 女性本人

疾病19分類	本人/女性 [入院外]								
	医療費総額 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	件数	日数	受診者数
01:感染症・寄生虫症	321,982,760	3.37%	1,742	201.4117	1.40	6,164	37,238	52,234	23,773
02:新生物	1,635,079,290	17.14%	8,844	330.1728	1.41	18,946	61,044	86,301	35,543
03:血液・造血管・免疫障害	120,344,630	1.26%	651	42.1613	1.38	11,159	7,795	10,785	5,255
04:内分泌・栄養・代謝疾患	774,118,220	8.11%	4,187	305.8658	1.32	10,339	56,550	74,872	23,065
05:精神・行動障害	627,647,530	6.58%	3,395	388.8255	1.51	5,793	71,888	108,355	16,036
06:神経系疾患	306,671,530	3.21%	1,659	170.7602	1.30	7,461	31,571	41,102	10,539
07:眼・付属器疾患	573,308,750	6.01%	3,101	492.4953	1.10	5,741	91,055	99,855	55,263
08:耳・乳様突起疾患	113,687,960	1.19%	615	73.5322	1.34	6,244	13,595	18,208	9,541
09:循環器系疾患	344,619,150	3.61%	1,864	145.9772	1.20	10,656	26,989	32,341	10,283
10:呼吸器系疾患	772,337,290	8.09%	4,177	589.1554	1.22	5,794	108,926	133,303	51,537
11:消化器系疾患	689,529,660	7.23%	3,730	290.9376	1.28	10,036	53,790	68,704	28,522
12:皮膚・皮下組織疾患	632,141,250	6.62%	3,419	664.0128	1.18	4,357	122,766	145,095	54,517
13:筋骨格系・結合組織疾患	649,458,380	6.81%	3,513	247.6945	1.89	7,504	45,795	86,554	21,347
14:腎尿路生殖器系疾患	1,051,390,860	11.02%	5,687	483.1544	1.36	8,657	89,328	121,445	37,574
15:妊娠・分娩・産じょく	88,622,900	0.93%	479	47.3267	1.63	6,213	8,750	14,265	5,216
16:周産期発生病態	2,420,150	0.03%	13	1.3846	1.75	5,390	256	449	202
17:先天奇形変形・染色体異常	22,809,400	0.24%	123	4.3703	1.30	21,744	808	1,049	578
18:他に分類されないもの	164,830,070	1.73%	892	94.1180	1.26	7,542	17,401	21,854	11,758
19:損傷・中毒・外因性	226,910,340	2.38%	1,227	102.1284	1.90	6,317	18,882	35,923	12,886

- 医療費総額は前年同様、新生物が上位となった。乳がんや子宮頸がんなどは通院による薬物療法の期間が長くなる。特に乳がんでは閉経前と閉経後で対処はちがうものの、基本5年以上、10年間まで内服が必要となる。
- 受診率や件数、日数等では前年まで上位を占めていた呼吸器系疾患の大幅な減少により皮膚・皮下組織疾患が上位となった。



# 1-3-15 生活習慣病 医科入院三要素 女性本人

生活習慣病		本人/女性 [入院]				
		医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病		14,260,470	77	2.1419	10.19	3,535
再掲	インスリン治療	3,648,180	20	0.1352	10.40	14,031
	腎障害	2,170	0	0.0108	4.50	241
	網膜症	571,230	3	0.0270	9.80	11,658
	神経障害	0	0	0.0000	-	-
脳血管障害		72,656,990	393	0.7302	16.73	32,178
虚血性心疾患		9,060,990	49	0.4922	8.90	11,186
動脈閉塞		10,470	0	0.0054	12.00	873
高血圧症		11,427,060	62	2.5097	10.87	2,265
高尿酸血症		945,250	5	0.3191	15.53	1,032
高脂血症		2,450,340	13	1.0331	9.60	1,336
肝機能障害		438,140	2	0.1460	8.59	1,889
高血圧性腎臓障害		257,980	1	0.0108	12.50	10,319
人工透析		4,174,680	23	0.0487	8.11	57,187

生活習慣病		本人/女性 [入院]				
		医療費総額	1人当医療費	受診率	1件当日数	1日当医療費
【対前年度伸率 %】						
糖尿病		46.47%	35.09%	19.11%	△7.7%	23.47%
再掲	インスリン治療	35.83%	25.00%	44.75%	8.00%	△19.55%
	腎障害	△98.55%	△100%	△73.59%	△43.75%	△90.97%
	網膜症	226.03%	200.00%	△7.53%	19.51%	172.83%
	神経障害	△100%	-	△100%	-	-
脳血管障害		94.95%	80.28%	42.12%	9.27%	16.30%
虚血性心疾患		40.81%	28.95%	0.37%	△10.37%	44.97%
動脈閉塞		-	-	-	-	-
高血圧症		△14.74%	△20.51%	5.11%	8.16%	△30.56%
高尿酸血症		141.67%	150.00%	11.53%	△3.54%	108.06%
高脂血症		46.72%	30.00%	3.49%	3.23%	27.24%
肝機能障害		29.90%	0.00%	0.00%	△10.15%	33.88%
高血圧性腎臓障害		4899.61%	-	86.21%	212.50%	699.92%
人工透析		3.64%	△4.17%	△24.14%	△22.39%	63.26%

■ 脳血管障害が上位を占め、入院での受診率は高血圧症が上位となっている。

# 1-3-16 生活習慣病 医科入院外三要素 女性本人

生活習慣病		本人/女性 [入院外]				
		医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病		313,828,580	1,697	214.0682	1.44	5,502
再掲	インスリン治療	84,406,290	457	13.9005	1.29	25,539
	腎障害	1,687,920	9	10.6769	1.19	717
	網膜症	5,802,550	31	7.2315	1.24	3,500
	神経障害	513,010	3	1.7308	1.13	1,417
脳血管障害		31,758,040	172	13.9817	1.35	9,069
虚血性心疾患		27,680,570	150	29.4940	1.55	3,276
動脈閉塞		6,720	0	0.1082	1.35	249
高血圧症		192,589,330	1,042	186.7431	1.21	4,596
高尿酸血症		6,700,360	36	18.8171	1.53	1,256
高脂血症		164,848,170	892	241.5502	1.32	2,797
肝機能障害		6,846,540	37	34.2591	1.32	820
高血圧性腎臓障害		116,040	1	0.8384	1.20	624
人工透析		70,540,710	382	1.0114	11.58	32,567

生活習慣病		本人/女性 [入院外]				
		医療費総額	1人当医療費	受診率	1件当日数	1日当医療費
【対前年度伸率 %】						
糖尿病		13.94%	5.53%	6.11%	△0.69%	0.26%
再掲	インスリン治療	13.49%	5.30%	3.43%	△2.27%	4.56%
	腎障害	47.67%	28.57%	3.44%	△1.65%	33.77%
	網膜症	△0.49%	△8.82%	5.33%	△1.59%	△11.21%
	神経障害	13.17%	0.00%	45.32%	△13.74%	△16.55%
脳血管障害		△2.98%	△9.95%	△9.76%	△2.17%	1.76%
虚血性心疾患		△0.5%	△7.41%	△2.1%	0.65%	△6.45%
動脈閉塞		△93.81%	△100%	15.85%	△40%	△91.74%
高血圧症		10.63%	2.56%	1.86%	△3.2%	3.44%
高尿酸血症		12.99%	2.86%	2.97%	△3.77%	5.63%
高脂血症		8.15%	0.22%	4.96%	△0.75%	△3.85%
肝機能障害		4.24%	△2.63%	5.83%	△0.75%	△8.28%
高血圧性腎臓障害		△15.82%	0.00%	4.83%	△1.64%	△24.36%
人工透析		14.43%	6.11%	1.31%	5.46%	△0.84%

- 医療費総額では、糖尿病が上位を占めているが、一件当日数・一日当医療費は、人工透析が上位となっている。
- 糖尿病は前年と同様に増加傾向。

疾病19分類	家族/男性 [入院]								
	医療費総額 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	件数	日数	受診者数
01:感染症・寄生虫症	118,302,260	3.39%	1,185	2.2628	8.24	63,535	226	1,862	194
02:新生物	294,380,240	8.43%	2,947	2.7935	11.84	89,098	279	3,304	151
03:血液・造血器・免疫障害	117,777,200	3.37%	1,179	1.1915	12.90	76,728	119	1,535	86
04:内分泌・栄養・代謝疾患	111,177,870	3.18%	1,113	2.6433	10.25	41,086	264	2,706	204
05:精神・行動障害	91,412,890	2.62%	915	1.9825	24.23	19,056	198	4,797	52
06:神経系疾患	207,122,710	5.93%	2,074	3.2441	13.05	48,977	324	4,229	179
07:眼・付属器疾患	38,620,900	1.11%	387	0.7910	5.54	88,176	79	438	66
08:耳・乳様突起疾患	53,746,640	1.54%	538	0.8911	7.99	75,593	89	711	76
09:循環器系疾患	187,088,320	5.36%	1,873	2.2428	11.22	74,419	224	2,514	158
10:呼吸器系疾患	270,664,230	7.75%	2,710	5.4668	7.50	66,064	546	4,097	442
11:消化器系疾患	204,765,400	5.86%	2,050	3.8048	6.64	81,159	380	2,523	327
12:皮膚・皮下組織疾患	32,818,070	0.94%	329	1.2516	6.02	43,641	125	752	114
13:筋骨格系・結合組織疾患	164,445,340	4.71%	1,647	2.5432	9.50	68,122	254	2,414	175
14:腎尿路生殖器系疾患	120,733,910	3.46%	1,209	2.5732	7.75	60,640	257	1,991	185
15:妊娠・分娩・産じょく	240,210	0.01%	2	0.1001	2.50	9,608	10	25	10
16:周産期発生病態	638,059,700	18.27%	6,389	11.5745	7.79	70,856	1,156	9,005	964
17:先天奇形変形・染色体異常	459,857,650	13.17%	4,604	4.4556	6.90	149,840	445	3,069	375
18:他に分類されないもの	45,678,630	1.31%	457	1.7422	5.40	48,594	174	940	152
19:損傷・中毒・外因性	171,429,070	4.91%	1,716	6.3780	4.05	66,394	637	2,582	489

- 男性家族は、主に周産期発生病態、先天奇形変形・染色体異常の疾病が医療費総額を押し上げている。
- 入院日数は精神系疾患によるものが、本人と比べてかなり長くなっている。

疾病19分類	家族/男性 [入院外]								
	医療費総額 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	件数	日数	受診者数
01:感染症・寄生虫症	236,933,020	4.22%	2,372	298.8636	1.68	4,731	29,849	50,082	16,352
02:新生物	104,018,020	1.85%	1,041	29.1965	1.45	24,614	2,916	4,226	2,000
03:血液・造血器・免疫障害	187,218,520	3.33%	1,875	11.8748	1.53	102,980	1,186	1,818	627
04:内分泌・栄養・代謝疾患	536,780,340	9.56%	5,375	70.5482	1.25	60,715	7,046	8,841	2,649
05:精神・行動障害	266,706,680	4.75%	2,670	278.9387	1.36	7,064	27,859	37,755	6,249
06:神経系疾患	115,567,650	2.06%	1,157	70.1076	1.40	11,787	7,002	9,805	2,054
07:眼・付属器疾患	369,270,310	6.58%	3,697	566.8486	1.16	5,631	56,614	65,580	33,026
08:耳・乳様突起疾患	206,056,100	3.67%	2,063	240.8110	1.40	6,111	24,051	33,718	14,880
09:循環器系疾患	91,322,890	1.63%	914	45.3367	1.24	16,311	4,528	5,599	2,059
10:呼吸器系疾患	1,392,889,610	24.81%	13,946	1,748.8160	1.41	5,653	174,663	246,383	55,005
11:消化器系疾患	152,479,140	2.72%	1,527	135.6996	1.32	8,539	13,553	17,857	6,975
12:皮膚・皮下組織疾患	766,730,010	13.66%	7,677	1,325.2966	1.26	4,587	132,364	167,157	47,026
13:筋骨格系・結合組織疾患	176,707,350	3.15%	1,769	116.6558	1.64	9,261	11,651	19,081	7,280
14:腎尿路生殖器系疾患	120,300,420	2.14%	1,205	48.0300	1.64	15,294	4,797	7,866	2,917
15:妊娠・分娩・産じょく	300,800	0.01%	3	0.4806	1.10	5,675	48	53	42
16:周産期発生病態	16,593,750	0.30%	166	6.9487	1.31	18,315	694	906	502
17:先天奇形変形・染色体異常	77,668,530	1.38%	778	38.8986	1.21	16,557	3,885	4,691	2,377
18:他に分類されないもの	63,831,040	1.14%	639	70.4681	1.24	7,314	7,038	8,727	5,413
19:損傷・中毒・外因性	374,035,540	6.66%	3,745	315.2541	1.75	6,788	31,486	55,105	20,063

- 乳幼児及び未就学児童がほとんどを占めることから、呼吸器疾患が上位を占めている。ただし、前年に比べて減少している。
- 医療費総額の約25%を呼吸器系疾患が占める。

生活習慣病	家族/男性 [入院]					
	医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	
糖尿病	2,931,210	29	1.1715	12.27	2,041	
再掲	インスリン治療	596,730	6	0.0300	15.33	12,972
	腎障害	49,010	0	0.0100	20.00	2,451
	網膜症	33,930	0	0.0300	21.00	539
	神経障害	0	0	0.0000	-	-
脳血管障害	23,804,820	238	0.7509	18.97	16,729	
虚血性心疾患	9,716,520	97	0.4806	13.75	14,722	
動脈閉塞	816,160	8	0.0401	20.75	9,833	
高血圧症	2,708,020	27	1.2616	15.96	1,347	
高尿酸血症	283,350	3	0.2203	17.55	734	
高脂血症	2,359,610	24	0.7309	14.55	2,222	
肝機能障害	21,100	0	0.0401	30.75	172	
高血圧性腎臓障害	0	0	0.0000	-	-	
人工透析	9,903,230	99	0.1602	20.31	30,471	

生活習慣病	【対前年度伸率 %】	家族/男性 [入院]				
		医療費総額	1人当医療費	受診率	1件当日数	1日当医療費
糖尿病		△3.93%	△9.38%	6.87%	△6.69%	△7.61%
再掲	インスリン治療	15.76%	20.00%	△4.15%	35.30%	△14.44%
	腎障害	1607.67%	-	△3.85%	300.00%	327.00%
	網膜症	11.83%	-	△4.15%	349.68%	△75.13%
	神経障害	-	-	-	-	-
脳血管障害		1.49%	△2.86%	△6.59%	9.02%	△4.43%
虚血性心疾患		△21.69%	△25.38%	4.61%	△23.14%	△6.62%
動脈閉塞		-	-	-	-	-
高血圧症		△62.15%	△64%	△33.24%	7.33%	△49.32%
高尿酸血症		42.39%	50.00%	△31.94%	2.45%	95.73%
高脂血症		177.55%	166.67%	△13.57%	△20.36%	287.11%
肝機能障害		△86.16%	△1	△68%	118.39%	△80.93%
高血圧性腎臓障害		△100%	△100%	△100%	-	-
人工透析		△49.81%	△51.94%	△43.17%	△2.26%	△13.37%

■ 男性本人と異なり、20歳以上者は少なく、生活習慣病での治療者も少ないが脳血管障害が上位を占めている。  
 ■ 医療費単価は、人工透析が最も高くなっている。

生活習慣病		家族/男性 [入院外]				
		医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病		46,583,230	466	52.8661	1.41	6,278
再掲	インスリン治療	14,690,580	147	6.1577	1.15	20,691
	腎障害	212,990	2	2.9437	1.17	619
	網膜症	2,514,630	25	3.1339	1.33	6,045
	神経障害	181,190	2	0.6708	1.19	2,265
脳血管障害		4,901,110	49	5.9875	1.37	5,984
虚血性心疾患		5,481,780	55	11.7447	2.07	2,258
動脈閉塞		2,310	0	0.1101	1.09	193
高血圧症		20,583,730	206	46.5282	1.31	3,382
高尿酸血症		4,305,850	43	16.9011	1.61	1,584
高脂血症		14,336,580	144	43.8348	1.52	2,159
肝機能障害		701,500	7	6.9687	1.27	793
高血圧性腎臓障害		141,470	1	0.2703	1.33	3,930
人工透析		58,844,150	589	1.6020	12.61	29,174

生活習慣病		家族/男性 [入院外]				
		医療費総額	1人当医療費	受診率	1件当日数	1日当医療費
【対前年度伸率 %】						
糖尿病		2.92%	△1.48%	△0.24%	△3.42%	2.58%
再掲	インスリン治療	△11.61%	△15.52%	△9.82%	△8%	1.58%
	腎障害	△9.77%	0.00%	△6.64%	△7.87%	0.98%
	網膜症	37.56%	31.58%	△11.71%	△6.34%	59.71%
	神経障害	△24.74%	△33.33%	△2.66%	△7.75%	△20.02%
脳血管障害		△19.7%	△23.44%	△16.89%	△2.84%	△4.61%
虚血性心疾患		△13.8%	△16.67%	△7.18%	2.99%	△13.55%
動脈閉塞		225.35%	-	17.13%	△24.31%	250.91%
高血圧症		△4.14%	△8.04%	△3.81%	△2.24%	△2.31%
高尿酸血症		14.57%	10.26%	△3.12%	△1.23%	14.87%
高脂血症		2.50%	△1.37%	△0.11%	2.01%	△3.4%
肝機能障害		△12.03%	△12.5%	1.13%	△10.56%	△7.14%
高血圧性腎臓障害		255.72%	-	99.19%	△8.9%	87.77%
人工透析		8.38%	3.88%	8.06%	△1.1%	△2.74%

■ 受診率では糖尿病が上位だが、他の項目では人工透析が上位となった。

疾病19分類	家族/女性 [入院]								
	医療費総額 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	件数	日数	受診者数
01:感染症・寄生虫症	154,011,820	2.43%	842	1.6291	7.70	67,137	298	2,294	274
02:新生物	1,090,710,360	17.21%	5,963	8.2657	7.77	92,795	1,512	11,754	1,075
03:血液・造血器・免疫障害	150,627,010	2.38%	823	2.0500	6.74	59,560	375	2,529	346
04:内分泌・栄養・代謝疾患	110,590,000	1.75%	605	1.8314	7.21	45,793	335	2,415	298
05:精神・行動障害	274,877,320	4.34%	1,503	3.3456	20.70	21,702	612	12,666	237
06:神経系疾患	362,413,630	5.72%	1,981	2.8919	13.38	51,196	529	7,079	319
07:眼・付属器疾患	85,497,820	1.35%	467	1.1043	4.94	85,755	202	997	175
08:耳・乳様突起疾患	65,542,430	1.03%	358	0.6232	6.32	91,031	114	720	109
09:循環器系疾患	490,159,370	7.73%	2,680	3.2800	12.52	65,259	600	7,511	382
10:呼吸器系疾患	296,265,310	4.68%	1,620	3.3019	8.57	57,249	604	5,175	480
11:消化器系疾患	402,018,010	6.34%	2,198	6.5382	6.25	53,810	1,196	7,471	1,017
12:皮膚・皮下組織疾患	49,709,160	0.78%	272	0.7981	7.24	47,029	146	1,057	123
13:筋骨格系・結合組織疾患	367,854,530	5.80%	2,011	2.6842	10.48	71,470	491	5,147	364
14:腎尿路生殖器系疾患	222,371,410	3.51%	1,216	3.4714	5.89	59,458	635	3,740	540
15:妊娠・分娩・産じょく	670,015,850	10.57%	3,663	13.1365	6.60	42,238	2,403	15,863	2,131
16:周産期発生病態	496,790,580	7.84%	2,716	5.4831	7.31	67,729	1,003	7,335	857
17:先天奇形変形・染色体異常	378,292,690	5.97%	2,068	1.9134	8.85	122,069	350	3,099	285
18:他に分類されないもの	83,701,860	1.32%	458	1.7658	6.58	39,371	323	2,126	283
19:損傷・中毒・外因性	331,362,020	5.23%	1,811	4.3187	6.91	60,722	790	5,457	614

- 医療費総額で新生物が上位となったが妊娠・分娩・産じょくに関わる疾病が受診率、件数、日数、受診者数で上位となった。
- 入院日数は精神系疾患によるものが、男性家族と同様に長くなっている。

疾病19分類	家族/女性 [入院外]								
	医療費総額 (円)	割合	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	件数	日数	受診者数
01:感染症・寄生虫症	372,300,260	3.43%	2,035	249.9986	1.62	5,024	45,731	74,099	25,349
02:新生物	1,350,164,260	12.43%	7,381	214.1479	1.47	23,388	39,173	57,730	21,168
03:血液・造血器・免疫障害	103,170,400	0.95%	564	33.1283	1.45	11,737	6,060	8,790	3,722
04:内分泌・栄養・代謝疾患	962,416,340	8.86%	5,261	283.4987	1.28	14,529	51,859	66,241	17,068
05:精神・行動障害	478,544,040	4.40%	2,616	291.0154	1.41	6,363	53,234	75,210	10,337
06:神経系疾患	362,643,110	3.34%	1,982	151.2696	1.39	9,444	27,671	38,399	7,707
07:眼・付属器疾患	751,963,120	6.92%	4,111	599.3385	1.14	6,007	109,634	125,191	60,405
08:耳・乳様突起疾患	251,771,830	2.32%	1,376	164.1438	1.38	6,057	30,026	41,569	19,000
09:循環器系疾患	450,689,290	4.15%	2,464	179.6146	1.23	11,172	32,856	40,340	10,373
10:呼吸器系疾患	1,629,425,450	15.00%	8,908	1,127.7955	1.36	5,819	206,302	280,009	75,583
11:消化器系疾患	540,080,180	4.97%	2,952	267.0493	1.32	8,404	48,850	64,261	22,404
12:皮膚・皮下組織疾患	964,723,580	8.88%	5,274	954.5606	1.24	4,465	174,613	216,041	68,887
13:筋骨格系・結合組織疾患	736,703,980	6.78%	4,027	292.9671	2.01	6,837	53,591	107,745	21,942
14:腎尿路生殖器系疾患	690,980,110	6.36%	3,777	236.9660	1.66	9,616	43,347	71,861	19,485
15:妊娠・分娩・産じょく	48,716,550	0.45%	266	26.3551	1.66	6,096	4,821	7,991	3,004
16:周産期発生病態	17,519,550	0.16%	96	4.2203	1.47	15,477	772	1,132	575
17:先天奇形変形・染色体異常	102,351,750	0.94%	560	23.0696	1.25	19,326	4,220	5,296	2,522
18:他に分類されないもの	159,785,500	1.47%	874	96.2854	1.28	7,088	17,613	22,542	11,671
19:損傷・中毒・外因性	399,049,920	3.67%	2,181	185.9943	1.85	6,327	34,023	63,074	22,649

■ 男性家族同様、乳幼児及び未就学児童がほとんどを占めることから、呼吸系疾患が上位を占めている。



生活習慣病	家族/女性 [入院]					
	医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	
糖尿病	27,056,250	148	3.1652	13.25	3,526	
再掲	インスリン治療	6,957,110	38	0.2023	12.03	15,634
	腎障害	5,250	0	0.0109	12.00	219
	網膜症	147,220	1	0.0437	11.63	1,583
	神経障害	347,100	2	0.0328	11.83	4,889
脳血管障害	80,488,290	440	1.1371	19.20	20,152	
虚血性心疾患	22,221,570	121	0.6396	13.15	14,439	
動脈閉塞	0	0	0.0000	-	-	
高血圧症	18,526,990	101	3.6846	12.25	2,245	
高尿酸血症	363,780	2	0.3389	15.63	375	
高脂血症	3,684,510	20	1.8259	12.88	857	
肝機能障害	332,960	2	0.1367	15.48	860	
高血圧性腎臓障害	1,330	0	0.0055	13.00	102	
人工透析	24,878,120	136	0.2733	17.74	28,047	

生活習慣病	【対前年度伸率 %】	家族/女性 [入院]				
		医療費総額	1人当医療費	受診率	1件当日数	1日当医療費
糖尿病		12.86%	9.63%	△2.35%	3.11%	9.06%
再掲	インスリン治療	△11.97%	△13.64%	9.12%	△4.6%	△17.71%
	腎障害	△81.51%	-	△75.72%	△25%	△1.35%
	網膜症	△83.9%	△80%	△22.24%	△18.67%	△75.24%
	神経障害	1176.57%	-	△2.67%	26.80%	905.97%
脳血管障害		△7.8%	△10.2%	△11.22%	12.41%	△10.09%
虚血性心疾患		△1.72%	△4.72%	△25.58%	7.52%	19.48%
動脈閉塞		△100%	-	△100%	-	-
高血圧症		△12.37%	△15.13%	△13.35%	△0.24%	△1.23%
高尿酸血症		△60.86%	△60%	△17.36%	△2.13%	△52.95%
高脂血症		△18.88%	△23.08%	△7.92%	△10.06%	△4.57%
肝機能障害		9.49%	0.00%	21.62%	△1.4%	△11.25%
高血圧性腎臓障害		△95.98%	-	△50.89%	△18.75%	△90.14%
人工透析		△19.74%	△21.84%	△13.13%	14.08%	△21.19%

- 女性本人と同様に、脳血管障害が上位を占めるが、生活習慣病では平均年齢が上昇することからCKD患者数が増え人工透析が医療費単価で上位を占めている。
- 男性と比べ高血圧症での受診が多い。

生活習慣病		家族/女性 [入院外]				
		医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病		356,621,070	1,950	235.0472	1.41	5,898
再掲	インスリン治療	100,786,020	551	16.1487	1.28	26,614
	腎障害	1,573,280	9	11.7917	1.22	597
	網膜症	10,141,710	55	10.3266	1.28	4,186
	神経障害	1,130,960	6	3.2199	1.34	1,433
脳血管障害		34,492,220	189	19.3741	1.48	6,593
虚血性心疾患		32,601,370	178	43.4550	1.66	2,467
動脈閉塞		10,330	0	0.0765	1.29	574
高血圧症		248,077,390	1,356	273.9647	1.24	3,985
高尿酸血症		5,542,220	30	20.6751	2.08	703
高脂血症		256,170,450	1,400	310.9034	1.34	3,350
肝機能障害		6,446,360	35	38.6880	1.32	689
高血圧性腎臓障害		325,340	2	0.7763	1.58	1,452
人工透析		248,279,280	1,357	3.8158	12.50	28,463

生活習慣病		家族/女性 [入院外]				
		医療費総額	1人当医療費	受診率	1件当日数	1日当医療費
【対前年度伸率 %】						
糖尿病		4.85%	2.04%	0.49%	△1.4%	3.11%
再掲	インスリン治療	7.77%	4.950%	△0.84%	△1.54%	7.48%
	腎障害	25.86%	28.57%	△0.71%	△1.61%	24.90%
	網膜症	△2.01%	△5.17%	△5.73%	△0.78%	1.48%
	神経障害	18.58%	20.00%	21.95%	△8.22%	2.80%
脳血管障害		△5.96%	△8.25%	△4.65%	△6.33%	3.02%
虚血性心疾患		0.50%	△2.2%	△4.16%	△1.19%	3.39%
動脈閉塞		△24.98%	-	4.79%	△37.98%	12.55%
高血圧症		0.59%	△2.09%	△0.94%	△3.13%	2.00%
高尿酸血症		△5.98%	△9.09%	1.89%	2.97%	△13.21%
高脂血症		2.55%	△0.21%	1.18%	△2.19%	0.78%
肝機能障害		0.12%	△2.78%	5.19%	△1.49%	△6.39%
高血圧性腎臓障害		△12.02%	0	14.21%	△2.47%	△23.05%
人工透析		5.04%	2.18%	4.34%	0.89%	△2.88%

■ 糖尿病が上位を占めるが、入院同様、平均年齢が上昇することからCKD患者数が増え人工透析が日数と医療費単価で上位を占めている。

## 付録 1 医療費の三要素分析

- 医療保険集団の医療費の水準を考察する場合【**1人当医療費（医療費/加入者数）**】を、指標として用います。この1人当医療費は、更に次の指標の積に分解できます。

1日当医療費

×

1件当日数

×

受診率

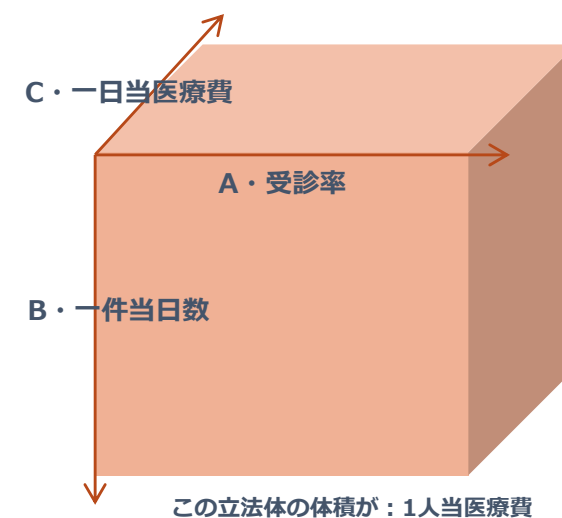
=

1人当医療費

**受診率** とは、一定期間内に医療機関にかかった人の割合を表す指標です。受診率が全国平均よりも高いということは、病院に行く人の割合が高いということであり、受診率の伸び率が高いということは病院に行く人の割合が増えているということです。当組合では1年当たりのレセプト件数をもとに1人当たり診療件数を「受診率」として用いています。受診率は、主に医療を受ける側の受診意識や感染症の流行などの疾病構造等に依存する傾向があります。

**1件当日数** とは、治療のために病院に通った通院日数、入院日数を表し、診療実日数をレセプト件数で除したものです。治療期間が長期にわたっていても、入院の1件当日数が多ければ、概ね入院期間が長く、入院外の1件当日数が多ければ、通院頻度が高いことがわかります。1件当日数は、患者の受診意識や疾病の種類による要因や医療機関側による要因の両方の影響を受けます。

**1日当医療費** とは、医療費の単価を表し、診療費（医療費）を診療実日数で除したものです。1日当診療費が高いということは、1回の診療あるいは1日の入院でかかる費用が高いということです。1日当医療費は、医療機関側の診療行為（この点数改定や措置内容）などに依存します。



- この3つの指標を、「**医療費の3要素**」といい、医療費を分析していくうえでの基本的な指標となります。1人当医療費が高い、伸びているといったも、**三要素別に何が高くなっているかを調べる**ことによって、医療費の増加要因について見当をつけることができます。

## 付録 2 疾病19分類

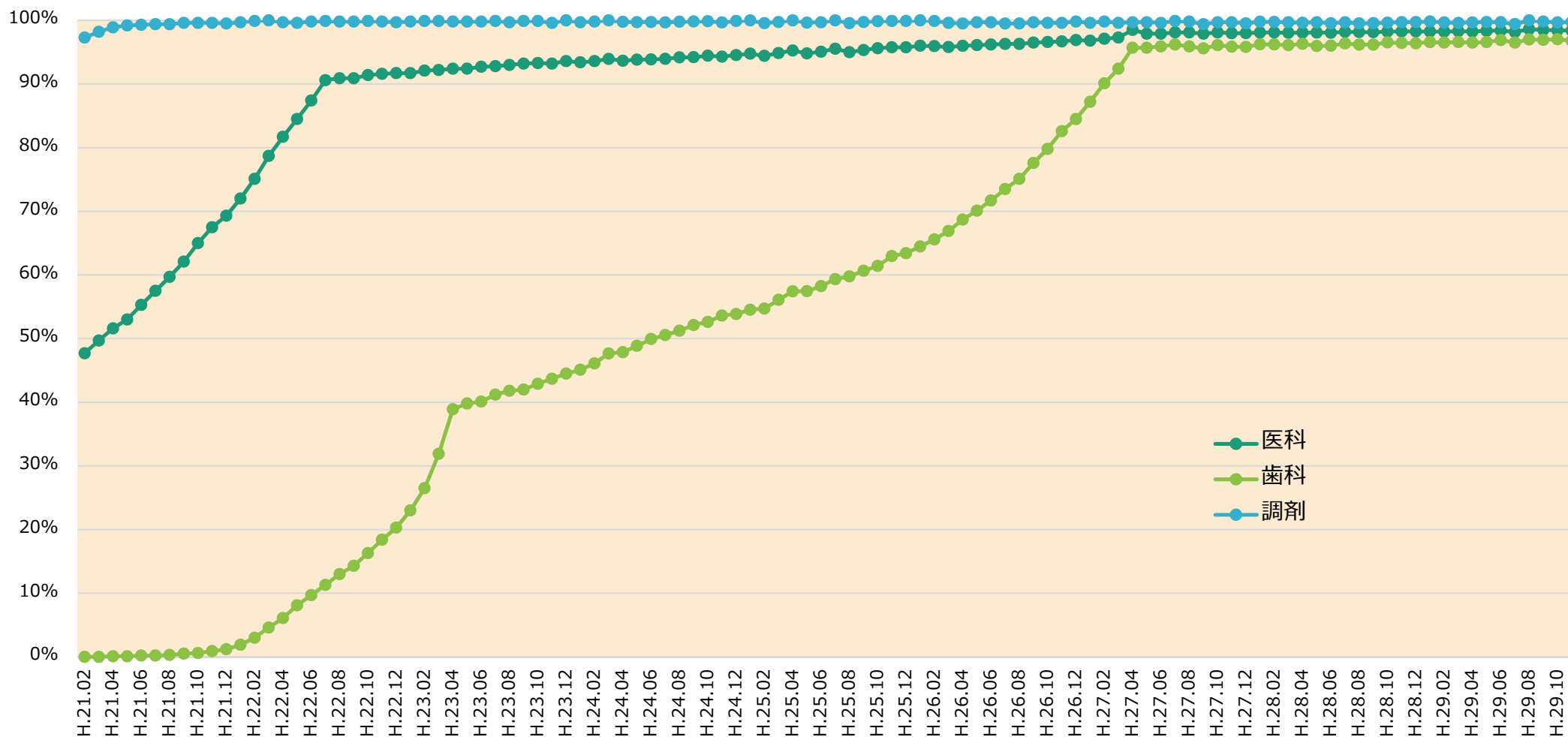
- 異なる国や地域から、異なる時点で集計された死亡や疾病のデータの体系的な記録、分析、解釈及び比較を行うため、世界保健機関憲章に基づき、世界保健機関（WHO）が作成した分類が、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類：International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems（ICD）」です。
- 現在、我が国では、ICD-10（2013）に準拠した「疾病、傷害及び死因分類」を作成し、統計法に基づく統計調査に使用するほか、医学的分類として医療機関における診療録の管理等に活用しています。
- ICD-10の分類の構成（基本分類表）は全22章から構成され、疾病19分類は第1章から19章までの疾病の統計分類基本分類の表題を使用しており、レセプト分析システムではこの分類に従い分析を行っています。

章	分類	大分類の例
第1章	感染症及び寄生虫症	腸管感染症、結核、主として性的伝播様式をとる感染症、真菌症などその他
第2章	新生物	悪性新生物、上皮内新生物、良性新生物などその他
第3章	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	栄養性貧血、凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態、免疫機構の障害などその他
第4章	内分泌、栄養及び代謝疾患	甲状腺障害、糖尿病、栄養失調、
第5章	精神及び行動の障害	症状性を含む器質性精神障害、統合失調症、妄想性障害、気分[感情]障害、神経症性障害などその他
第6章	神経系の疾患	中枢神経系の炎症性疾患、神経系のその他の変性疾患、挿間性及び発作性障害などその他
第7章	眼及び付属器の疾患	眼瞼、涙器及び眼窩の障害、強膜、角膜、虹彩及び毛様体の障害、水晶体の障害などその他
第8章	耳及び乳様突起の疾患	外耳疾患、中耳及び乳様突起の疾患、耳のその他の障害などその他
第9章	循環器系の疾患	急性リウマチ熱、高血圧性疾患、虚血性心疾患、肺性心疾患及び肺循環疾患、脳血管疾患などその他
第10章	呼吸器系の疾患	急性上気道感染症、インフルエンザ及び肺炎、上気道のその他の疾患、喘息などその他
第11章	消化器系の疾患	食道、胃及び十二指腸の疾患、虫垂の疾患、ヘルニア、非感染性腸炎及び非感染性大腸炎などその他
第12章	皮膚及び皮下組織の疾患	皮膚及び皮下組織の感染症、水疱症、皮膚炎及び湿疹、蕁麻疹及び紅斑などその他
第13章	骨格系及び結合組織の疾患	関節障害、身性結合組織障害、軟部組織障害、骨障害及び軟骨障害などその他
第14章	腎尿路生殖器系の疾患	糸球体疾患、腎尿細管間質性疾患、腎不全、尿路結石症、乳房の障害などその他
第15章	妊娠、分娩及び産じょく	流産に終わった妊娠、主として妊娠に関連するその他の母体障害、分娩の合併症などその他
第16章	周産期に発生した病態	母体側要因並びに妊娠及び分娩の合併症により影響を受けた胎児及び新生児などその他
第17章	先天奇形、変形及び染色体異常	神経系の先天奇形、染色体異常、他に分類されないものなどその他
第18章	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候、その他の症状及び徴候、検査の異常所見、診断名の記載がないものなどその他
第19章	損傷、中毒及びその他の外因の影響	頭部損傷などその他の損傷、熱傷及び腐食、凍傷、薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒などその他

## 付録 3 当組合のレセプト電子化（率）の推移

- レセコンを使用した診療報酬の書面による請求は、「療養の給付及び公費負担医療に関する費用の請求に関する省令」の規定により、原則、平成27年4月診療分以降できなくなることから、免除又は猶予の要件に該当しない限り、電子レセプトによる請求となります。
- このため、平成27年4月以後はすべての診療区分で電子化率が95%以上となり、直近の平成29年11月は約97%以上が電子レセとなっっています。

### 当組合のレセプト電子化の推移

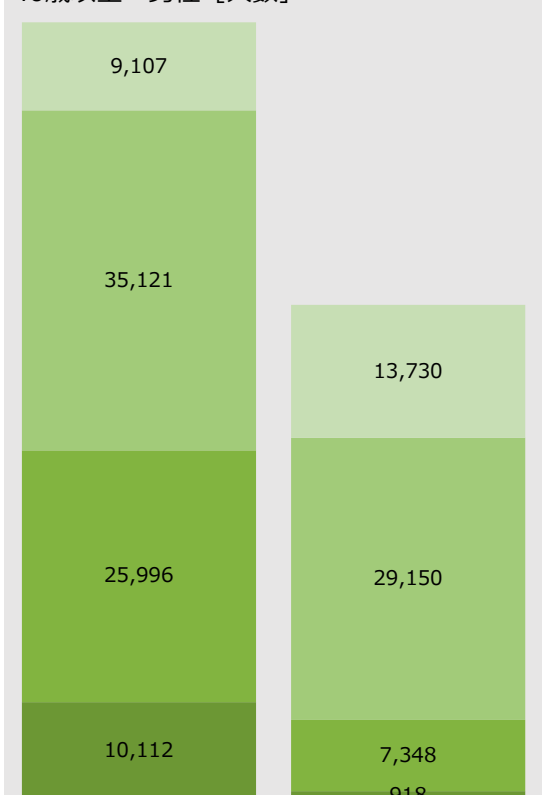


## STEP 1-4

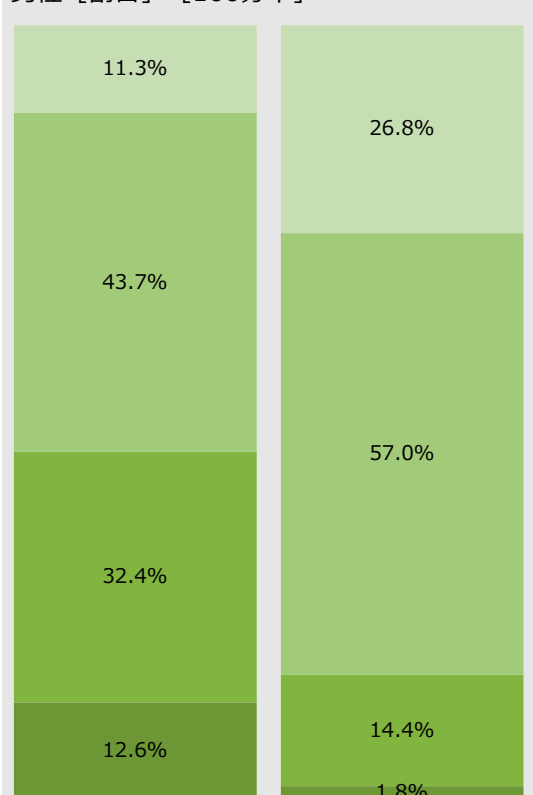
## 健康分布

- 分析対象の健診情報は、**令和2年4月から令和3年3月までの健診結果**を集計したものです。
- 結果の線グラフ「該当率」の閾値は、受診勧奨値を基準としています。
- 健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値等については「付録4」を参照（58頁）
- 特定保健指導の階層化フローについては「付録5」を参照（59頁）
- 健診検査項目の概要については「付録6」を参照（60頁）

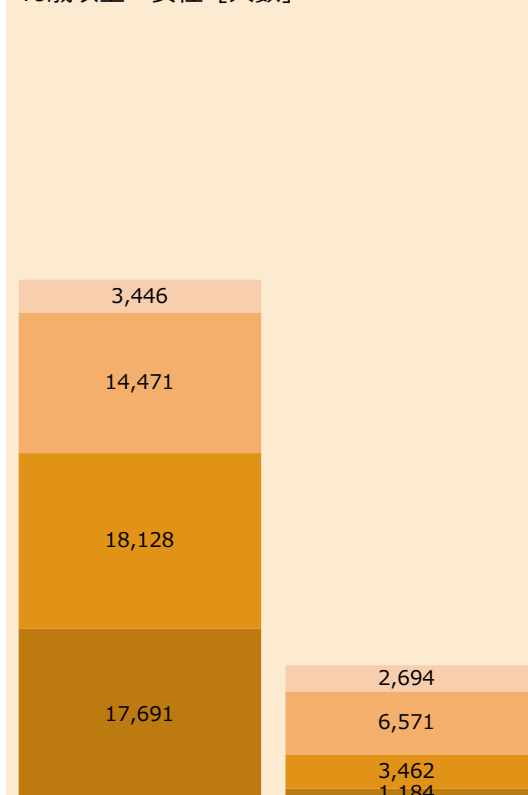
40歳以上 男性 [人数]



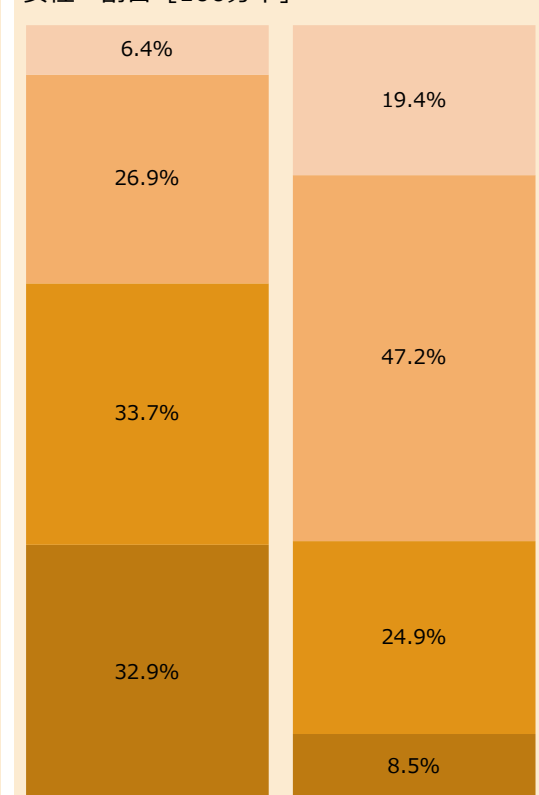
男性 [割合] [100分率]



40歳以上 女性 [人数]



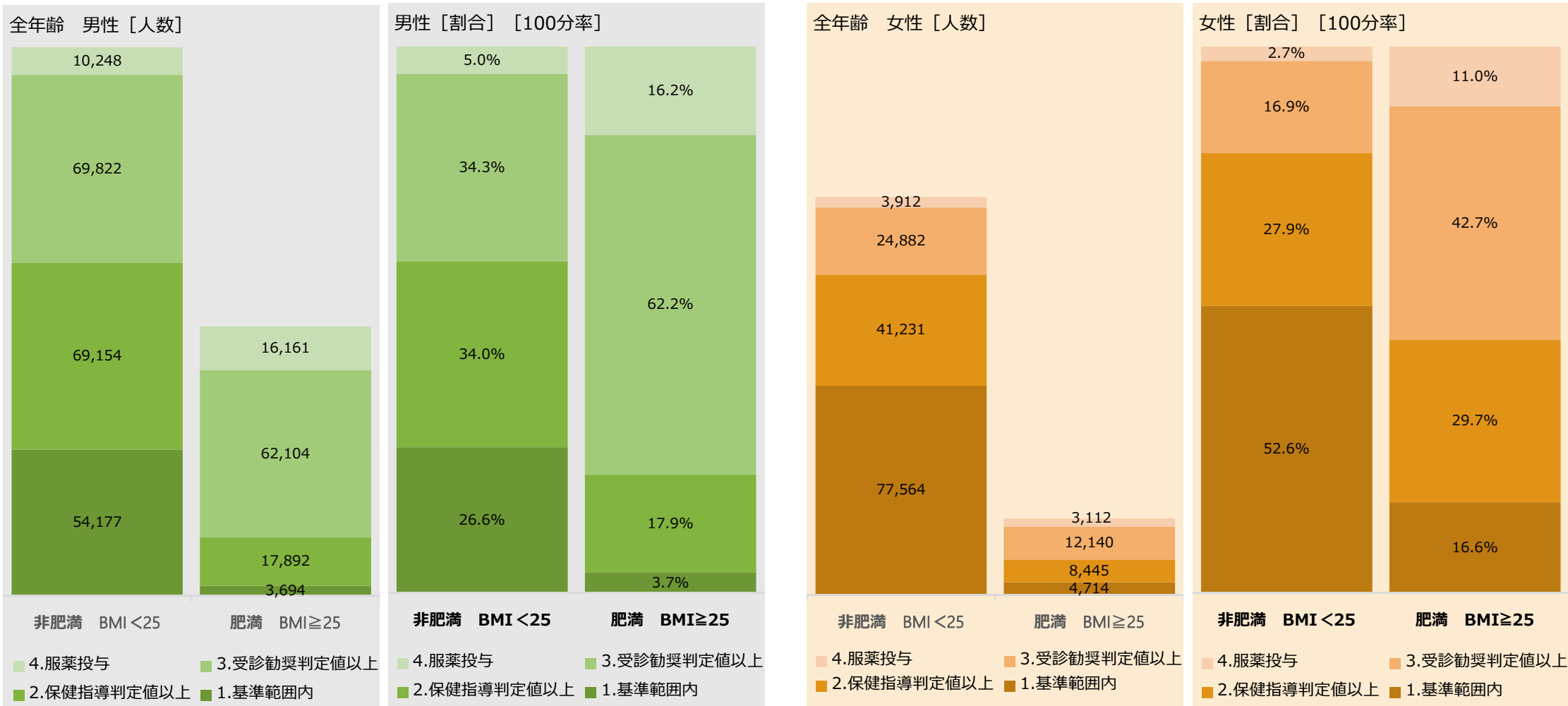
女性 割合 [100分率]



注) 分布統計上 [4.服薬投与] 者は、3.2.1.に含まず [3.受診勧奨判定値以上] 者は、2.1.に含まない。

- 特定健診対象者（40歳以上）の問診票及び健診結果の分析から、非肥満の男性では「保健指導判定値以上」の者と「受診勧奨判定値以上」の者、女性では「基準範囲内」と「保健指導判定値以上」の者は同程度の比率で存在するが、肥満では男女ともに「基準範囲内」と「保健指導判定値以上」の割合が減り「受診勧奨判定値以上」と「服薬投与」に移行している。
- 服薬投与と受診勧奨判定値以上の者の割合は、非肥満と肥満では、男女ともに肥満者が大きな割合を占めている。
- 男性では非肥満の者と肥満の者では「基準範囲内」に7倍の開きがあるが、女性ではその開きが3倍強に留まっている。

# 1-4-2 健康分布図 – 全年齢でみた肥満によるリスク分布 –



注) 分布統計上 [4.服薬投与] 者は、3.2.1.に含まず [3.受診勧奨判定値以上] 者は、2.1.に含まない。

- 40歳以上の分布と比較すると男性全体では「服薬投与」の者の占める割合が約1/2となり、肥満、非肥満ともに「基準範囲内」の者の割合が約2倍、さらに非肥満での「受診勧奨判定値以上」の者の割合は約10%少ないことがわかる。(特定健診対象者の方が服薬率は高い。)
- 女性でも40歳以上の分布と比較して「服薬投与」の者の占める割合が全体で約1/2となっている。非肥満では「基準範囲内」の者が5割弱を占め、肥満でも「基準範囲内」の者と「保健指導判定値以上」の者で約5割となっている。



# 1-4-3 健康分布図 – 問診票分析（食習慣） –

人と比較して食べるのが早い	平成30年度		令和元年度						令和2年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:速い	129,526	34.7%	99,597	39.2%	40,138	26.6%	139,735	34.5%	107,099	39.5%	41,457	26.1%	148,556	34.6%
2:ふつう	200,422	53.7%	130,954	51.5%	86,756	57.5%	217,710	53.7%	139,327	51.5%	92,229	58.0%	231,556	53.9%
3:遅い	43,207	11.6%	23,713	9.3%	23,966	15.9%	47,679	11.8%	24,370	9.0%	25,267	15.9%	49,637	11.5%

就寝2時間以内の食事が週3回以上ある	平成30年度		令和元年度						令和2年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	161,518	43.3%	120,095	47.2%	51,041	33.8%	171,136	42.2%	96,443	35.6%	41,334	26.0%	137,777	32.1%
2:いいえ	211,647	56.7%	134,128	52.8%	99,852	66.2%	233,980	57.8%	174,285	64.4%	117,573	74.0%	291,858	67.9%

朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物の摂取	平成30年度		令和元年度						令和2年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:毎日（はい）	76,740	22.9%	45,496	18.0%	47,339	31.4%	92,835	23.0%	47,095	17.3%	46,167	28.9%	93,262	21.6%
2:時々	188,880	56.5%	143,068	56.5%	84,173	55.9%	227,241	56.3%	156,163	57.5%	90,973	57.0%	247,136	57.3%
3:ほとんど摂取しない（いいえ）	69,010	20.6%	64,626	25.5%	19,022	12.6%	83,648	20.7%	68,461	25.2%	22,548	14.1%	91,009	21.1%

朝食抜きが週3回以上ある	平成30年度		令和元年度						令和2年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	134,816	36.1%	102,149	40.2%	44,644	29.6%	146,793	36.2%	110,935	41.0%	49,788	31.3%	160,723	37.4%
2:いいえ	238,307	63.9%	152,055	59.8%	106,207	70.4%	258,262	63.8%	159,824	59.0%	109,135	68.7%	268,959	62.6%

お酒を飲む頻度	平成30年度		令和元年度						令和2年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:毎日	76,397	17.4%	60,240	20.1%	19,545	11.4%	79,785	16.9%	57,567	19.2%	19,540	11.2%	77,107	16.3%
2:時々	189,679	43.3%	133,152	44.4%	72,093	42.0%	205,245	43.5%	130,761	43.5%	70,858	40.8%	201,619	42.5%
3:ほとんど飲まない	171,940	39.3%	106,524	35.5%	79,989	46.6%	186,513	39.6%	111,900	37.3%	83,369	48.0%	195,269	41.2%

飲酒日の一日当たりの飲酒量	平成30年度		令和元年度						令和2年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:1合未満	180,682	46.3%	106,089	39.5%	87,049	59.4%	193,138	46.5%	121,221	45.0%	94,907	63.4%	216,128	51.6%
2:1~2合未満	123,623	31.7%	91,741	34.1%	40,492	27.6%	132,233	31.8%	88,871	33.0%	38,724	25.9%	127,595	30.5%
3:2~3合未満	58,484	15.0%	47,064	17.5%	14,274	9.7%	61,338	14.8%	40,425	15.0%	12,159	8.1%	52,584	12.6%
4:3合以上	27,416	7.0%	23,825	8.9%	4,721	3.2%	28,546	6.9%	18,756	7.0%	3,800	2.5%	22,556	5.4%

■ 問診表による経年結果は、「就寝2時間以内の食事が週3回以上ある」方の割合が、前年度より10.1ポイント減少し、全体で32.1%となった。また、飲酒量にも変化が出ている。お酒を飲む頻度は概ね変わらないが、飲酒量3合以上の方の割合が1.5ポイント減少し、5.4%となった。新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、在宅勤務や外出制限により、大幅な生活変容が起こったためと考えられる。

# 1-4-4 健康分布図 – 問診票分析（その他） –

睡眠で休養が十分とれている	平成30年度		令和元年度						令和2年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	213,676	57.3%	148,425	58.4%	88,010	58.4%	236,435	58.4%	178,085	65.8%	104,480	65.8%	282,565	65.8%
2:いいえ	159,149	42.7%	105,708	41.6%	62,763	41.6%	168,471	41.6%	92,525	34.2%	54,346	34.2%	146,871	34.2%

20歳のときから体重10kg以上増加	平成30年度		令和元年度						令和2年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	133,363	35.7%	114,634	45.1%	32,635	21.6%	147,269	36.4%	123,126	45.5%	35,440	22.3%	158,566	36.9%
2:いいえ	239,777	64.3%	139,600	54.9%	118,202	78.4%	257,802	63.6%	147,601	54.5%	123,473	77.7%	271,074	63.1%

食事を噛んで食べる時の状態	平成30年度		令和元年度						令和2年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:何でも	322,812	88.4%	225,609	88.5%	132,709	87.6%	358,318	88.2%	242,067	89.0%	140,697	88.0%	382,764	88.6%
2:かみにくい	40,719	11.1%	28,097	11.0%	18,292	12.1%	46,389	11.4%	28,653	10.5%	18,748	11.7%	47,401	11.0%
3:ほとんどかめない	1,897	0.5%	1,247	0.5%	492	0.3%	1,739	0.4%	1,315	0.5%	453	0.3%	1,768	0.4%

1回30分以上の運動を週2日以上、1年実施	平成30年度		令和元年度						令和2年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	65,694	17.6%	52,873	20.8%	21,362	14.2%	74,235	18.3%	56,967	21.0%	22,421	14.1%	79,388	18.5%
2:いいえ	307,503	82.4%	201,382	79.2%	129,536	85.8%	330,918	81.7%	213,843	79.0%	136,551	85.9%	350,394	81.5%

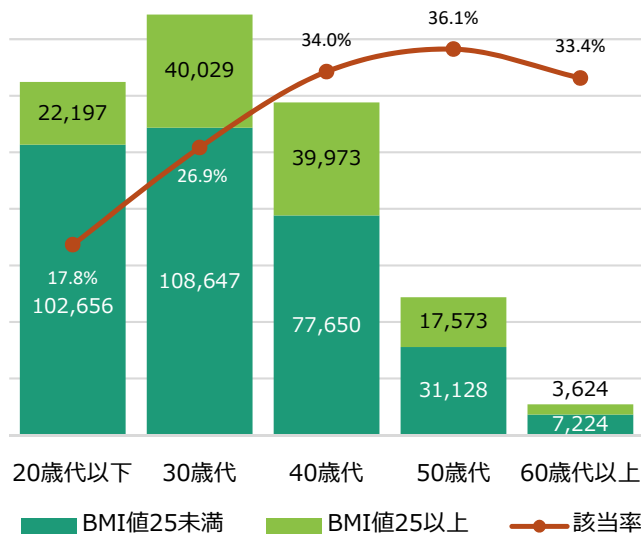
歩行などを1日1時間以上実施	平成30年度		令和元年度						令和2年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	159,436	42.8%	116,583	45.9%	62,951	41.7%	179,534	44.3%	98,099	36.2%	55,065	34.7%	153,164	35.7%
2:いいえ	213,517	57.2%	137,534	54.1%	87,837	58.3%	225,371	55.7%	172,603	63.8%	103,829	65.3%	276,432	64.3%

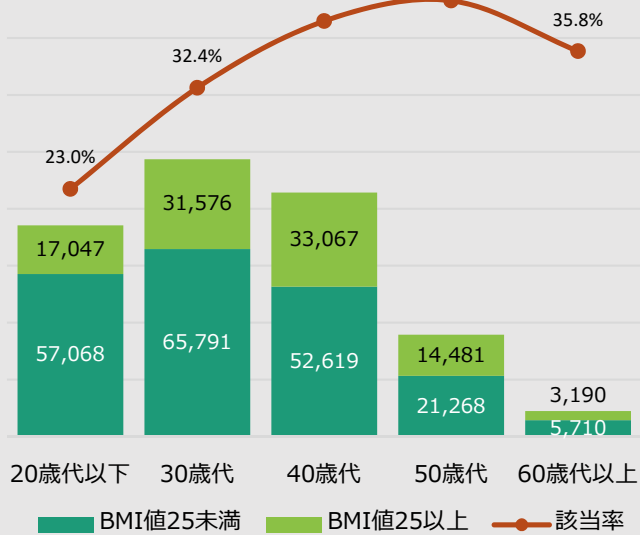
生活習慣の改善で保健指導を利用した いか	平成30年度		令和元年度						令和2年度					
			男性		女性		計		男性		女性		計	
1:はい	112,346	36.4%	70,707	33.6%	52,059	38.1%	122,766	35.3%	76,380	32.1%	54,257	36.7%	130,637	33.9%
2:いいえ	195,961	63.6%	139,924	66.4%	84,660	61.9%	224,584	64.7%	161,264	67.9%	93,706	63.3%	254,970	66.1%

- 睡眠に関しては、睡眠で十分な休養がとれていない方の割合は、全体で34.2%となり、前年度より大幅に減少している。前項の食習慣と同様に、新型コロナウイルス感染症流行に伴う、生活変容によるものと思われる。
- 20歳のときより体重が10kg以上増加している者の割合は全体では約37%だが、男性45%に対して女性では22%と性別による差は大きい。
- 運動に関しては、1日1時間以上の歩行などを実施している者の割合は前年に比べ9ポイント減少し、約36%と日々の活動量は低いことが伺える。
- 保健指導に関しては、60%強の人が**利用に関してネガティブ**指向であり、この値は微増の状況が続いている。

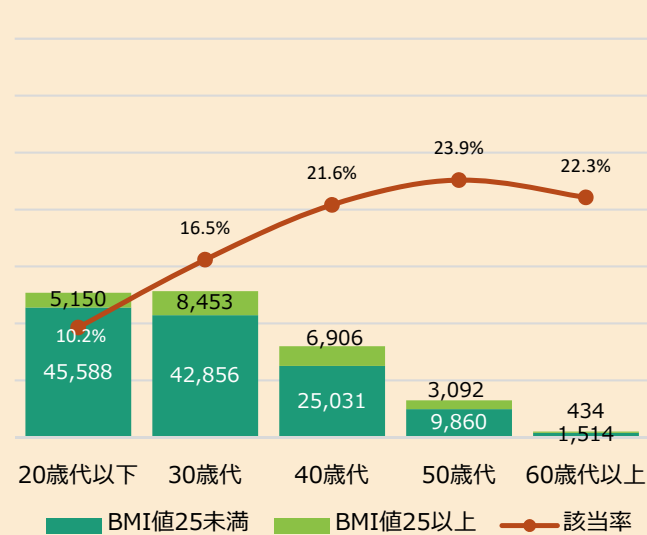
BMI分布 被保険者全体



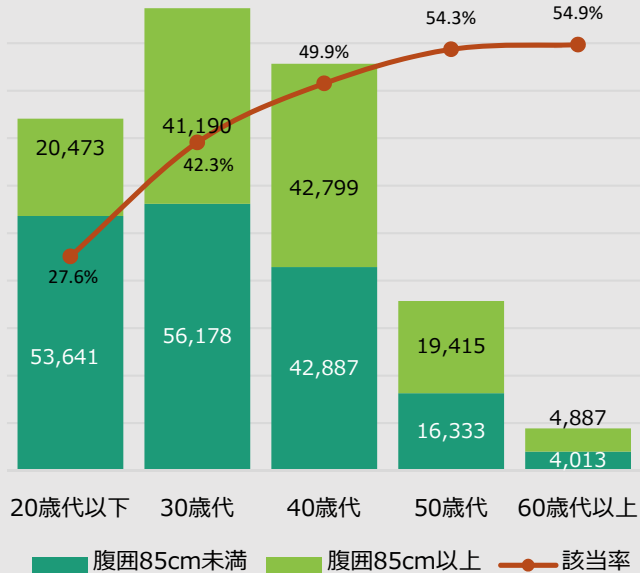
BMI分布 男性



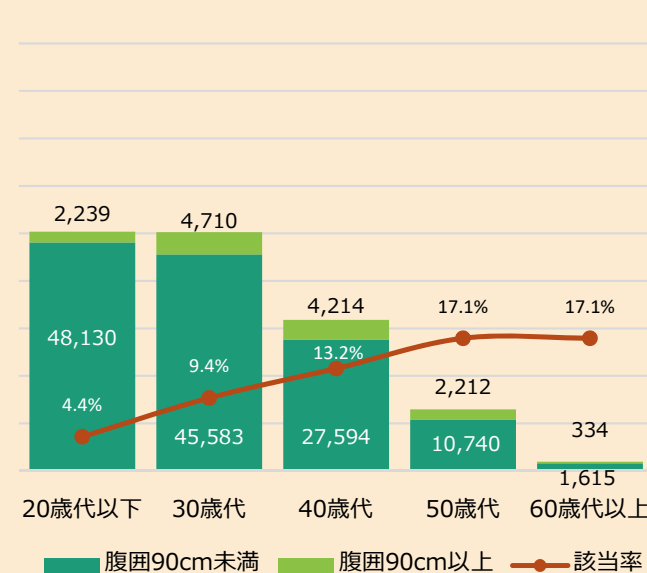
BMI分布 女性



腹囲分布 男性

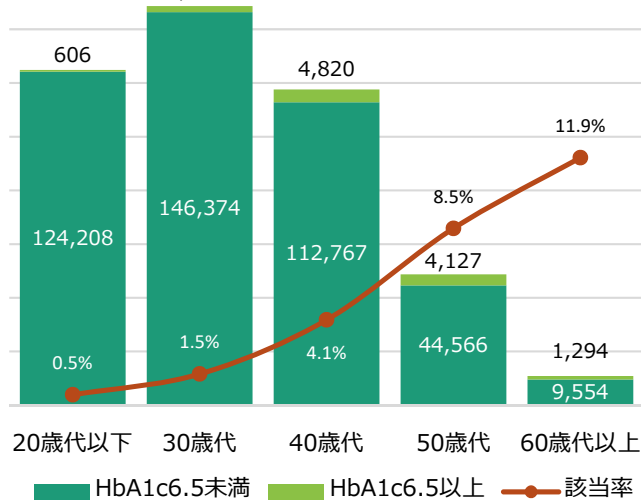


腹囲分布 女性

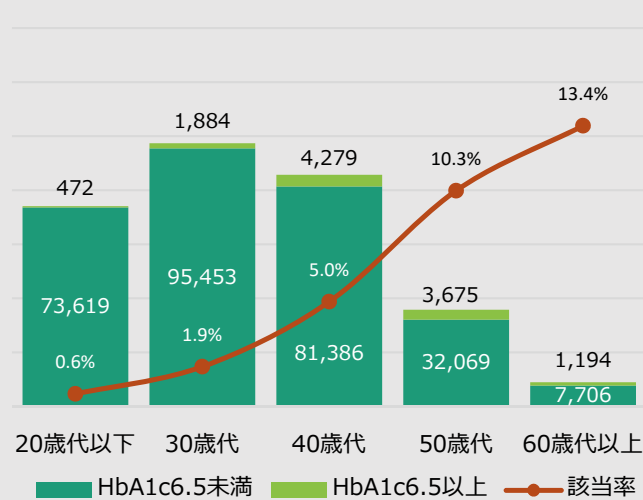


- 男性では、BMIは50歳代以降、下降傾向になり、全体でも同様の傾向が見られる。
- 男性は40歳代では約38%の人がBMI25を超え、約50%の人が腹囲85cmを超えて、BMIの伸びが止まった50歳代以降も上昇している。
- 女性の該当率は男性と比較して、BMI25を超えている人は1/2程度、腹囲では1/3～1/6程度と総じて該当率は低い。

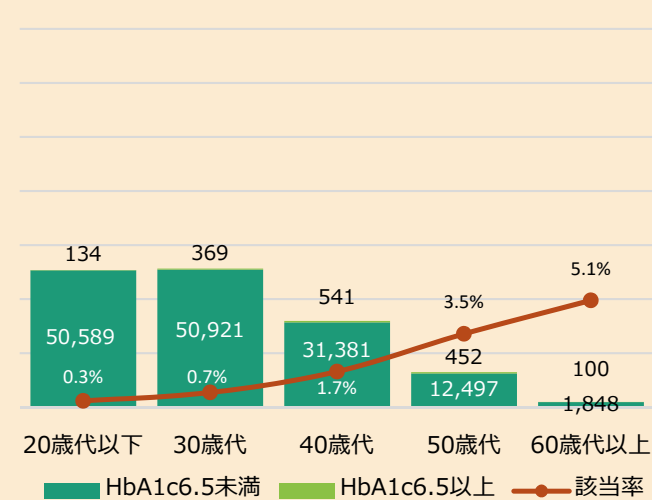
HbA1c 分布 被保険者全体  
2,253



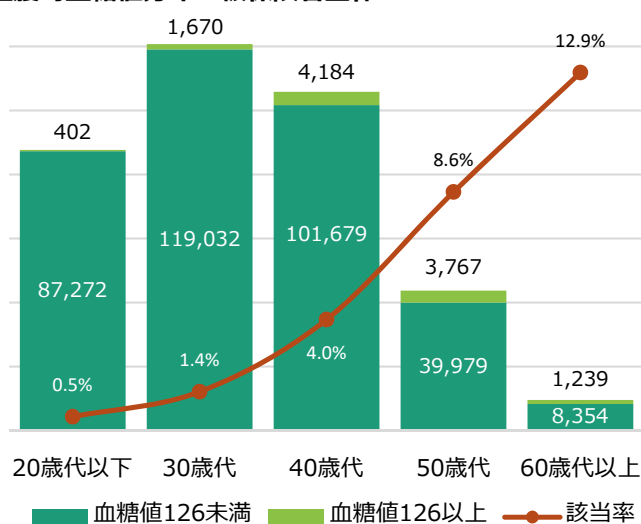
HbA1c 分布 男性



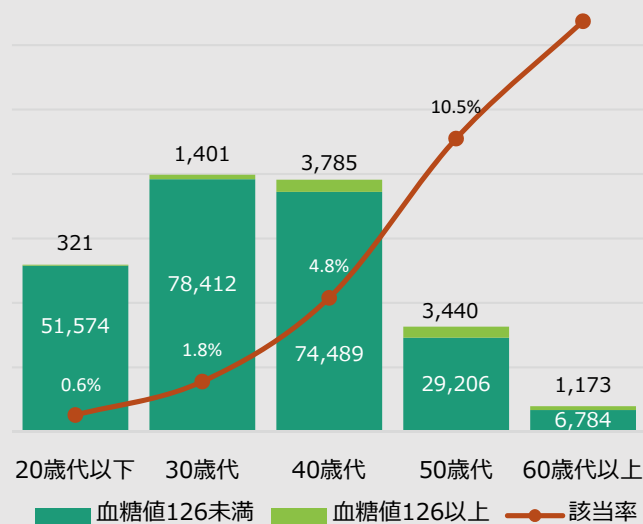
HbA1c 分布 女性



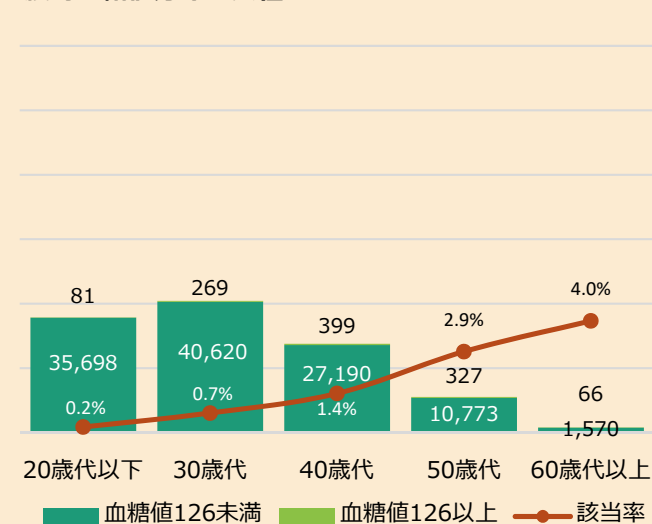
空腹時血糖値分布 被保険者全体



空腹時血糖値分布 男性

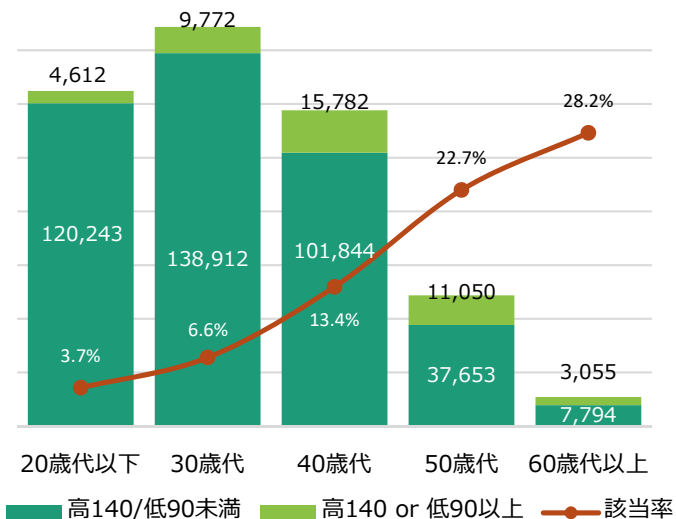


空腹時血糖値分布 女性

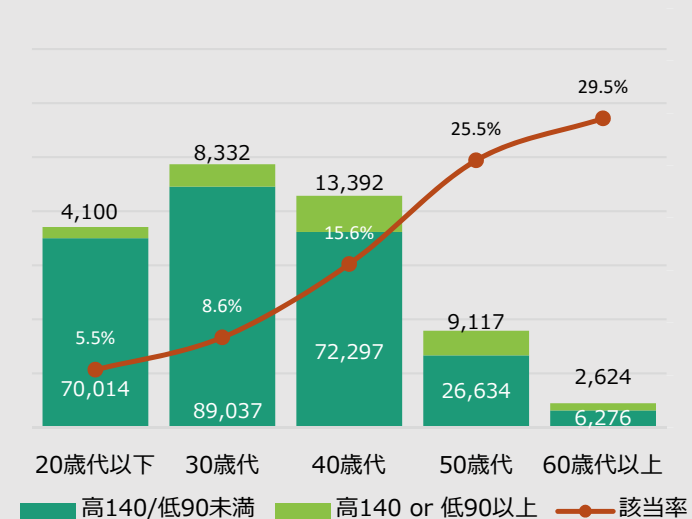


- 糖尿病の指標は40歳代から大きく該当率が高くなり、その傾向は男性により強く現れている。
- 女性の該当率は男性に比べて低いが、50歳代を境に高くなる。

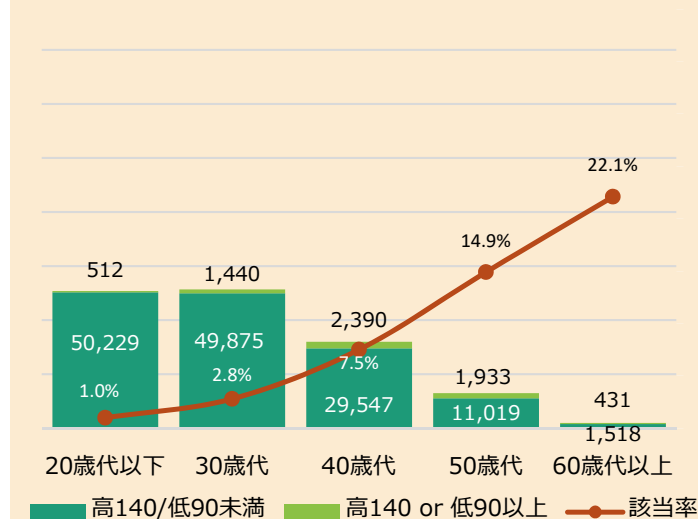
収縮又は拡張期 高値分布 被保険者全体



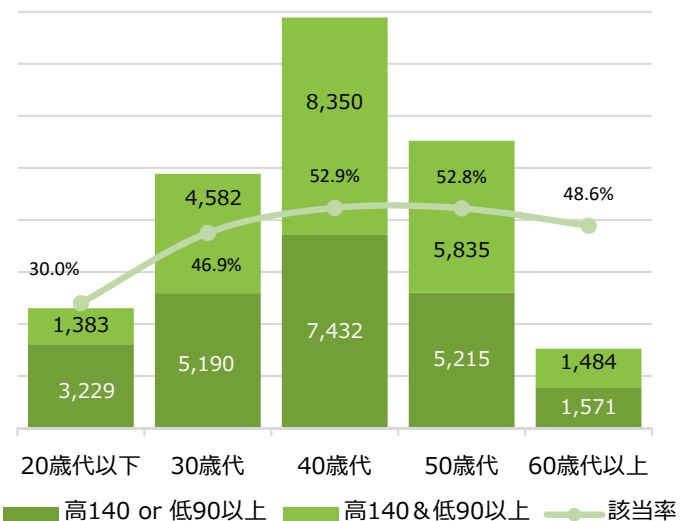
収縮又は拡張期 高値分布 男性



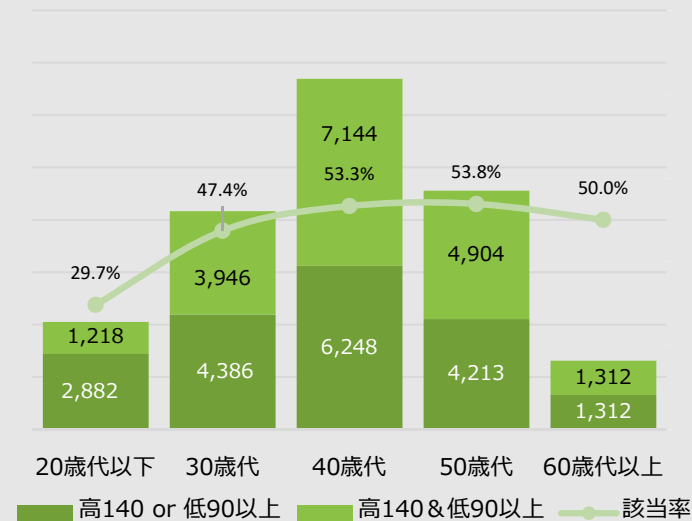
収縮又は拡張期 高値分布 女性



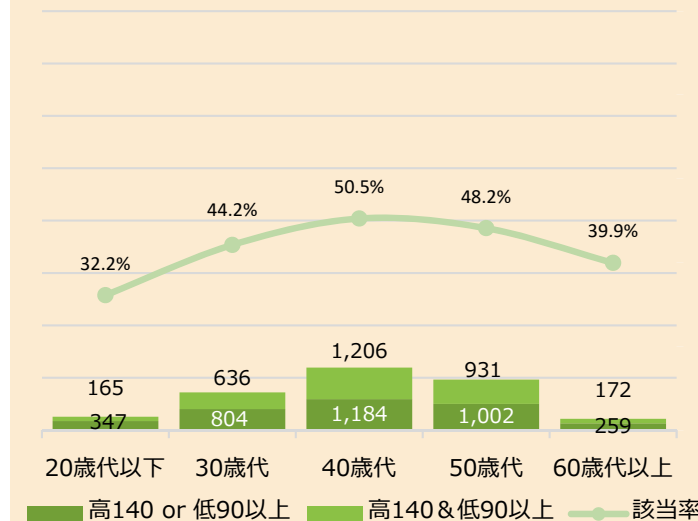
高値者の分布 被保険者全体



高値者の分布 男性

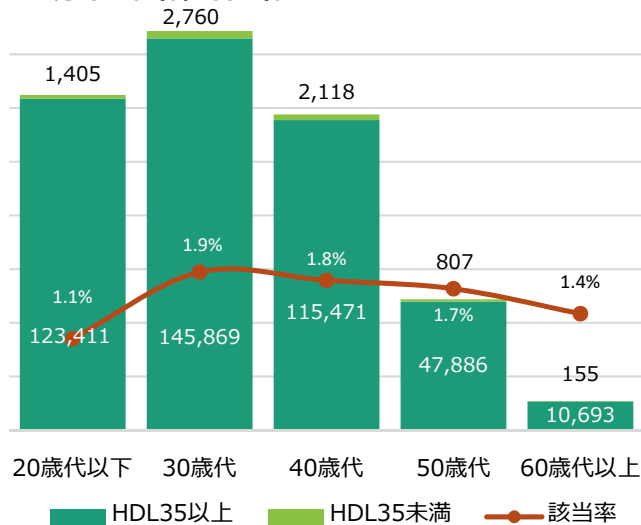


高値者の分布 女性

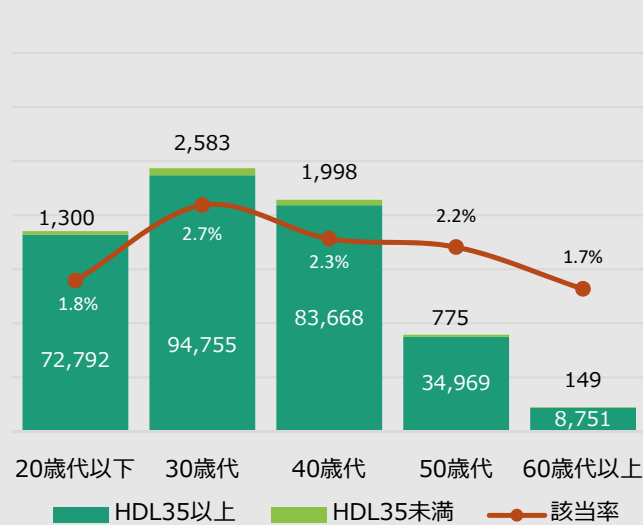


- 該当率は、糖尿病と同様に40歳代から伸びはじめる。女性の該当率は男性に比べると低いですが50歳代からその差は小さくなる。（上グラフ）
- 上グラフの治療値に該当した者のうち、収縮・拡張（上下）ともに基準値を上回る者が約半数見られ、その割合は微増が続いている。（下グラフ）

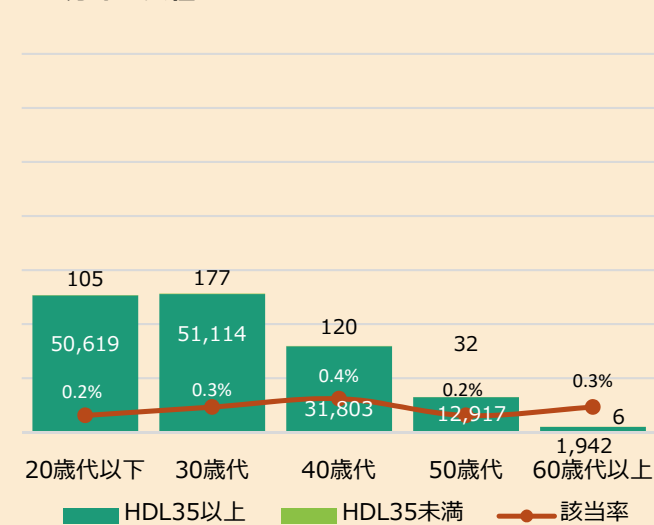
HDL 分布 被保険者全体



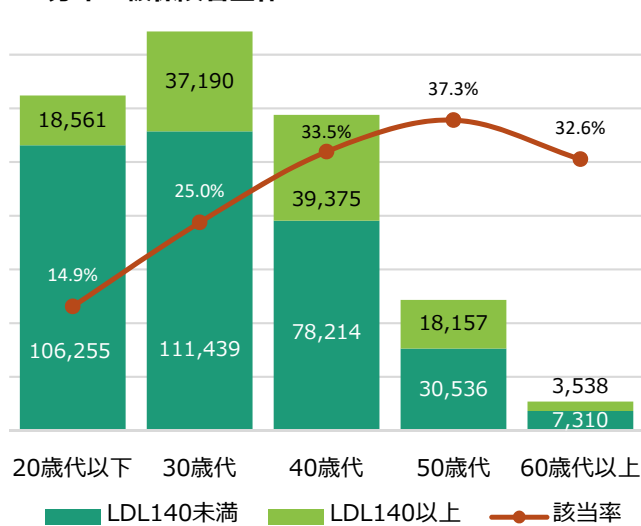
HDL 分布 男性



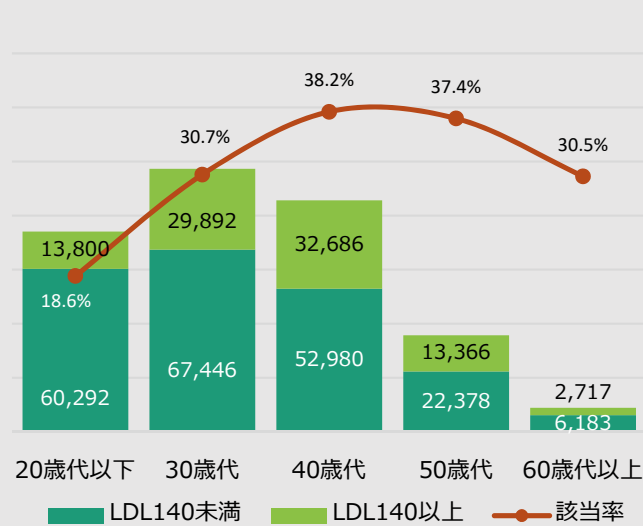
HDL 分布 女性



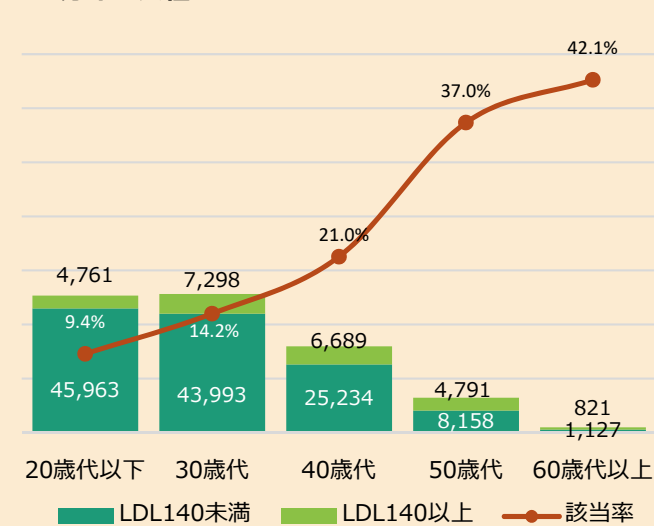
LDL 分布 被保険者全体



LDL 分布 男性

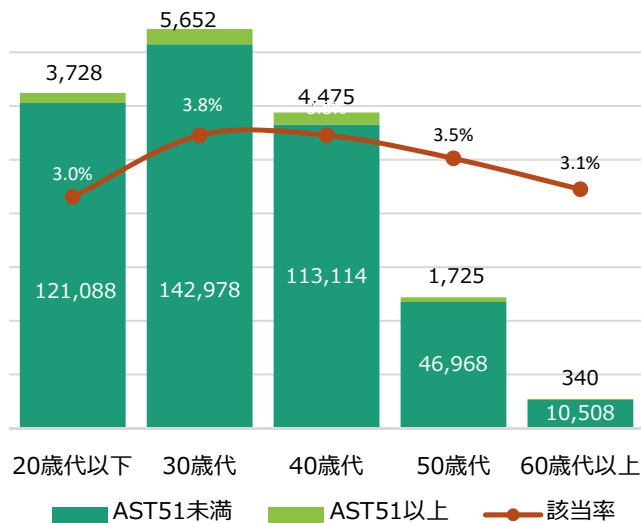


LDL 分布 女性

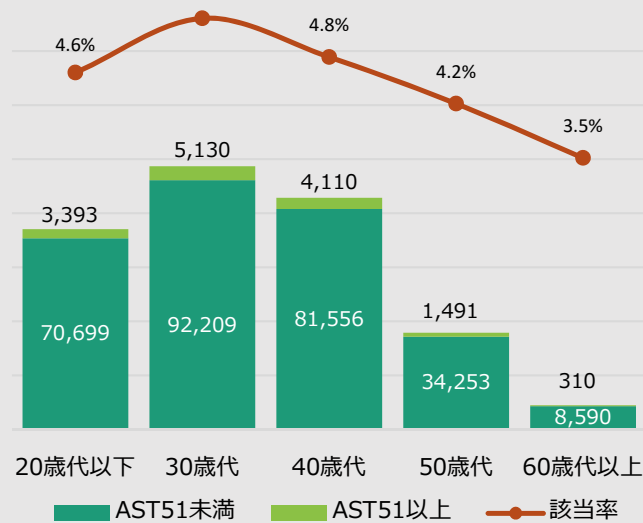


- 閾値を超えて該当する者は、男女ともにHDLと比べてLDLに多く、HDLで閾値を超える者は男性は40歳代から、女性は50歳代から逡減している。
- 女性のLDLで閾値を超える者は、50歳代を境に急増している。

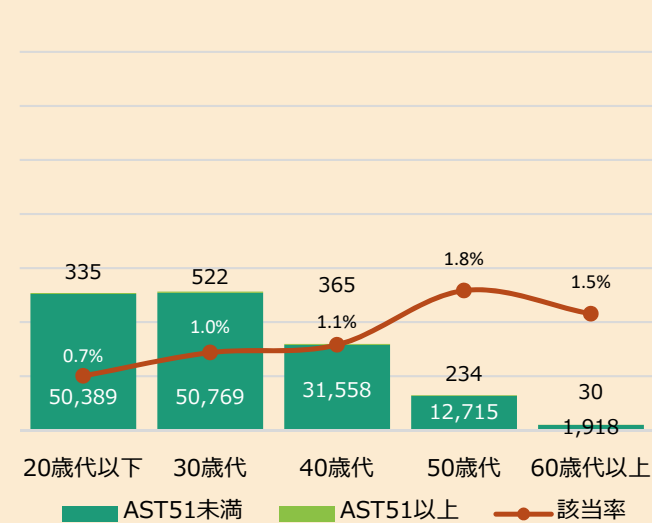
AST 分布 被保険者全体



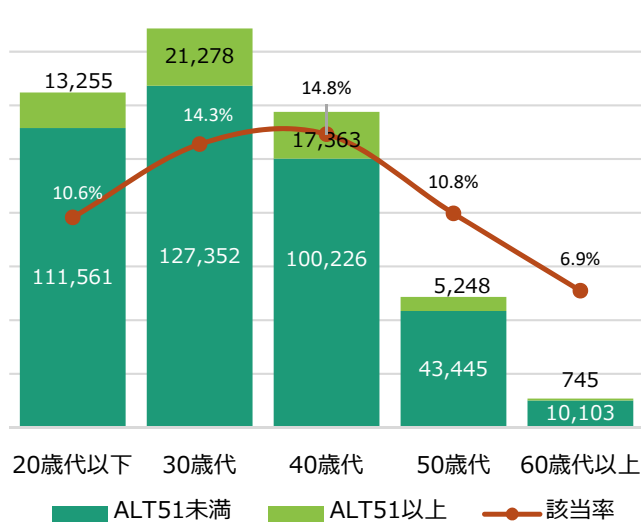
AST 分布 男性



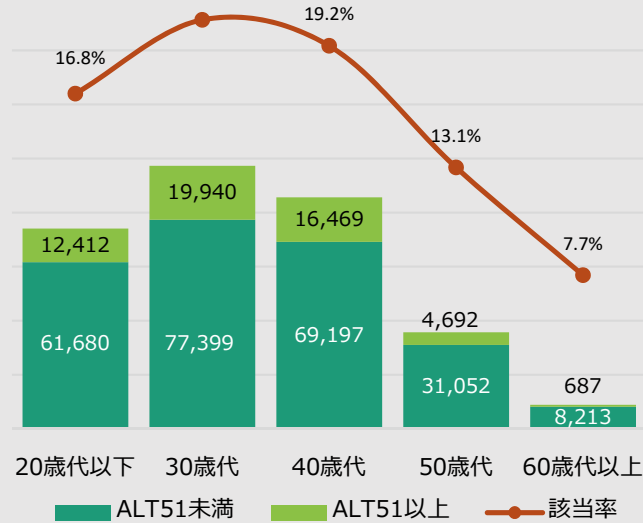
AST 分布 女性



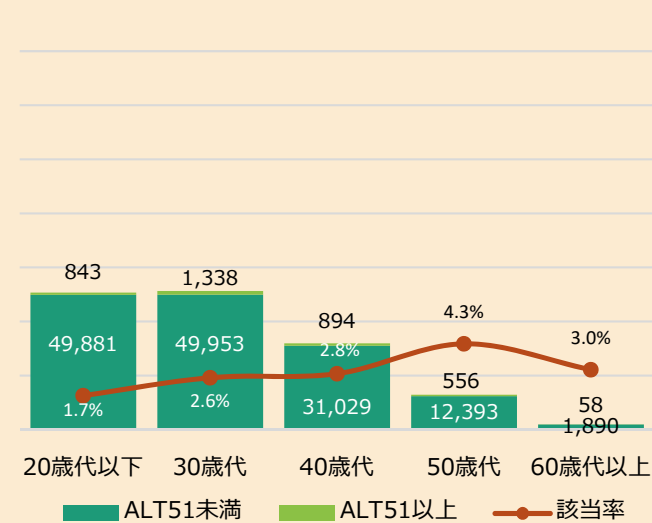
ALT 分布 被保険者全体



ALT 分布 男性

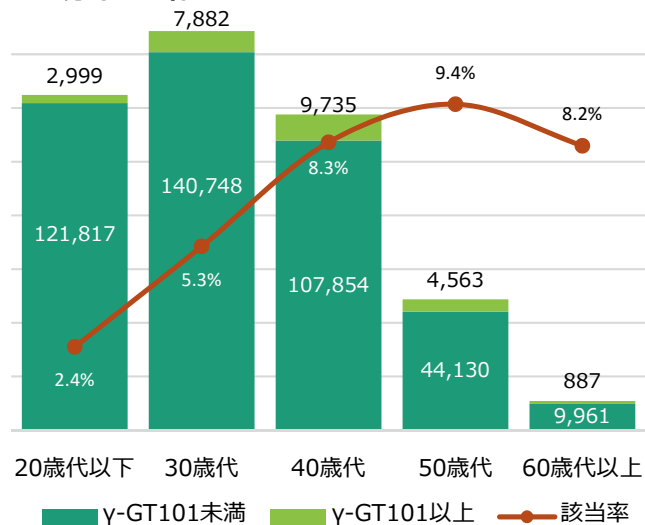


ALT 分布 女性

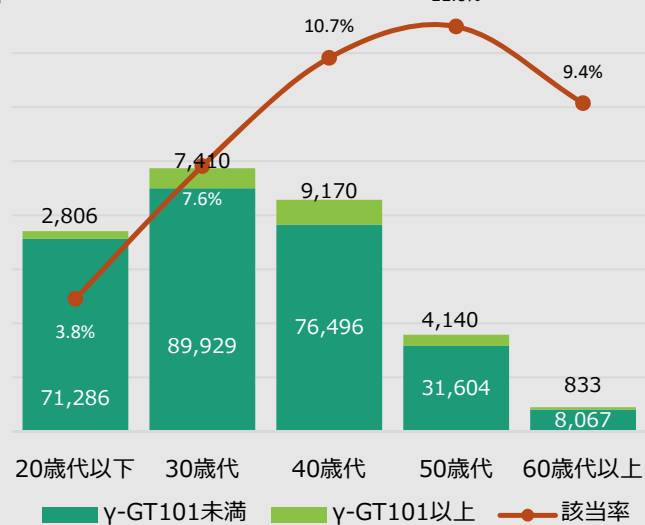


■ ASTと比べALTでは閾値を超えて該当する者が多く、男性はいずれも40歳代で逡減する。女性の該当率は男性に比べてどちらも低い。

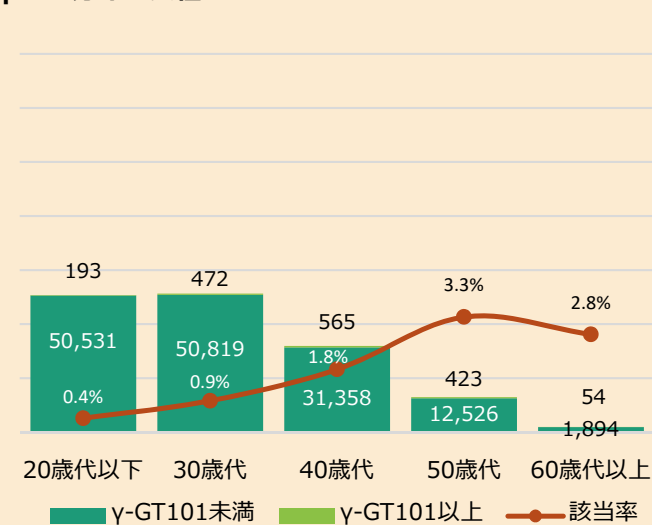
$\gamma$ -GT 分布 全体



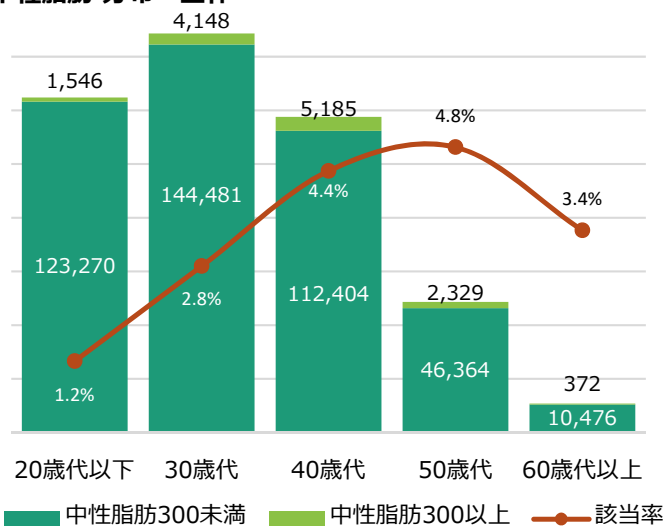
$\gamma$ -GT 分布 男性



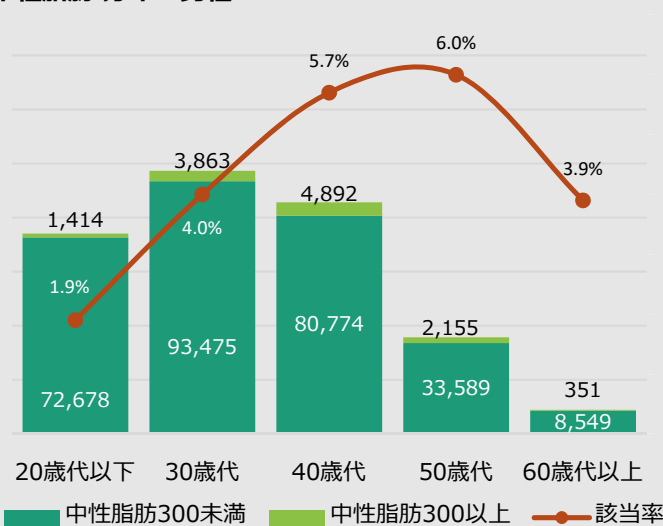
$\gamma$ -GT 分布 女性



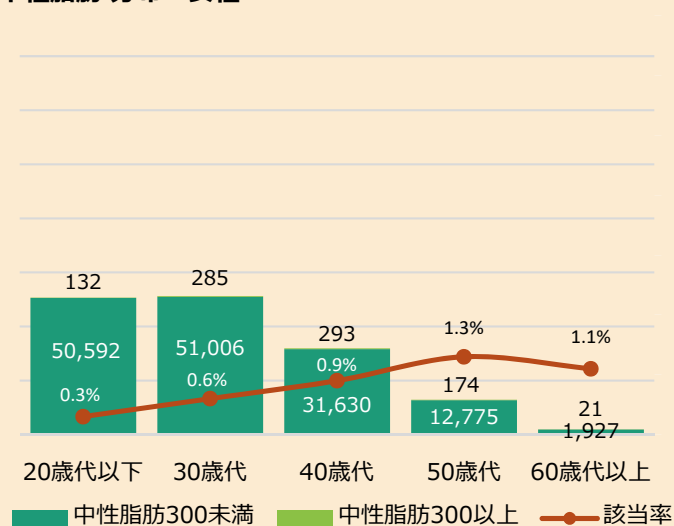
中性脂肪 分布 全体



中性脂肪 分布 男性



中性脂肪 分布 女性

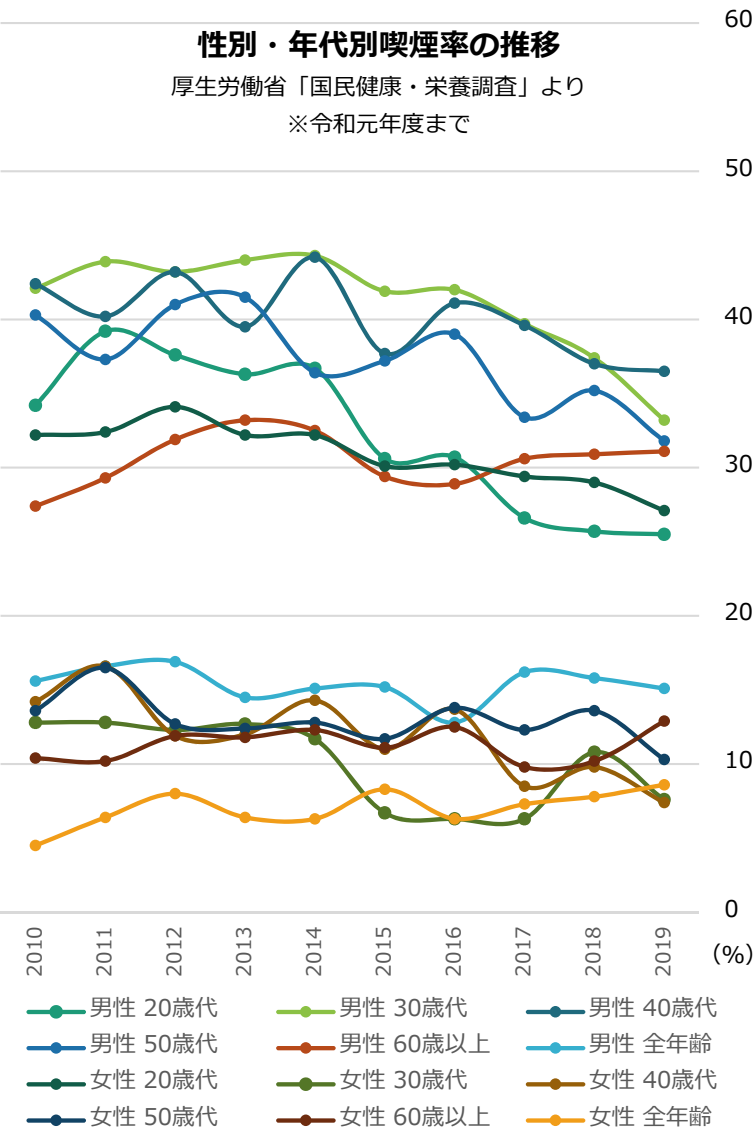


■  $\gamma$ -GT 及び中性脂肪ともに、男性が圧倒的に閾値を超えて該当する。女性の該当率は低い。



性別・年代別喫煙率の推移

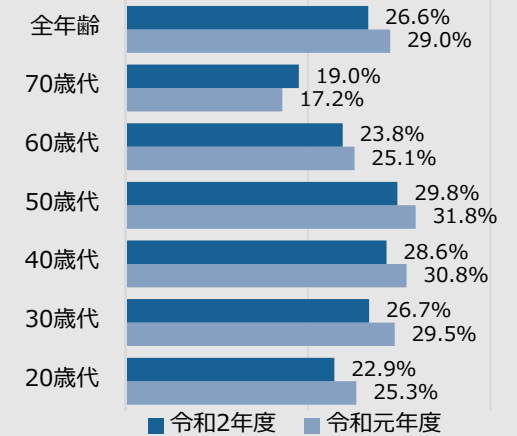
厚生労働省「国民健康・栄養調査」より  
※令和元年度まで



喫煙者数と喫煙率 男性 令和2年度

	喫煙者	非喫煙者	計	喫煙率	前年度の喫煙率
20歳代	16,955	57,089	74,044	22.9%	25.3%
30歳代	26,081	71,537	97,618	26.7%	29.5%
40歳代	24,602	61,400	86,002	28.6%	30.8%
50歳代	10,741	25,273	36,014	29.8%	31.8%
60歳代	2,080	6,656	8,736	23.8%	25.1%
70歳代	140	597	737	19.0%	17.2%
計	80,599	222,552	303,151	26.6%	29.0%

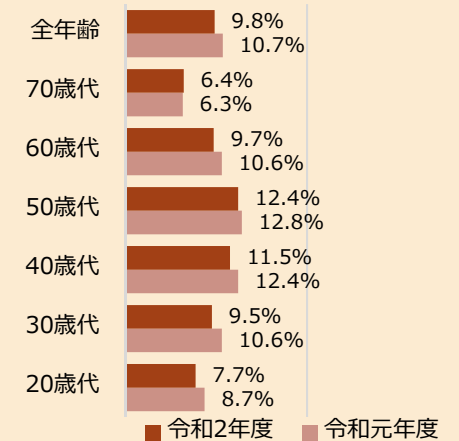
喫煙率の比較 男性 令和元・2年度



喫煙者数と喫煙率 女性 令和2年度

	喫煙者	非喫煙者	計	喫煙率	前年度の喫煙率
20歳代	3,953	47,143	51,096	7.7%	8.7%
30歳代	5,413	51,757	57,170	9.5%	10.6%
40歳代	5,004	38,672	43,676	11.5%	12.4%
50歳代	2,407	17,053	19,460	12.4%	12.8%
60歳代	388	3,592	3,980	9.7%	10.6%
70歳代	34	501	535	6.4%	6.3%
計	17,199	158,718	175,917	9.8%	10.7%

喫煙率の比較 女性 令和元・2年度



■ 当組合の令和2年度問診票からみた喫煙率は、男女ともに70歳代を除き、前年度から減少している。

## 付録 4

## 健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値等

- 2013年4月1日に厚生労働省より公開された「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に記載されている、主な健診検査項目の保健指導判定値及び受診勧奨判定値と、特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準（平成19年厚生労働省令第157号）による特定保健指導の基準値は次のとおりです。（※基準値を用いた特定保健指導の階層化は付録5を参照）

項目名	保健指導判定値	特定保健指導実施基準値	受診勧奨判定値	単位
腹囲	－	男性 85 以上 女性 90 以上	－	cm
BMI	－	25以上	－	－
収縮期血圧	130 以上	130 以上	140 以上	mmHg
拡張期血圧	85 以上	85 以上	90 以上	mmHg
中性脂肪	150 以上	150 以上	300 以上	mg/dL
HDLコレステロール	39 以下	40 未満	34 以下	mg/dL
LDLコレステロール	120 以上	－	140 以上	mg/dL
空腹時血糖	100 以上	100 以上	126 以上	mg/dL
HbA1c (NGSP)	5.6 以上	5.6 以上	6.5 以上	%
AST (GOT)	31 以上	－	51 以上	U/L
ALT (GPT)	31 以上	－	51 以上	U/L
γ-GT (γ-GTP)	51 以上	－	101 以上	U/L

## 付録 5 特定保健指導の階層化フロー

- 特定健診の結果より特定保健指導の対象と判定された方を動機付け支援（リスク低）対象者、積極的支援（リスク高）対象者に、それぞれ階層化します。
- 健康状態を把握し、生活習慣改善のための自主的な取り組みを継続的に実施できるように、医師や保健師、管理栄養士がさまざまな働きかけやサポートを行います。

STEP 1 内臓脂肪蓄積のリスクを判定	
1	腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上
2	腹囲は上記未満だが、BMI [体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m)] が25以上
※ 1 の場合、内臓脂肪面積を測定したときは、内臓脂肪面積の測定が優先されます。 ※ いずれにも該当しなければ特定保健指導は対象外です。	

STEP 2 検査結果、質問票から追加リスク数をカウント	
1 血糖 ※	空腹時血糖 100mg/dl以上 又は HbA1c : 5.6%以上
2 脂質	中性脂肪 150mg/dl以上 又は HDL (善玉) コレステロール : 40mg/dl未満
3 血圧	収縮期血圧 130mmHg以上 又は 拡張期血圧 : 85mmHg以上
4 喫煙歴	1から3のうち、1つ以上に該当した場合にカウントします
※ 1の項目を測定している場合は、空腹時血糖値を優先とします。	

STEP 3 保健指導のレベルをグループ分け			
STEP1	STEP2	保健指導の内容	
1のリスクに該当した場合 (腹囲測定)	1~4のリスク数が	2つ以上	積極的支援
		1つ	動機付け支援
		0	情報提供
2のリスクに該当した場合 (BMI)	1~4のリスク数が	3つ以上	積極的支援
		1つ又は2つ	動機付け支援
		0	情報提供
※ 65歳以上の方は、積極的支援レベルに該当しても、動機づけ支援を行います。			

STEP 4 特定保健指導レベルに合わせたご案内を送付します。	
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康的な生活習慣の重要性に対する理解と関心を深め、生活習慣を見直すきっかけとなるような、基本的な情報を提供します。</li> </ul>
動機付け支援 (リスク低)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 初回面談 : 個別に20分以上、対象者に合わせた実践的なアドバイス</li> <li>● 実践 : 3ヶ月以上、自身で「行動目標」に向けて生活習慣改善</li> <li>● 実績評価 : 3ヶ月以降に健康状態、改善状況の確認</li> </ul>
積極的支援 (リスク高)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 初回面談 : 個別に20分以上、対象者に合わせた実践的なアドバイス</li> <li>● 継続支援 : 3ヶ月以上、「行動目標」に向けて生活習慣改善の実施メールや電話などで生活習慣の改善のための支援を継続</li> <li>● 実績評価 : 3ヶ月以降に健康状態、改善状況の確認</li> </ul>
※ 専門的知識・技術を持った者（医師・保健師・管理栄養士又は実務経験のある看護師）がサポートします。	

## 付録 6 健診検査項目の概要

- 「中性脂肪」** 体内にある4種類の脂質の一種です。中性脂肪は砂糖やでんぷんなどの糖質、炭水化物などが主な原料で肝臓でつくられます。これらの原料を多く取りすぎると、皮下脂肪の主成分として蓄積されます。血液中の中性脂肪やコレステロールが増えすぎる（高脂血症）と、動脈硬化の危険が高まります。中性脂肪が余分になり、血液中に増加してくると、動脈硬化を進める一因になります。中性脂肪の測定は、動脈硬化性疾患（狭心症、心筋梗塞、脳卒中など）を予防するための大切な検査です。中性脂肪の基準値30～149mg/dlですが、食後30分ぐらいから上昇し始め、4～6時間後に最も高くなります。検査は早朝空腹時に行ないます。
- 「HDLコレステロール」** 血液中のコレステロールや中性脂肪などが、たんぱく質と結びついたものをリポたんぱくといいます。一般に、コレステロールを多く含んでいるリポたんぱくとして「HDL」と「LDL」があります。HDLコレステロールは、血管内壁にへばりついて動脈硬化を引き起こすコレステロールを引き抜いて、肝臓まで運ぶ働きをしています。このことから「善玉コレステロール」とも呼ばれています。
- 「LDLコレステロール」** LDLは、肝臓でつくられたコレステロールを各臓器に運ぶ働きをしている低比重リポたんぱくのことです。LDLコレステロールは、細胞内に取り込まれなかった余剰なコレステロールを血管内に放置し、動脈硬化を引き起こす原因となるため「悪玉コレステロール」と呼ばれています。LDLコレステロールの値が140mg/dl以上の場合は、生活習慣の改善が必要です。
- 「血糖」** 血糖とは、一般には血液中のブドウ糖のことを意味します。ブドウ糖は、エネルギー源として利用されているため、血液中のブドウ糖（血糖）は一定の濃度に保たれています。そのコントロールを行っているインスリンが不足したり、あるいはインスリンの働きが弱くなったりすると、血液中に多量の糖が存在することになってしまいます。血糖を調節しているインスリンが不足すると、血液中にブドウ糖があふれて「高血糖」になります。血糖の検査は、糖尿病の有無、その治療や管理の指標として欠かせません。「空腹時血糖値」が126mg/dl以上、または「食後血糖値」が200mg/dl以上であれば、糖尿病の疑いが濃厚です。糖尿病は慢性の病気ですので、根気よく治療を続けることが大切です。食事療法、運動療法、インスリン療法で血糖コントロールをよくして合併症を防ぐことが重要です。
- 「HbA1c」** HbA1c（グリコヘモグロビン）とは、赤血球の中で体内に酸素を運ぶ役目のヘモグロビンと、血液中のブドウ糖が結合したものです。糖化ヘモグロビンともいい、血糖値が高いほどHbA1cが形成されてやすくなるので、糖尿病患者では血液中に顕著な増加がみられます。血糖値は常に変化しますが、グリコヘモグロビンは濃度が安定しています。ヘモグロビンの寿命は約4ヶ月であるため、グリコヘモグロビンの値を調べれば、過去1～2ヶ月の血糖の平均的な状態を知ることができます。血糖値は検査前の食事や飲酒、それに検査に時間によって変動するのに対し、HbA1c値はほとんど影響を受けないという特徴があります。糖尿病を治療中の人で高値の場合は、血糖コントロールが上手くいっていないということであり、食事療法を守るのはもちろん、適度な運動を行なうなど、生活スタイルから見直す必要があります。
- 「BMI」** BMIとは、体格指数を表し国際的にも認められている、肥満・やせの基準です。BMI値は、大人のみに適応するもので、その体格判定基準は、  
・18.5未満 やせ /・18.5～25未満 標準 /・25～30未満 肥満 /・30以上 高度肥満  
となっており、25以上を肥満としています。なお、日本肥満学会では、日本人の標準値を男女ともに22としています。これは、統計的に疾患が最も発生しにくく長生きできる数値を標準値として採用したものです。BMIの大きい太った人は、糖尿病や心臓病などの発病率が高くなります。
- 「AST/ALT」** AST・ALTは肝細胞に多く含まれている酵素です。肝臓が悪くなると肝細胞が破壊され、そこに含まれている酵素が血液中に放出されますので、数値が高くなります。ASTは心臓の筋肉や骨格筋等にも含まれていますので、激しい運動や筋肉に炎症がある場合や心筋梗塞（急性期）の場合にも増加します。
- 「γ-GTP」** γ-GTPは胆道系酵素のひとつで、肝臓や胆道に障害があると、血液中の値が高くなります。また、飲酒状態を敏感に反映することから、アルコール性肝疾患の診断・経過観察の指標となります。その他、薬剤性肝障害でも値が上昇します。

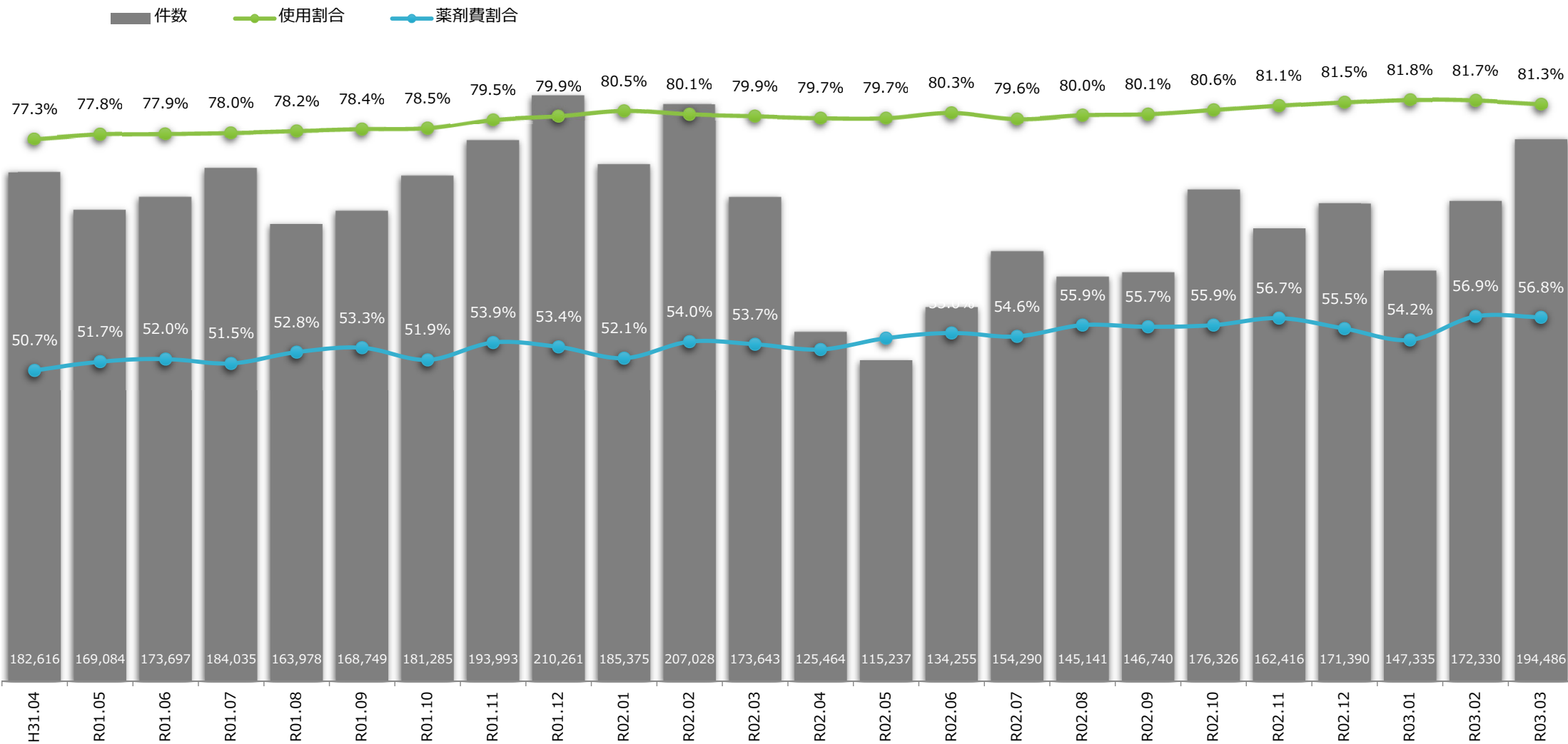
**STEP 1-5**

**後発医薬品**

# 1-5-1 後発（ジェネリック）医薬品の使用状況 本人家族

	本人	男性
調剤	家族	女性

後発医薬品の使用状況の各月推移 本人+家族 強制+任継



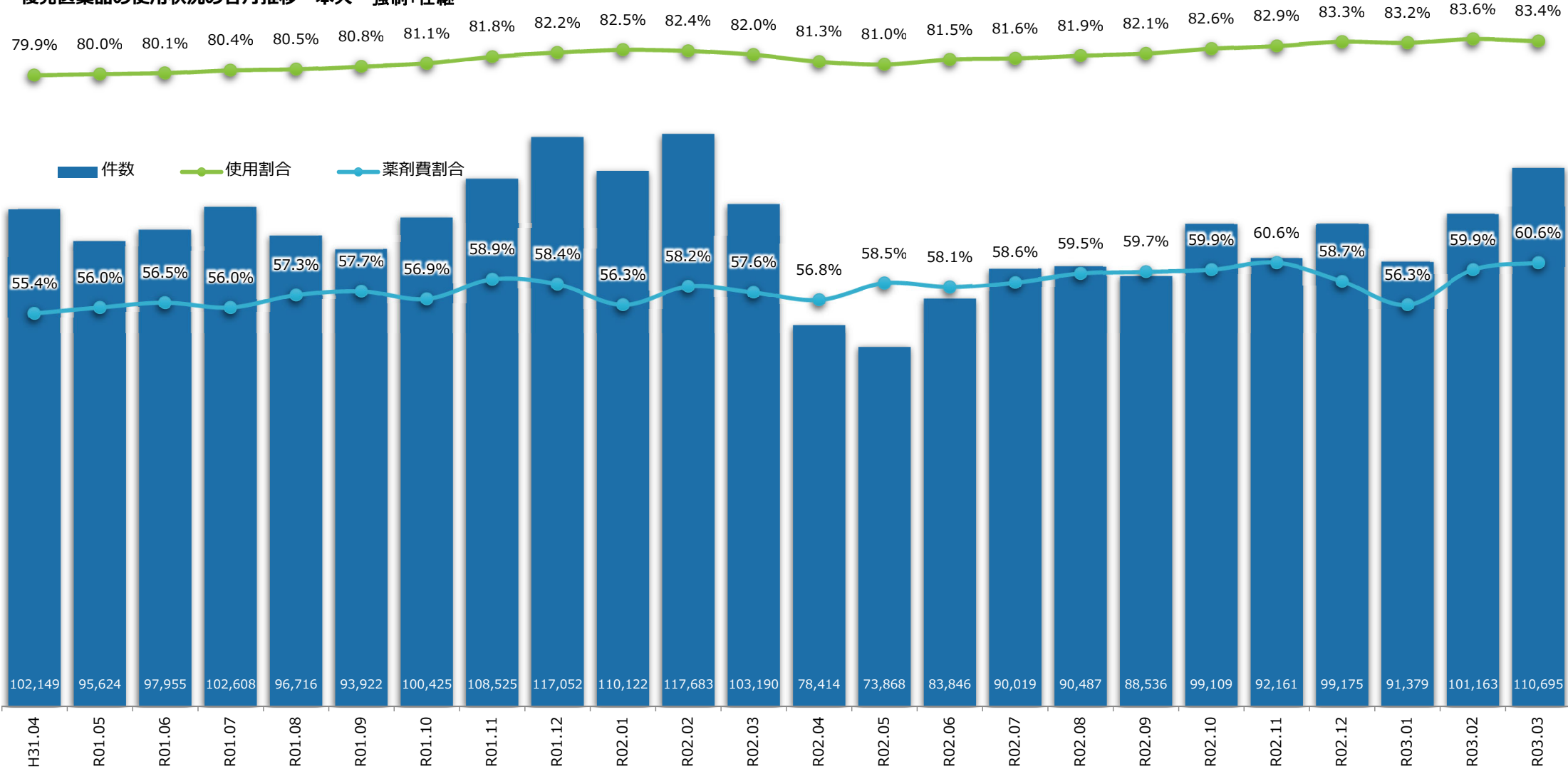
使用割合は【後発医薬品欄の薬剤使用量 / 調剤合計欄の薬剤使用量】で、算出。薬剤費割合は【後発医薬品欄の薬剤料 / 調剤合計欄の薬剤料】

■ ジェネリック医薬品の使用割合、薬剤費割合（全体調剤報酬に占める割合）ともに着実に逡増している。一年前に比べ約2%程度上昇している。

# 1-5-2 後発（ジェネリック）医薬品の使用状況 本人

	本人	男性
調剤		女性

後発医薬品の使用状況の各月推移 本人 強制+任継

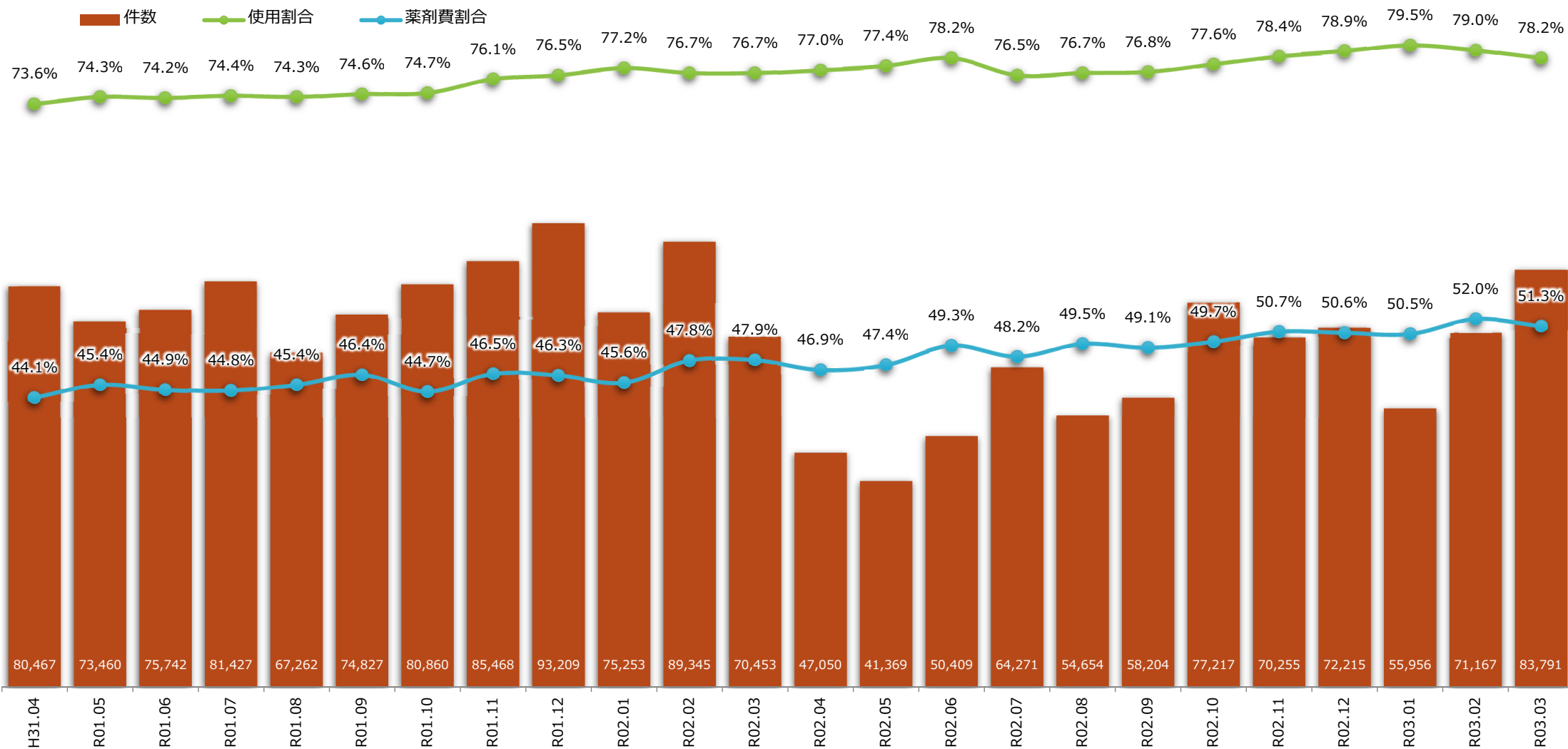


使用割合は【後発医薬品欄の薬剤使用量 / 調剤合計欄の薬剤使用量】で、算出。薬剤費割合は【後発医薬品欄の薬剤料 / 調剤合計欄の薬剤料】

■ ジェネリック医薬品の使用割合、薬剤費割合（全体調剤報酬に占める割合）ともに着実に逡増している。

# 1-5-3 後発（ジェネリック）医薬品の使用状況 家族

後発医薬品の使用状況の各月推移 家族 強制+任継



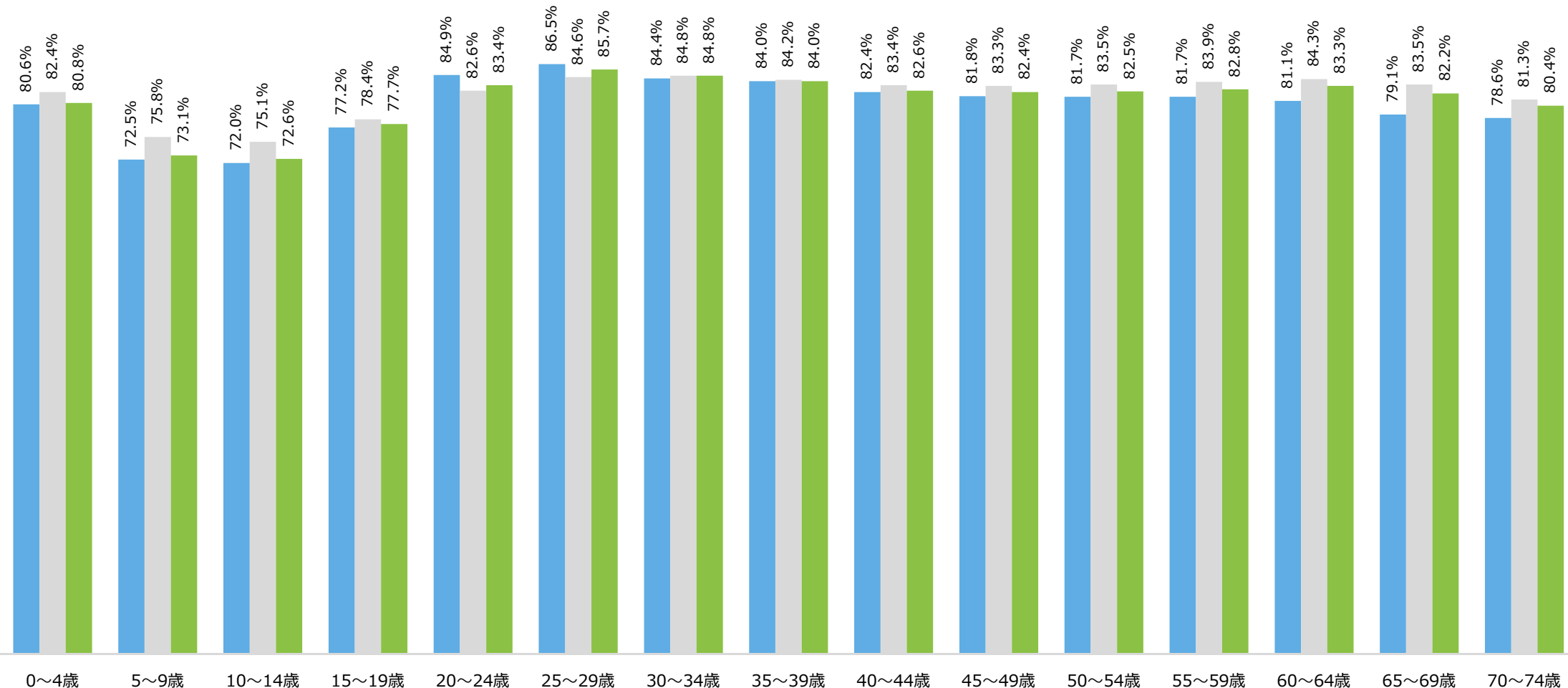
使用割合は【後発医薬品欄の薬剤使用量 / 調剤合計欄の薬剤使用量】で、算出。薬剤費割合は【後発医薬品欄の薬剤料 / 調剤合計欄の薬剤料】

■ ジェネリック医薬品の使用割合、薬剤費割合（全体調剤報酬に占める割合）ともに着実に逡増している。



使用割合 本人+家族 強制のみ 全年齢合計 ■当組合 81.26% ■全健保組合 82.50% ■情報通信業 81.71%

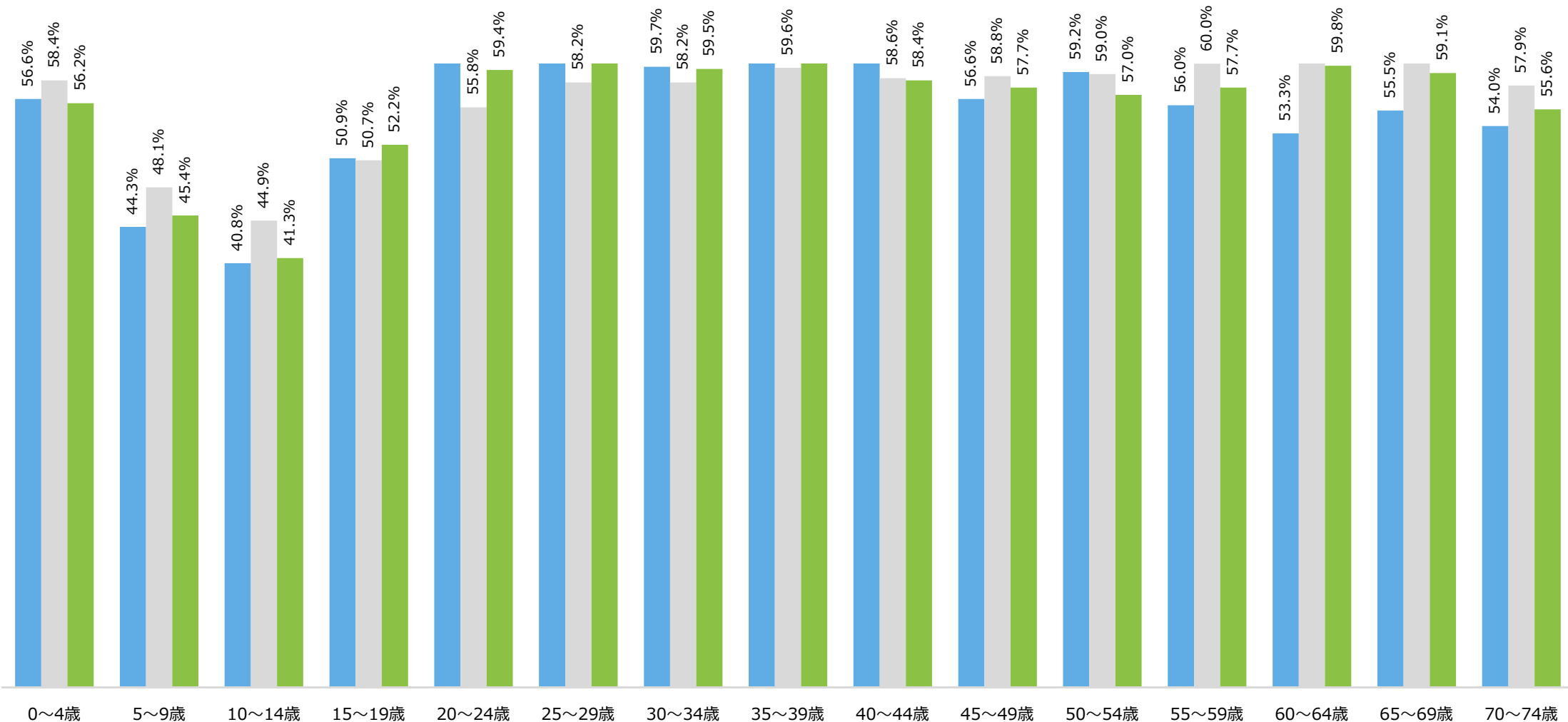
■当健保組合 ■全健保組合 ■情報通信業



- 前回約80%であったが81%へと使用割合が全体的に増加している。情報通信業と比較しても優位性は認められない。
- 若年層での使用割合が低いのは各自治体の医療費補助制度により、自己負担に関心が薄いためと思われる。

薬剤費割合 本人+家族 強制的み 全年齢合計 ■当組合 56.71% ■全健保組合 57.28% ■情報通信業 56.46%

■当健保組合 ■全健保組合 ■情報通信業



■ 使用割合の増加に伴って薬剤費割合も全体的に増加している。他と比較して、トータルでの優位性は認められない。

## STEP 2

健康課題を抽出する

## 基本分析による現状把握から見える主な健康課題

1-1-1	特定保健指導の実施率は、直近実績でも22.7%（国の設定した基準値30%以上）である。
1-1-1 1-3-1 1-3-2	前期高齢者の加入率は医療保険者の中では低い。一人当たり医療費は他の低年齢階層の加入者よりも高い。
1-3-8	歯科医療費の平成28年度実績の三要素の伸び率は逡増しており、かつ、その割合も医療費総額の13%を占めている。また、生活習慣病と歯周病の関係が明らかになってきたが、取組みを何も実施していない。
1-3-12 1-3-16 1-4-6	生活習慣病に係る医療費、特に外来は糖尿病が高い値を示している。HbA1c及び血糖値の値は、30歳代から高くなる傾向が見られる。
1-3-9 1-3-10 1-3-13 1-3-14	悪性新生物対策として、子宮頸部、乳房、肺、大腸及び胃などについて、エコーやマンモ、便潜血、胃部X線などの検診・検査方法で対応しているが、ピロリ菌などの胃のリスク検査が十分に実施されていない。
1-3-11 1-4-6 1-4-7 1-4-8	虚血性心疾患や脳血管障害は入院医療費の多くを占めているが、健診結果よりこれらの発症要因である糖尿病と高血圧症、脂質異常症の基準値を超える者が多くいる。

## 対策の方向性

- ICTを活用した遠隔保健指導を利用し、コラボヘルスを通じた事業主との連携を推進し、特定保健指導の実施率を引き上げるほか、スポーツ施設を利用した特定保健指導の新たなモデル実施に取り組む。
- 健康寿命の延伸を見据え健康リスクを抱える前期高齢者層及び前期高齢者の待機者に、健康に関する相談や助言等を行える対策を講じる。
- 第2期事業より、新規に歯科健診を導入する。歯科健診は、事業所訪問型の「巡回歯科健診」と都内の健保会館で実施する「会館歯科健診」のほか、契約健診機関の実施する特定健診と併設して実施できる事業者を選定する。
- 受診勧奨を含めた「糖尿病の重症化予防事業」に関し、第1期事業の実施効果を踏まえ、全てのフローと手順を改善し、より効果的・効率的に実施する。また、参加者を長期間フォローする体制と方法を検証し、これを実施する。
- 胃のリスク検査としてペプシノゲン検査のほかピロリ菌抗体検査の未実施者に対し、簡易に郵送で実施できる胃がんリスク検査を導入する。検査結果に関する相談やフォローも実施できる仕組みを併せて導入する。
- 血圧と糖尿病の受診勧奨値を基準に対象者を抽出選定し、高血圧症と糖尿病の未治療・未受診者に対し、第1期事業の実施効果を踏まえ受診勧奨事業を実施する。脂質異常症についての受診勧奨を令和3年度より追加して実施する。

## 特徴

- |      |  |
|------|--|
| 基本情報 | <ul style="list-style-type: none"> <li>適用事業所の1社当りの被保険者数は65.0人と、個々の事業所規模は決して大きくない。</li> <li>20歳代、30歳代が被保険者全体の62.7%を占める、若い被保険者構成となっている。</li> </ul> |
| 棚卸し  | <ul style="list-style-type: none"> <li>歯科疾患予防に関する取組みを全く行っていない。</li> <li>歯科レセプトの分析は手つかず、かつ、その手法の確立が十分ではない。</li> </ul>                             |

## 対策検討時に留意すべき点

- 加入者及び事業所拠点が多いことから、健保組合が全ての被保険者に個々に接することは現実的ではないが、第1期事業でのコラボヘルスで構築した協力関係を生かし、社員のモチベーションアップや企業の生産性向上にも寄与する新たなコラボヘルス体制の構築とコラボヘルスを通じた質の高い保健事業の提供を行う。
- 事業所巡回型の歯科健診を導入するが、一定の受診人数がいないと実施できないため、会館型の歯科健診を用意する必要がある。
- 地方都市での会館型の実施は、他の医療保険者と共同で開催するなど、その実施方法を含め引き続き検討を重ねる必要がある。

## STEP 3

課題に対応した事業を選定し目標・評価指標を設定する

## STEP 3-1

## 実施計画

- 保健事業の実施計画の対象者の資格及び年齢は、事業によって更に条件が設定されているものがあります。

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	実施計画						
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
個別の事業																
特定健康診査事業	1	既存	特定健診 (被扶養者と任意継続被保険者を除く)	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】事業主が行う定期健診と共同実施	被保険者	全て	男女	40~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 89.0%</li> <li>全国の事業所の適用状況等を考慮した健診機関との契約と見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 89.6%</li> <li>受診率向上のため、コラボ実施など事業所との連携を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 90.3%</li> <li>第三期の中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 91.3%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 92.5%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 93.3%</li> </ul>
	1	既存	特定健診 (被扶養者と任意継続被保険者)	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】自己負担無しの巡回健診を取り入れ受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 46.6%</li> <li>被扶養者の登録住所等を考慮した健診機関との契約と見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 47.0%</li> <li>未受診者への効果的なアプローチの検討、実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 47.5%</li> <li>第三期の中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 48.0%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 49.0%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標受診率 50.0%</li> </ul>
特定保健指導事業	3	既存	特定保健指導	【目的】生活習慣病リスク者への早期介入 【概要】特定保健指導の実施。保健指導支援室設置や遠隔保健指導を取り入れ、受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40~74	基準該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標実施率 23.0%</li> <li>遠隔保健指導に遠隔禁煙支援をアドオンすることで階層化リスク項目の軽減を図る</li> <li>積極的支援に係るモデル事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標実施率 24.5%</li> <li>モデル実施の効果を検証し、対象地域の拡充を図る</li> <li>受診率向上のためコラボヘルス事業所との連携を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標実施率 26.0%</li> <li>第三期の中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標実施率 27.3%</li> <li>初回面接当日実施と遠隔保健指導の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標実施率 29.0%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標実施率 30.0%</li> </ul>

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	実施計画													
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度								
職場環境の整備																							
保健指導宣伝	4	既存	機関誌発行	【目的】情報発信、健康意識の向上 【概要】健保の運営、収支、健診案内、健康情報などについて、年2回発行	被保険者	全て	男女	16~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>加入者目線に立った、分かりやすく且つ見やすい誌面づくり</li> <li>疾病予防、健康増進に係る情報の効率的な発信</li> </ul>	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続						
	7	既存	ITSコラボヘルス	【目的】情報共有型から課題解決型のコラボヘルスへの転換 【概要】健康課題と保健事業との紐づけを明確にすることに加えてそれをクリアすれば目標を達成できるような評価指標、定量的なアウトプット指標・アウトカム指標の設定を進める。	被保険者	一部の事業所	-	-	-	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の健康課題の共有</li> <li>健康情報の共同利用による保健指導/保健事業の推進</li> <li>健康経営優良法人認定に係る情報の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コラボヘルスを通じた情報提供成果物の全加入事業所への広報</li> <li>従来通りの事業を継続</li> </ul>	健康経営を取り巻く制度動向を捉え、より実践的な協働を実施するための事業内容を検討	2年度の検討内容に基づき、事業を実施	2年度の検討内容に基づき、事業を実施	2年度の検討内容に基づき、事業を実施							
	7	既存	健康経営サポート事業	【目的】事業所が実践する健康経営の推進 【概要】健康経営と相関性の高い研修の費用補助	被保険者	一部の事業所	-	-	-	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>30社以上がサポート事業を利用</li> <li>企業宣言実施事業所を対象にした研修補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>40社以上がサポート事業を利用</li> <li>健康優良企業認定（金の認定）の事業所の顕彰</li> </ul>	健康経営を取り巻く制度動向を捉え、事業内容を検討	2年度の検討内容に基づき、事業を実施	2年度の検討内容に基づき、事業を実施	2年度の検討内容に基づき、事業を実施							
	7	既存	健康企業宣言	【目的】健康企業宣言の実施とサポート 【概要】健康企業宣言の推進と健康優良企業認定に向けたサポート	被保険者	一部の事業所	-	-	-	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>200社以上が宣言実施</li> <li>説明会等を通じた制度広報</li> <li>健康優良企業認定に向けたサポート実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>300社以上が宣言実施</li> <li>従来通りの事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>400社以上が宣言実施</li> <li>従来通りの事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>500社以上が宣言実施</li> <li>従来通りの事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>600社以上が宣言実施</li> <li>従来通りの事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>700社以上が宣言実施</li> <li>従来通りの事業を継続</li> </ul>							

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業



予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	実施計画								
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
加入者への意識付け																		
保健指導宣伝	7	既存	My Health Web の管理、運用	【目的】企業の健康経営と個人の健康管理のモチベーションの維持 【概要】ICTを活用した個人への情報提供やヘルスケアポイント等を活用したインセンティブ事業を推進する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録者 20,000人</li> <li>ウォーキング大会等を開催し、健康増進に取り組める環境を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録者 25,000人</li> <li>セルフメディケーションの活用ツールとなるようコンテンツの見直しを図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録者 30,000人</li> <li>セルフメディケーションの活用ツールとなるようコンテンツの見直しを図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録者 35,000人</li> <li>中間効果を検証し、事業の実施内容を見直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録者 40,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録者 45,000人</li> </ul>		
	4	既存	禁煙啓蒙事業	【目的】喫煙者の禁煙 【概要】加入者に対し禁煙につながる啓蒙活動を行い、喫煙に伴う禁煙リスクを低減させる。	被保険者 被扶養者	全て	男女	20 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポスター等の事業所への送付</li> <li>直営健診センター、健保会館及び保養所への禁煙啓蒙用の冊子等の配備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来通りの事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>喫煙率の変動を検証し、事業の見直しを検討、実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>		
	7	既存	メンタルヘルス対策	【目的】事業所のメンタルヘルス対策のサポート 【概要】事業主、管理職や担当者向けの対象別セミナーの開催	-	一部の事業所	-	-	-	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでのセミナーメニューを踏まえて、事業所のニーズを優先的に取り入れ開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来通りの事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの集計結果を分析し、セミナー対象者や内容について検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>		
	7	既存	後発医薬品の使用促進	【目的】後発医薬品の使用割合の向上 【概要】後発医薬品差額通知及びジェネリック希望シール配布の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>後発医薬品使用割合76%</li> <li>My Health Web登録者 20,000人</li> <li>年間アクセスユーザー数 70,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後発医薬品使用割合78%</li> <li>My Health Web登録者 25,000人</li> <li>年間アクセスユーザー数 80,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後発医薬品使用割合80%</li> <li>My Health Web登録者 30,000人</li> <li>年間アクセスユーザー数 90,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後発医薬品使用割合81%</li> <li>My Health Web登録者 35,000人</li> <li>年間アクセスユーザー数 100,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後発医薬品使用割合82%</li> <li>My Health Web登録者 40,000人</li> <li>年間アクセスユーザー数 110,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後発医薬品使用割合83%</li> <li>My Health Web登録者 45,000人</li> <li>年間アクセスユーザー数 120,000人</li> </ul>		

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	実施計画									
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
個別の事業																			
疾病予防	1	既存	健康診査（基本健診・人間ドック等）	【目的】受診率向上 【概要】定期健診と同時実施、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～ 74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診率78%</li> <li>全国の事業所の適用状況等を考慮した健診機関との契約と見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診率80%</li> <li>コラボヘルスによる受診率の向上施策の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診率82%</li> <li>コラボヘルスによる効果を検証し、コラボヘルス事業所数を増やす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診率84%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診率86%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診率88%</li> <li>全ての都道府県への契約健診機関の配置完了</li> </ul>			
	1	既存	巡回婦人健診	【目的】女性の配偶者の受診率向上 【概要】婦人科検査と同時に実施し、費用の全額を補助	被扶養者	全て	女性	16 ～ 74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者数 26,000人</li> <li>健診機会を捉えた効果的な健診案内と受診勧奨の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者数 27,000人</li> <li>未受診者への効果的なアプローチの検討、実施</li> <li>DMの実施を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者数 21,000人</li> <li>未受診者へのアプローチの検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者数 21,000人</li> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者数 22,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者数 23,000人</li> </ul>			
	1	新規	簡易キット健診	【目的】女性の配偶者の受診率向上、健康リスクの早期発見 【概要】郵送による簡易健診を実施し、費用の全額を補助	被扶養者	全て	女性	16 ～ 74	過去2年間の健診未受診者	1	/	/	/	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>案内発送数 10,000人</li> <li>申込者数 対象者の20%</li> <li>実施者の健診受診率10%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>案内発送数 10,000人</li> <li>申込者数 対象者の20%</li> <li>実施者の健診受診率10%</li> </ul>			
	1	既存	婦人科検査	【目的】婦人科疾患の早期発見 【概要】健康診査のオプションとして実施	被保険者 被扶養者	全て	女性	16 ～ 74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診機関での検査項目、利用料金の見直しを図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用料金の改定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>			
	1	既存	脳MR・肺CT検査	【目的】脳血管疾患、肺がん等の早期発見 【概要】脳MR・肺CTによる検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	50 ～ 74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診環境の整備と拠点の検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの実施結果を検証し、対象者や運用を見直す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診対象年齢の引き下げと健保補助回数を見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>			
	1	既存	胃がんリスク検査	【目的】重症化予防 【概要】ピロリ菌感染の有無と胃がんリスク判定の郵送検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	30 ～ 74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>未実施者率 80%未満</li> <li>実施率の向上に向けた広報施策、効果的な募集等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未実施者率 70%未満</li> <li>従来事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未実施者率 60%未満</li> <li>第三期の中間評価を行い、翌年度以降の見直しを検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未実施者率 50%未満</li> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未実施者率 45%未満</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未実施者率 40%未満</li> </ul>			

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
 注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	実施計画								
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
個別の事業																		
疾病予防	1	既存	歯科健診	【目的】口腔疾病予防 【概要】健保会館などの会場や事業所を巡回して行う歯科健診を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施者 20,000人</li> <li>実施率の向上に向けた広報施策、効果的な募集等の実施</li> <li>生活習慣病との関連性をしぜで分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施者 30,000人</li> <li>他の医療保険者と連携して地方での会館歯科健診を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施者 40,000人</li> <li>地方での会館歯科健診の拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施者 20,000人</li> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	従来 of 事業を継続	従来 of 事業を継続		
	7	既存	インフルエンザ予防接種費用補助	【目的】重症化予防 【概要】全国の指定医療機関で10月から1月までの期間に実施し、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防接種受診率の向上に向けた広報施策、効果的な募集等の実施</li> </ul>	従来 of 事業を継続	従来 of 事業を継続	従来 of 事業を継続	従来 of 事業を継続	従来 of 事業を継続		
	7	既存	生活習慣病予防プログラム	【目的】若年層の生活習慣病リスクの改善 【概要】3ヶ月間の運動プログラムの指導、実施	被保険者	全て	男女	20 ~39	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者の対象地域の拡充に向けた検討を行う。</li> <li>特定保健指導モデル実施との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者の対象地域の拡充を実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙事業など複合的な取り組みを検討し、行動変容の実施に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	従来 of 事業を継続	従来 of 事業を継続		
	7	既存	ダイエットプログラム	【目的】BMI改善と生活習慣病リスクの軽減 【概要】3ヶ月から6ヶ月間のICTを活用したレコーディングダイエット	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの人が参加できるように効果的な周知を検討</li> </ul>	従来 of 事業を継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>BMI減少率等の効果検証を実施し事業継続及び見直しを検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	従来 of 事業を継続	従来 of 事業を継続		

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	実施計画								
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
個別の事業																		
疾病予防	4	既存	糖尿病教育介入プログラム	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】2日間の糖尿病教育を通じ、行動変容を促し、合併症等の重症化を予防	被保険者被扶養者	全て	男女	16～74	基準該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>SMBGによる血糖測定で行動変容に高い効果が見られたため、希望者にCGM装着により血糖の1日の変動を見る化し効果を検証する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方都市での実施に向けた本格運用の検討、実施（福岡・大阪・愛知）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催地域の拡充（北海道ほか）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催地域の拡充（鹿児島ほか）</li> <li>Webでの開催について、検討、実施評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の上業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の上業を継続</li> </ul>		
	2	既存	糖尿病受診勧奨事業	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】HbA1c高値の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者被扶養者	全て	男女	16～74	基準該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率50%</li> <li>未受診者に対し事業所を経由して送付する受診案内について、該当者に効果的に受診を促すことができる内容となるよう工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率52%</li> <li>従来通りの事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率54%</li> <li>これまでの実施結果を検証し、運用を見直す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率56%</li> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率58%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率60%</li> </ul>		
	4	既存	糖尿病性腎症重症化予防プログラム	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】人工透析の導入を未然に防ぐ又は時期を遅らせるため治療に介入	被保険者被扶養者	全て	男女	16～74	基準該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者の行動変容及び数値の改善が期待できるよう、委託事業者との連携及び最適なフローの構築を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施結果を検証し、必要に応じて運用を見直す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施結果を検証し、必要に応じて運用を見直す。（厚生労働省のガイドラインの改訂等を踏まえる）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率30%</li> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の上業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の上業を継続</li> </ul>		

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
 注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	実施計画									
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
個別の事業																			
疾病予防	2	既存	高血圧受診勧奨事業	【目的】高血圧症に伴う疾病の予防 【概要】血圧高値の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者被扶養者	全て	男女	16～74	基準該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率25%</li> <li>未受診者に対し事業所を経由して送付する受診案内について、該当者に効果的に受診を促すことができる内容となるよう工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率27%</li> <li>従来通りの事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率29%</li> <li>これまでの実施結果を検証し、運用を見直す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率31%</li> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率33%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率35%</li> </ul>			
	2	新規	脂質異常症受診勧奨事業	【目的】脂質異常症に伴う疾病の予防 【概要】脂質異常の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者被扶養者	全て	男女	39～74	基準該当者	1	/	/	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率20%</li> <li>未受診者に対し事業所を経由して送付する受診案内について、該当者に効果的に受診を促すことができる内容となるよう工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率20%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関受診率20%</li> </ul>			
	6	既存	前期高齢者等保健指導プログラム	【目的】前期高齢者等の健康寿命の延伸 【概要】生活習慣病や慢性整形外科疾患のある者を対象とする保健指導と健康支援	被保険者被扶養者	全て	男女	65～74	基準該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>直近のデータを活かすため、これまで年1回であった案内を2回に分けて送付する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期高齢者の医療費を分析し、対象年齢の引き下げについて検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期高齢者の医療費を分析し、対象年齢の引き下げについて検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年度の検討内容に基づき、事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来事業を継続</li> </ul>			

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	実施計画								
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
個別の事業																		
体育奨励	7	既存	野球大会	【目的】健康増進 【概要】トーナメント方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		
	7	既存	健歩大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区及び関西地区の遊園施設内でのウォーキング奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		
	7	既存	中高齢者体育奨励事業	【目的】健康増進 【概要】ゴルフプレイを通じたウォーキングの奨励	被保険者 被扶養者 (配偶者に限る)	全て	男女	16 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		
	7	既存	プール・スケート利用補助	【目的】健康増進 【概要】夏冬期の屋外スポーツの奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		
	7	既存	サッカー教室	【目的】健康増進 【概要】親子で参加するサッカー教室	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	実施計画								
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
個別の事業																		
体育奨励	7	既存	フットサル大会	【目的】健康増進 【概要】リーグ戦方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		
	7	既存	ウォーキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東及び関西地区でのウォーキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		
	7	既存	テニス大会	【目的】健康増進 【概要】予選リーグ後トーナメント方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		
	7	既存	ハイキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区でのハイキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		
	7	既存	ボウリング大会	【目的】健康増進 【概要】事業所及び家族での対抗戦	被保険者 被扶養者	全て	男女	6 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	実施計画								
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
個別の事業																		
体育奨励	7	既存	ゴルフ大会	【目的】健康増進 【概要】スコアによる個人対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		
	7	既存	契約保養施設	【目的】健康増進 【概要】提携契約施設の宿泊利用による心身のリフレッシュや健康増進セミナー等を開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続		
	7	既存	スポーツクラブ・スポーツ施設	【目的】健康増進 【概要】スポーツクラブ・スポーツ施設の利用推奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	
	7	既存	ボウリング教室	【目的】健康増進 【概要】被保険者及び配偶者を対象としたボウリング教室	被保険者 被扶養者 (配偶者に限る)	全て	男女	16 ~74	全員	1	より多くの対象者が参加する事業となるよう実施内容を工夫	より多くの対象者が参加する事業となるよう実施内容を工夫	より多くの対象者が参加する事業となるよう実施内容を工夫	より多くの対象者が参加する事業となるよう実施内容を工夫	より多くの対象者が参加する事業となるよう実施内容を工夫	より多くの対象者が参加する事業となるよう実施内容を工夫	より多くの対象者が参加する事業となるよう実施内容を工夫	
直営保養所	7	既存	直営保養所	【目的】健康増進 【概要】直営保養所の宿泊利用による心身のリフレッシュや健康増進セミナー等を開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	従来通りの事業を継続	

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
 注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業



## STEP 3-2

## 目標

- 保健事業の実施目標の対象者の資格及び年齢は、事業によって更に条件が設定されているものがあります。

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和5年度末）		
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム	
<b>個別の事業</b>												
特定健康診査事業	1	既存	特定健診 (被扶養者と任意継続被保険者を除く)	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】事業主が行う定期健診と共同実施	被保険者	全て	男女	40 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診実施の促進（実施率93.3%以上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定保健指導対象者の割合（21.5%未満）</li> </ul>
	1	既存	特定健診 (被扶養者と任意継続被保険者)	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】自己負担無し の巡回健診を取り入れ 受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診実施の促進（実施率50.0%以上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定保健指導対象者の割合（6.5%未満）</li> </ul>
特定保健指導事業	3	既存	特定保健指導	【目的】生活習慣病リスク者への早期介入 【概要】特定保健指導の実施。保健指導支援室設置や遠隔保健指導を取り入れ、受診機会を増加	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ~74	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導実施の促進（実施率30%以上） (被保険者：30.5%、被扶養者：17.1%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定保健指導対象者の割合（19.8%）</li> </ul>

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和5年度末）		
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム	
職場環境の整備												
保健指導宣伝	4	既存	機関誌発行	【目的】情報発信、健康意識の向上 【概要】健保の運営、収支、健診案内、健康情報などについて、年2回発行	被保険者	全て	男女	16~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>機関誌の年2回発行</li> <li>機関誌の全被保険者への配布</li> <li>機関誌のWEB閲覧</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コラボヘルスを通じた機関誌の利用状況調査</li> </ul>
	7	既存	ITSコラボヘルス	【目的】情報共有型から課題解決型のコラボヘルスへの転換 【概要】健康課題と保健事業との紐づけを明確にすることに加えてそれをクリアすれば目標を達成できるような評価指標、定量的なアウトプット指標・アウトカム指標の設定を進める。	被保険者	一部の事業所	-	-	-	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の健康課題の共有</li> <li>コラボヘルスを通じた情報提供成果物の全加入事業所への提示</li> <li>特定保健指導対象者などの健康情報の共同利用の推進（協定締結）</li> <li>健康経営優良法人認定に係る制度情報の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康情報を共同利用する事業所数</li> <li>健康経営優良法人認定を受けた事業所数</li> <li>特定保健指導の実施率の向上</li> <li>重症化予防事業の参加率の向上</li> <li>受診勧奨事業の医療機関受診率の向上</li> </ul>
	7	既存	健康経営サポート事業	【目的】事業所が実践する健康経営の推進 【概要】健康経営と相関性の高い研修の費用補助	被保険者	一部の事業所	-	-	-	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりの企業風土への定着</li> <li>組合員のヘルスリテラシーの向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康経営サポート事業を利用する事業所数</li> <li>健康経営優良法人認定を受ける事業所数</li> </ul>
	7	既存	健康企業宣言	【目的】健康企業宣言の実施とサポート 【概要】健康企業宣言の推進と健康優良企業認定に向けたサポート	被保険者	一部の事業所	-	-	-	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康企業宣言の推進</li> <li>健康優良企業認定に向けたサポート実施（健診情報の提供、提出書類の内容確認）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>700社以上が健康企業宣言を実施</li> <li>健康経営優良企業（銀の認定/金の認定）の事業所数</li> </ul>

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和5年度末）		
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム	
加入者への意識付け												
保健指導宣伝	7	既存	My Health Web の管理、運用	【目的】企業の健康経営と個人の健康管理のモチベーションの維持 【概要】ICTを活用した個人への情報提供やヘルスケアポイント等を活用したインセンティブ事業を推進する。	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>機関誌やホームページ等を通じた制度広報</li> <li>My Health Webの登録数（率）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>My Health Webの登録率（被保険者20%・被扶養配偶者5%）</li> </ul>
	4	既存	禁煙啓蒙事業	【目的】喫煙者の禁煙 【概要】加入者に対し禁煙につながる啓蒙活動を行い、喫煙に伴う禁煙リスクを低減させる。	被保険者 被扶養者	全て	男女	20 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>全事業所への禁煙啓蒙ポスターの配付（毎年）</li> <li>効果的な禁煙啓蒙リーフレットの配布（各健保施設に設置）</li> <li>健康診査（問診票）の回収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>喫煙率の低下（平成28年度比10%以上減少） 男性 31.6% → 28.4%以下 女性 11.9% → 10.7%以下</li> </ul>
	7	既存	メンタルヘルス対策	【目的】事業所のメンタルヘルス対策のサポート 【概要】事業主、管理職や担当者向けの対象別セミナーの開催	-	一部の事業所	-	-	-	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所のニーズに則したプログラムの策定と参加募集の実施</li> <li>希望者のセミナー内容に沿った適切な回数の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナー効果（アンケートで満足度を確認） 内容についての満足度 90%以上 事業所での活用可能性 90%以上</li> </ul>
	7	既存	後発医薬品の使用促進	【目的】後発医薬品の使用割合の向上 【概要】後発医薬品差額通知 及び ジェネリック希望シール配布の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>機関誌やホームページ等を通じた制度広報</li> <li>後発医薬品差額通知の閲覧機会の増加を目的とした、My Health Web（個人向け健康ポータルサイト）登録者数の向上 登録者数 45,000人 アクセスユーザー数 120,000人</li> </ul>	後発医薬品の使用割合83%以上

注：事業分類）1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和5年度末）		
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム	
個別の事業												
疾病予防	1	既存	健康診査（基本健診・人間ドック等）	【目的】受診率向上 【概要】定期健診と同時実施、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診実施の促進（実施率本人90%以上、家族50%以上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者の健康維持（特定保健指導群への悪化率10%未満）</li> </ul>
	1	既存	巡回婦人健診	【目的】女性の配偶者の受診率向上 【概要】婦人科検査と同時に実施し、費用の全額を補助	被扶養者	全て	女性	16 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去2年健診未受診者への受診勧奨（案内発送100%）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者の健康維持（特定保健指導群への悪化率10%未満）</li> </ul>
	1	新規	簡易キット健診	【目的】女性の配偶者の受診率向上、健康リスクの早期発見 【概要】郵送による簡易健診を実施し、費用の全額を補助	被扶養者	全て	女性	16 ~74	過去2年間の健診未受診者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去2年健診未受診者への受診勧奨（案内発送100%）</li> <li>簡易キットの申込者数（受診勧奨対象者の20%）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡易健診実施者における、翌年度の健診受診率（10%）</li> </ul>
	1	既存	婦人科検査	【目的】婦人科疾患の早期発見 【概要】健康診査のオプションとして実施	被保険者 被扶養者	全て	女性	16 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診実施の促進（実施率本人70%以上、家族40%以上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要検査者の減少（要検査率の減少）</li> </ul>
	1	既存	脳MR・肺CT検査	【目的】脳血管疾患、肺がん等の早期発見 【概要】脳MR・肺CTによる検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	50 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診実施の促進（検査機関の適正配置）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要検査者の減少（要検査率の減少）</li> </ul>
	1	既存	胃がんリスク検査	【目的】重症化予防 【概要】ピロリ菌感染の有無と胃がんリスク判定の郵送検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	30 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>検査実施の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未受診者の割合の逓減（毎年未受診率を測定）</li> </ul>

注：事業分類）1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和5年度末）	
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム
個別の事業											
疾病予防	1	既存 歯科健診	【目的】口腔疾病予防 【概要】健保会館などの会場や事業所を巡回して行う歯科健診を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診実施の促進（委託事業者の配置や地方会館健診の拡充）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯科健診受診者の増</li> <li>生活習慣病等医療費の減少確認（歯科レセと内科レセの突合せ分析）</li> </ul>
	7	既存 インフルエンザ 予防接種費用補助	【目的】重症化予防 【概要】全国の指定医療機関で10月から1月までの期間に実施し、費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防接種者の増加（接種時期・補助額の適性設定）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療費及び重症患者の減少（首都圏罹患者率よりも患者数の減少傾向に転じる）</li> </ul>
	7	既存 生活習慣病予防 プログラム	【目的】若年層の生活習慣病リスクの改善 【概要】3ヶ月間の運動プログラムの指導、実施	被保険者	全て	男女	20 ~39	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回実施内容の棚卸しと対象者選定基準対象の効果的な設定</li> <li>コラボヘルスを通じた事業所との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診データの改善（BMI・血糖・HbA1c・中性脂肪・HDL/LDLコレステロールそれぞれの値5%以上改善）</li> <li>生活行動変容を伴う運動習慣等の定着（参加者の50%以上）</li> </ul>
	7	既存 ダイエット プログラム	【目的】BMI改善と生活習慣病リスクの軽減 【概要】3ヶ月から6ヶ月間のICTを活用したレコーディングダイエット	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回の募集広報</li> <li>他の疾病予防事業との抱き合わせ実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>BMI減少者の増加（参加者のBMI減少者率80%以上）</li> </ul>

注：事業分類）1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和5年度末）		
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム	
<b>個別の事業</b>												
疾病予防	4	既存	糖尿病教育介入プログラム	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】2日間の糖尿病教育を通じ、行動変容を促し、合併症等の重症化を予防	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診情報に基づく「糖尿病合併症」等の情報提供</li> <li>コラボヘルスを通じた事業所との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関への受診（事業開始前より90%以上）</li> </ul>
	4	既存	糖尿病性腎症重症化予防プログラム	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】人工透析の導入を未然に防ぐ又は時期を遅らせるため治療に介入	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療情報と健診情報に基づく「糖尿病の重症化予防」等の情報提供</li> <li>コラボヘルスを通じた事業所との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未受診者の医療機関への受診（事業開始前より30%以上）</li> <li>人工透析移行の予防及び時期の遅延</li> </ul>
	2	既存	糖尿病受診勧奨事業	【目的】糖尿病重症化予防 【概要】HbA1c高値の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診情報に基づく「糖尿病合併症」等の情報提供</li> <li>コラボヘルスを通じた事業所との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関への受診（事業開始前より60%以上）</li> </ul>
	2	既存	高血圧受診勧奨事業	【目的】高血圧症に伴う疾病の予防 【概要】血圧高値の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診情報に基づく「高血圧症と合併症」等の情報提供</li> <li>コラボヘルスを通じた事業所との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関への受診（事業開始前より35%以上）</li> </ul>
	2	新規	脂質異常症受診勧奨事業	【目的】脂質異常症に伴う疾病の予防 【概要】脂質異常の方で病院未受診者を対象とする受診勧奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	39 ~74	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診情報に基づく「脂質異常症と合併症」等の情報提供</li> <li>コラボヘルスを通じた事業所との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関への受診（事業開始前より20%以上）</li> </ul>
	6	既存	前期高齢者等保健指導プログラム	【目的】前期高齢者等の健康寿命の延伸 【概要】生活習慣病や慢性整形外科疾患のある者を対象とする保健指導と健康支援	被保険者 被扶養者	全て	男女	65 ~74	基準 該当者	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療情報と健診情報に基づく「医療機関の利用方法」等の情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期高齢者医療費の縮減（保健指導対象者の一人当たり医療費の10%減少）</li> </ul>

注：事業分類）1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
 注：実施主体）1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和5年度末）		
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム	
個別の事業												
体育奨励	7	既存	野球大会	【目的】健康増進 【概要】トーナメント方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	1	・年間1回実施	-
	7	既存	健歩大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区及び関西地区の遊園施設内でのウォーキング奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ~74	全員	1	・年間2回2箇所で開催	-
	7	既存	中高齢者体育奨励事業	【目的】健康増進 【概要】ゴルフプレイを通じたウォーキングの奨励	被保険者 被扶養者 (配偶者に限る)	全て	男女	16 ~74	全員	1	・通年実施	-
	7	既存	プール・スケート利用補助	【目的】健康増進 【概要】夏冬期の屋外スポーツの奨励	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	・年間2回実施	-
	7	既存	サッカー教室	【目的】健康増進 【概要】親子で参加するサッカー教室	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ~74	全員	1	・年間4回実施	-

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
 注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業



予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和5年度末）		
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム	
個別の事業												
体育奨励	7	既存	フットサル大会	【目的】健康増進 【概要】リーグ戦方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	1	・年間1回実施	-
	7	既存	ウォーキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東及び関西地区でのウォーキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	・年間6回実施	-
	7	既存	テニス大会	【目的】健康増進 【概要】予選リーグ後、トーナメント方式による事業所対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	1	・年間1回実施	-
	7	既存	ハイキング大会	【目的】健康増進 【概要】関東地区でのハイキング	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	・年間3回実施	-
	7	既存	ボウリング大会	【目的】健康増進 【概要】事業所及び家族での対抗戦	被保険者 被扶養者	全て	男女	6 ~74	全員	1	・年間1回実施	-

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
 注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

予算科目	事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施主体	目標（達成時期:令和5年度末）		
				区分	対象事業所	性別	年齢	対象者		アウトプット	アウトカム	
個別の事業												
体育奨励	7	既存	ゴルフ大会	【目的】健康増進 【概要】スコアによる個人対抗戦	被保険者	全て	男女	16 ~74	全員	1	・年間2回実施	-
	7	既存	契約保養施設	【目的】健康増進 【概要】提携契約施設の宿泊利用による心身のリフレッシュや健康増進セミナー等を開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	・通年実施	-
	7	既存	スポーツクラブ・スポーツ施設	【目的】健康増進 【概要】スポーツクラブ・スポーツ施設の利用推奨	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ~74	全員	1	・通年実施	-
	7	既存	ボウリング教室	【目的】健康増進 【概要】被保険者及び被扶養者（配偶者に限る）を対象としたボウリング教室	被保険者 被扶養者 (配偶者に限る)	全て	男女	16 ~74	全員	1	・年間1回実施	-
直営保養所	7	既存	直営保養所	【目的】健康増進 【概要】直営保養所の宿泊利用による心身のリフレッシュや健康増進セミナー等を開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~74	全員	1	・通年実施	-

注：事業分類) 1.健康診査 2.健康診査後の通知 3.保健指導 4.健康教育 5.健康相談 6.訪問指導 7.その他  
 注：実施主体) 1.健保組合 2.事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3.健保組合と事業主との共同事業

## 更新履歴

2018.02.06	初版 第94回組合会承認
2019.02.08	更新 第97回組合会承認
2020.02.07	更新 第101回組合会承認
2021.02.05	更新 第104回組合会承認
2022.02.04	更新 第107回組合会承認